

福岡医療短期大学

保健福祉学科 1年次生(平成26年～平成28年)

久留米信愛女学院短期大学

幼児教育学科 1年次生(平成28年)

学生 IR 調査 比較データ



大学教育再生加速プログラム

学生のみなさんへ

日ごろの大学での勉強、お疲れ様です。

本調査は、日ごろの大学生活を思い出して、学生のみなさんに大学生活を自己申告してもらい、大学における教育の成果を調査(測定)することを目的として実施します。大学教育の中で、在学中のみなさんから大学生活や教学などに関する情報を収集・分析することは、IR(インスティテューショナル・リサーチ, institutional research)と呼ばれ、学生の視点を重視し、学生に確実に教育成果を身につけてもらうための大切な活動の一つです。調査結果から得られた教育内容の特徴を分析することで、教育の質を客観的に保証するとともに、さらなる教育改善の方策を見出します。

回答してもらった内容は、すべて統計的に処理しますので、みなさんの回答が他の人に知られることはありません。回答は、特にことわりや指示のない限り、もっともよくあてはまるものを1つだけ選んでください。また、回答できない箇所は空白にさせていただいて結構です。

〔取組の趣旨〕

- ・本アンケート調査は、文部科学省選定事業『大学教育再生加速プログラム』の趣旨に基づき、2年～3年という短い修業年限の中で実施している専門教育の学修成果の可視化を目的に実施した。
- ・専門教育に関する学修成果の可視化を推進する目的で、相互実習・学外実習等を含む本学独自のアンケート調査の設問項目を作成し、単なる「学生満足度」を測定する調査ではなく、本学の教育の質保証に資する汎用的な大学教学調査をめざした。
- ・その取組の中で、さらに学修成果の可視化の質向上をめざすため、「全般的な学習状況」、「授業時間外の学習状況」、「教育の質保証」の3つの教育観点に関する設問について、先進的な取組である『大学 IR コンソーシアム』の学生調査(「一年生調査 2013年」)の取組を参考にして検討し選定した。

I. 学生の属性など

[1] 学籍番号（学生 ID） 7桁の番号で記入してください。

●福岡医療短期大学	(26年度)	学生 ID 回答者：	15名	非回答者：	6名
	(27年度)	学生 ID 回答者：	28名	非回答者：	0名
	(28年度)	学生 ID 回答者：	13名	非回答者：	0名
●久留米信愛女学院短期大学	(28年度)	学生 ID 回答者：	21名	非回答者：	31名

*今回の調査では、学籍番号をもとに、みなさんの学習状況と取得単位数等の相互関係を分析します。また、**学年毎**に同様の調査を実施し、大学1年次のときに感じられたことがどのように変化したのかを探り、大学における教育成果を測定することを計画しています。そのために、学籍番号のご記入を**任意**でお願いしています。分析作業は個人情報に配慮して進めますので、個人を特定できる情報が他の人に知られることはありませんが、記入したくない人は空白にしておいてください。

[2] 所属する学科

●福岡医療短期大学	保健福祉学科	(平成26年度)	21名
		(平成27年度)	28名
		(平成28年度)	13名
●久留米信愛女学院短期大学	幼児教育学科	(平成28年度)	52名

[3] 性別

●福岡医療短期大学	保健福祉学科	(平成26年度)	男性：	9名	女性：	12名
		(平成27年度)	男性：	15名	女性：	13名
		(平成28年度)	男性：	3名	女性：	10名
●久留米信愛女学院短期大学	幼児教育学科	(平成28年度)	男性：	0名	女性：	52名

[4] 4月1日の時点の年齢

福岡医療短期大学

◆平成26年度（2014年4月1日の時点）

18歳：10名 19歳：2名 20歳：1名 22歳：2名 34歳：1名
40歳：1名 43歳：1名 48歳：2名 58歳：1名

◆平成27年度（2015年4月1日の時点）

18歳：5名 21歳：2名 23歳：3名 25歳：1名 31歳：1名
34歳：3名 35歳：3名 35歳：2名 37歳：2名 38歳：1名
44歳：1名 47歳：1名 53歳：1名 55歳：1名 56歳：1名

◆平成28年度（2016年4月1日の時点）

18歳：9名 21歳：1名 26歳：1名 38歳：1名 57歳：1名

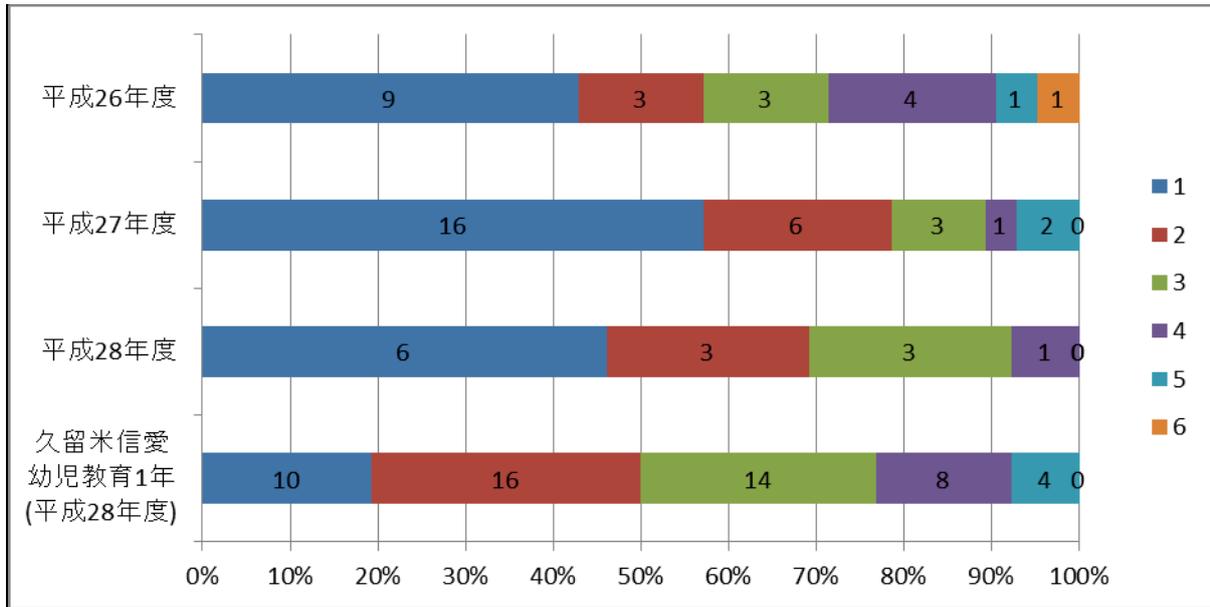
久留米信愛短期大学（2016年4月1日の時点）

◆平成28年度

18歳：44名 19歳：2名 20歳：2名 23歳：1名 29歳：2名
38歳：1名

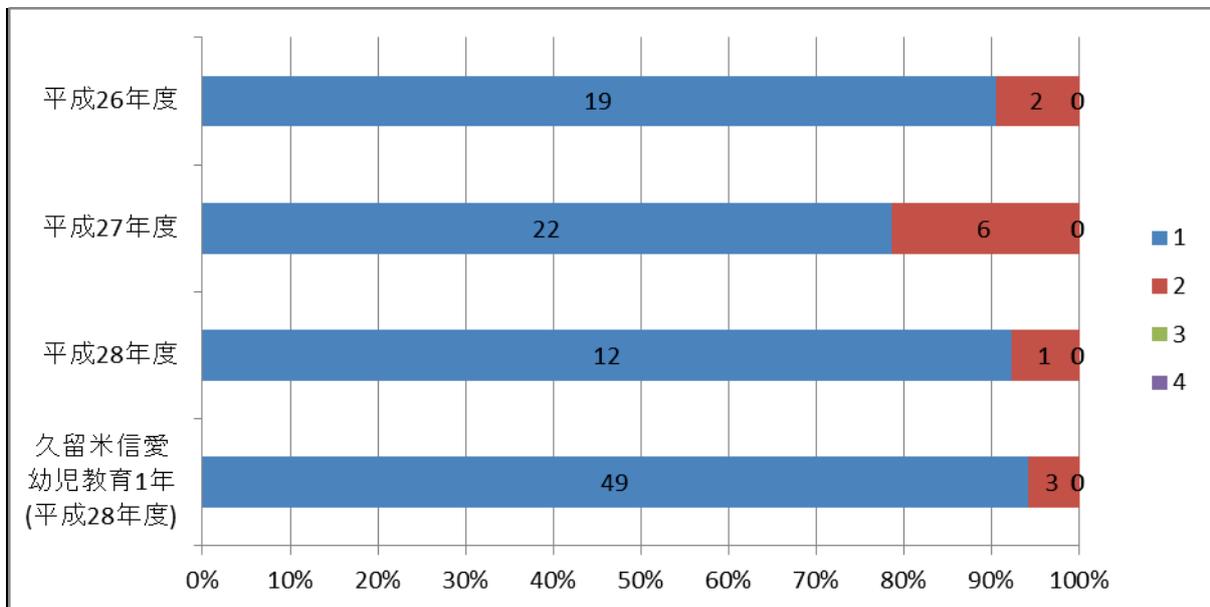
[5] 通学にかかる時間（片道）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 30分未満 | 2. 30分以上～1時間未満 |
| 3. 1時間以上～1時間30分未満 | 4. 1時間30分以上～2時間未満 |
| 5. 2時間以上 | 6. 無回答 |



[6] 現在の住まい

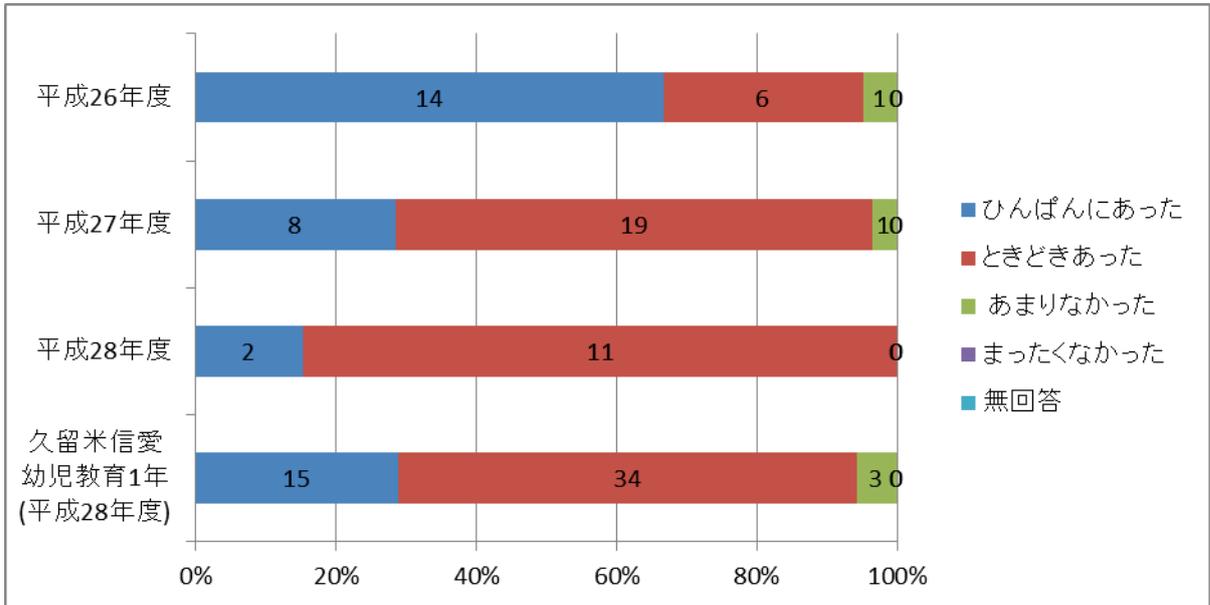
- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 家族または親戚と暮らしている | 2. アパート・学生マンションでひとり暮らし |
| 3. 大学寮や合宿所 | 4. 無回答 |



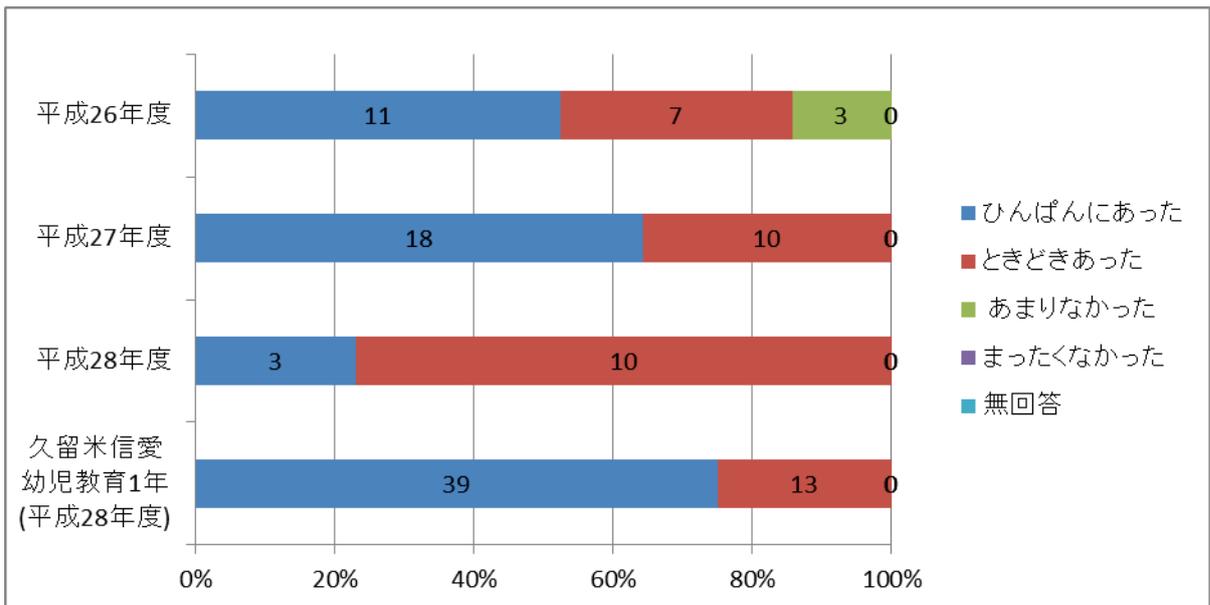
Ⅱ. 大学に入学してからの学習状況について

[7] 大学の授業の内容や特徴

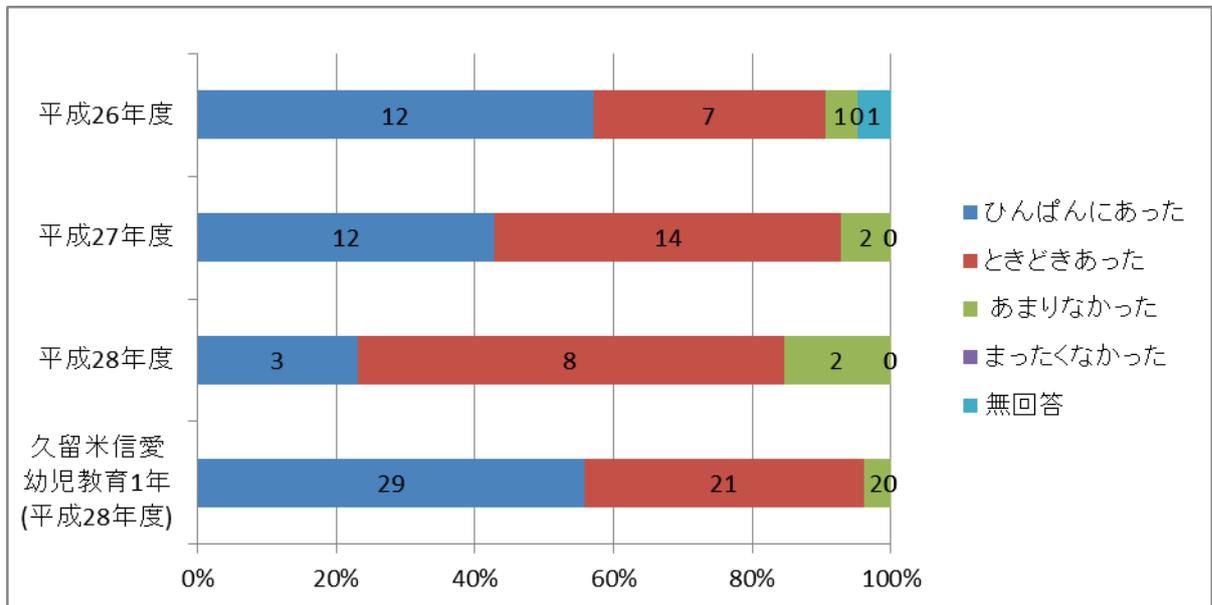
A. 所属学科の学内実習、学外実習などを実施し、学生が体験的に学ぶ



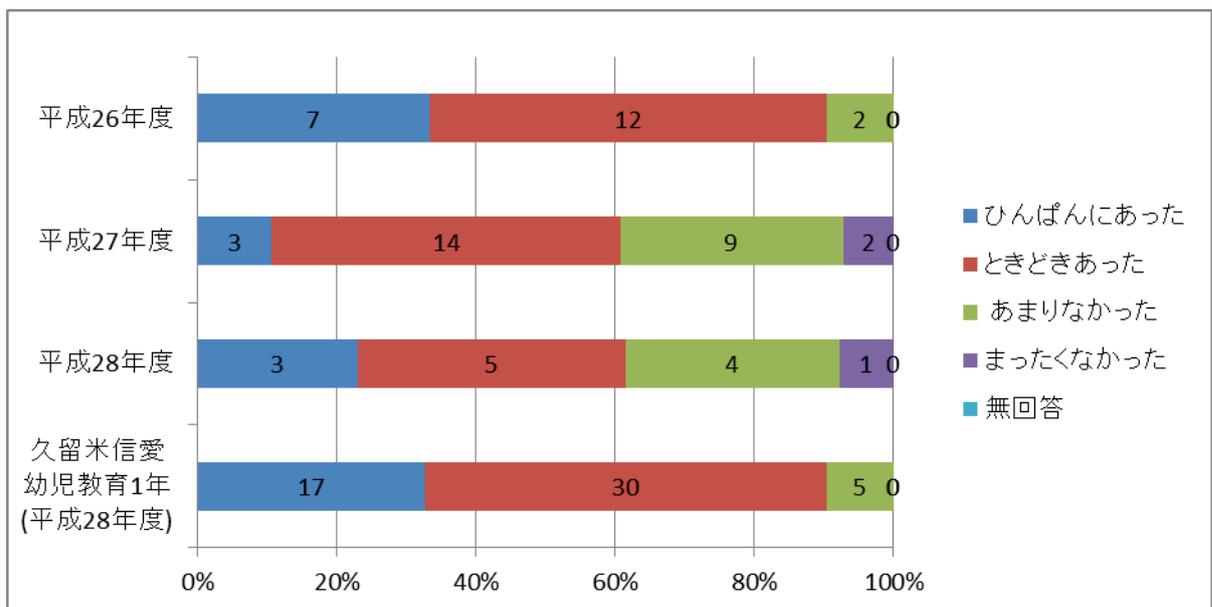
B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ



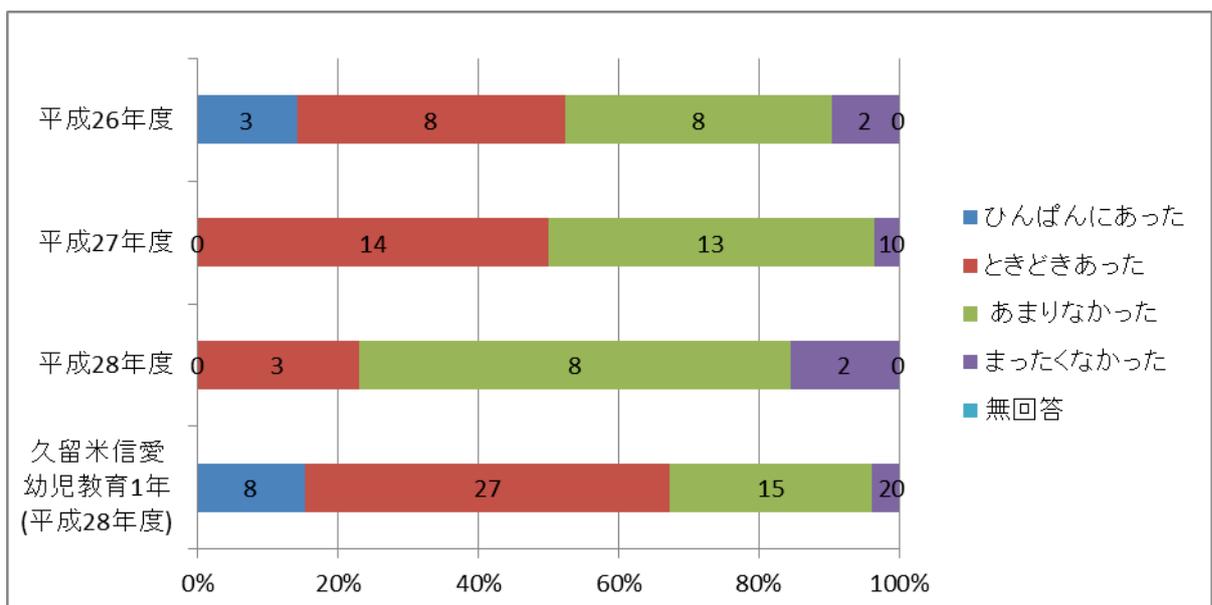
C. 授業内容と社会や日常生活のかかわりについて、教員が説明する



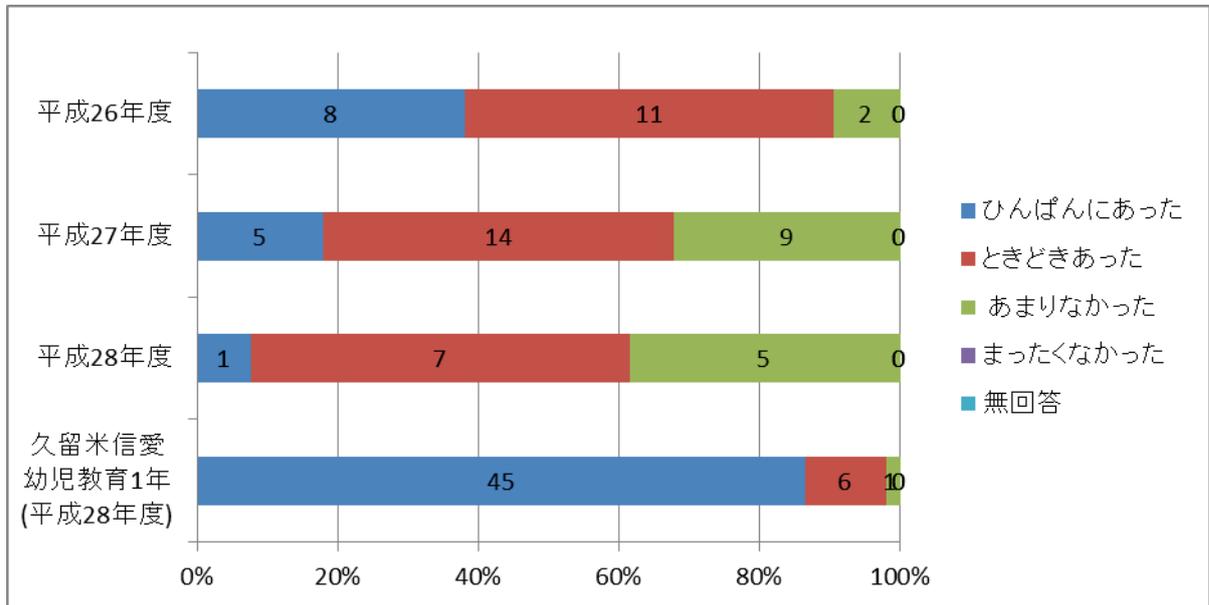
D. 授業の一環でボランティア活動をする



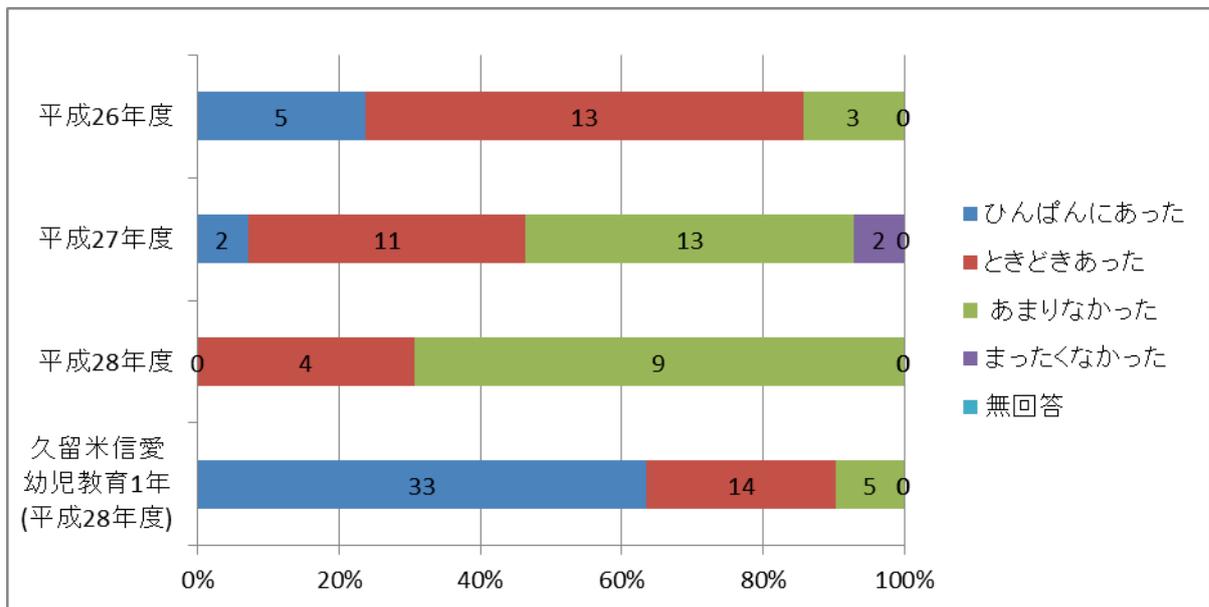
E. 学生自身が文献や資料を調べる



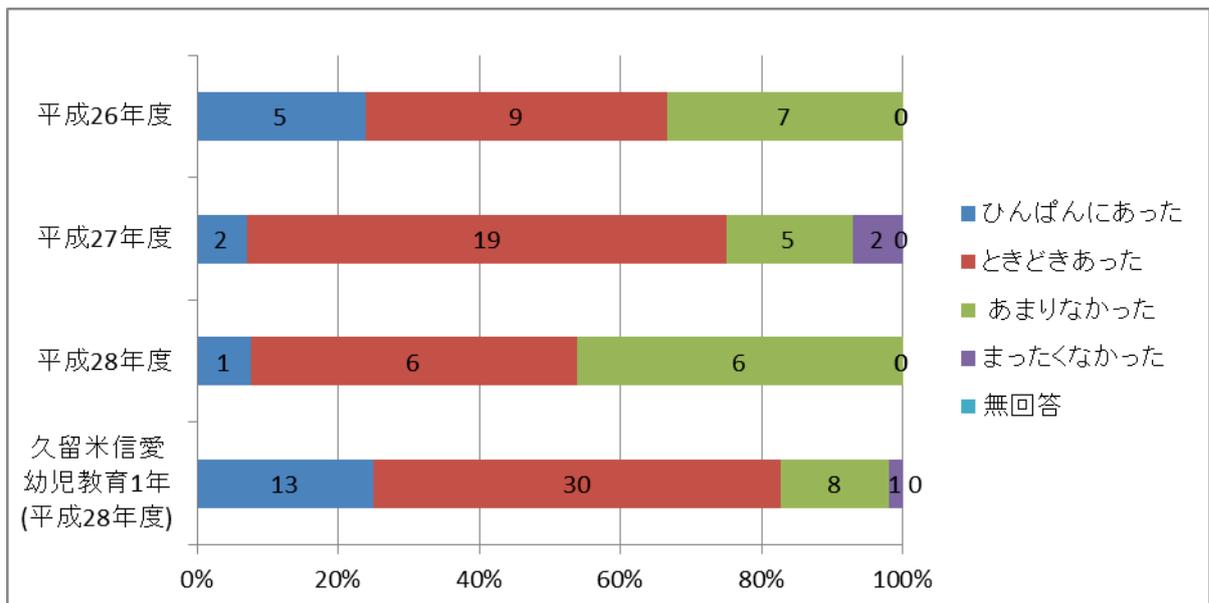
F. 定期的に小テストやレポートが課される



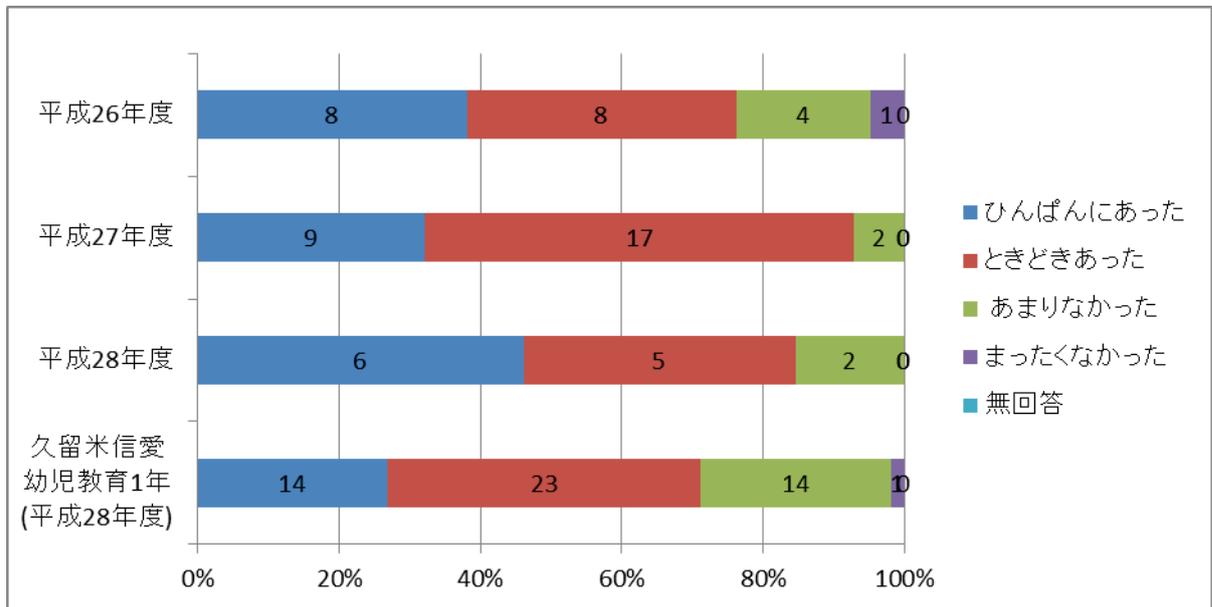
G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する



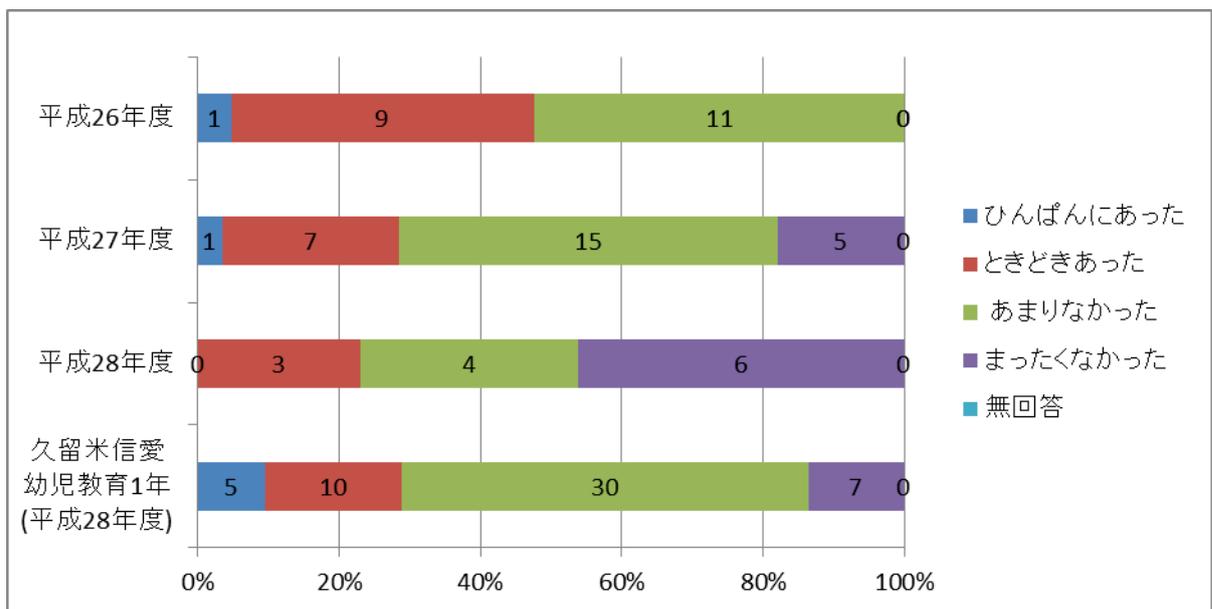
H. 学生が自分の考えや研究を発表する



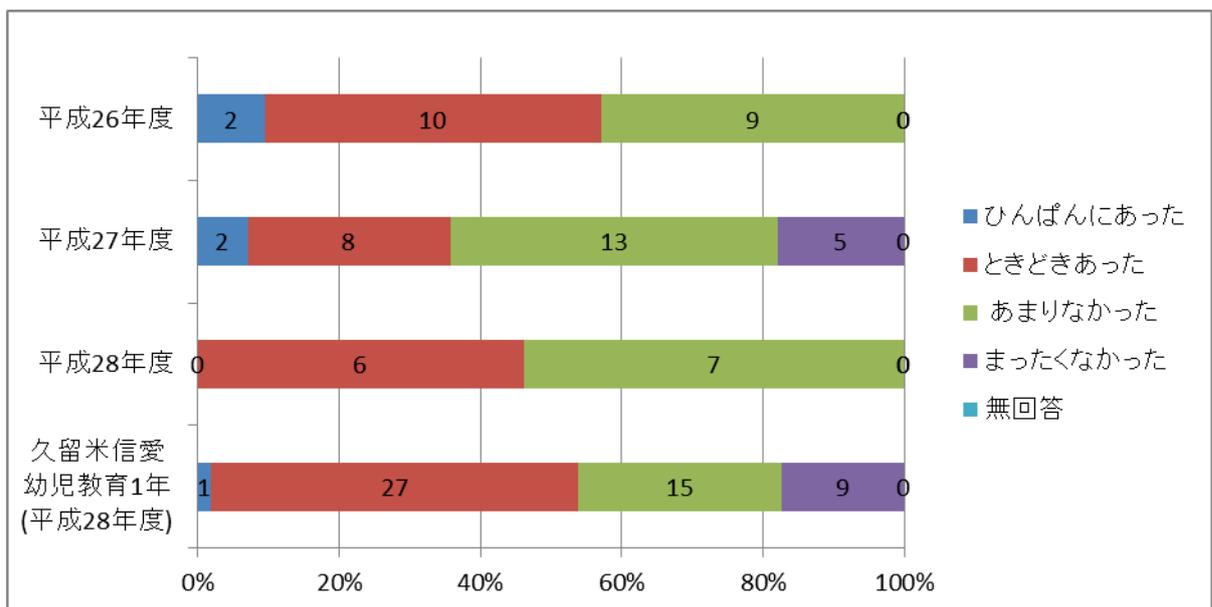
I. 授業中に学生同士が論議をする



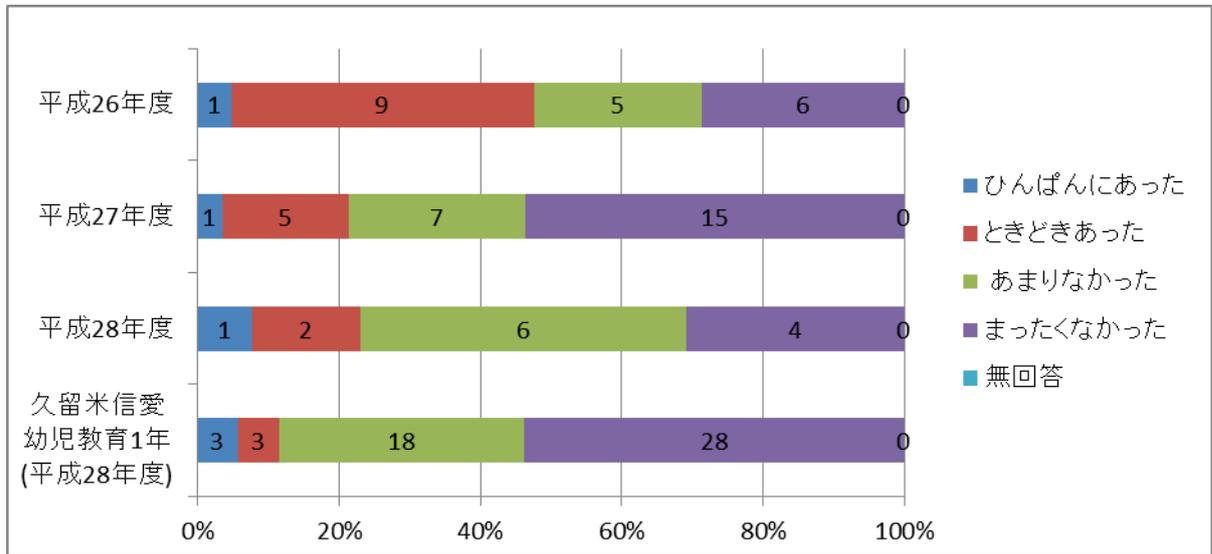
J. 授業で検討するテーマを学生が設定する



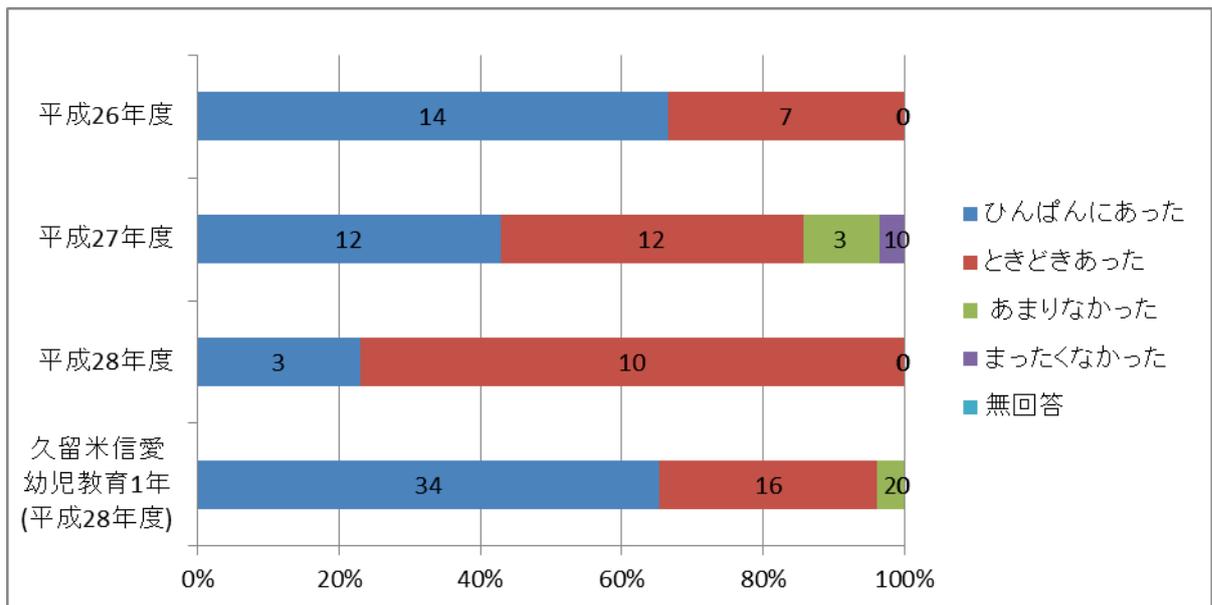
K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる



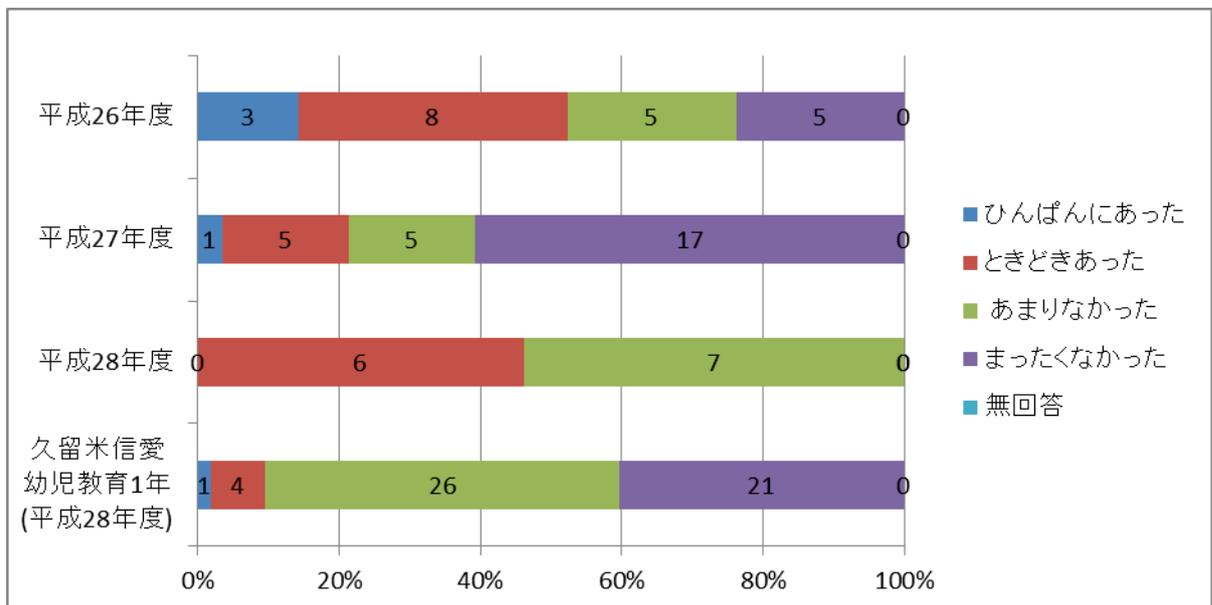
L. 取りたい授業を履修登録できなかった



M. 出席することが重視される

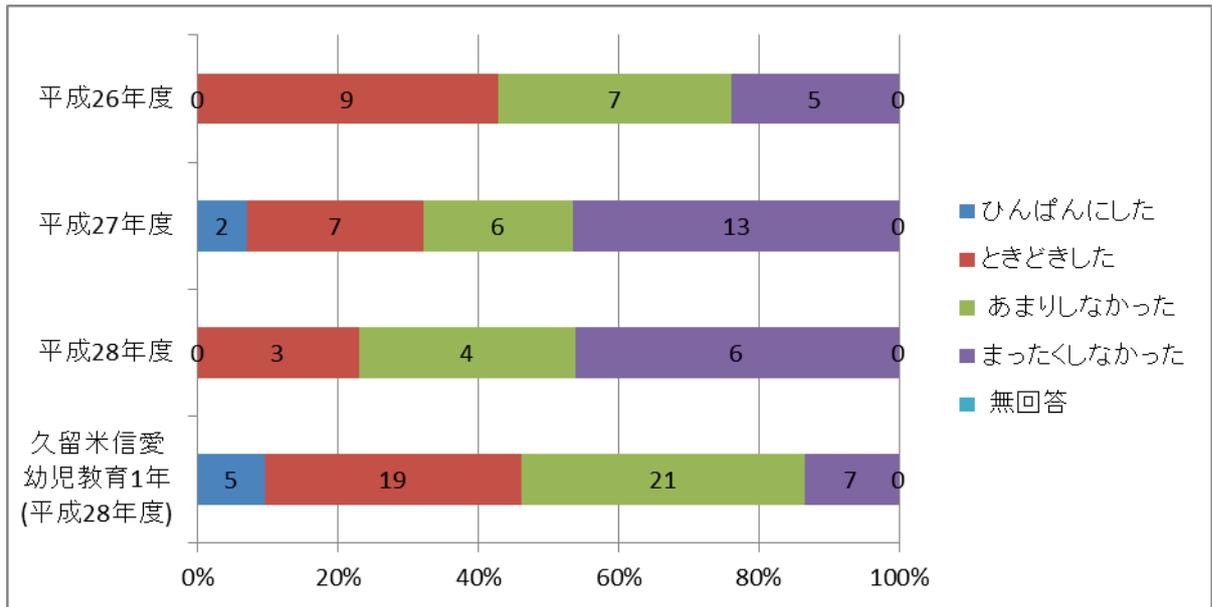


N. TA・SA（上級生や専攻科生）から補助・指導を受ける

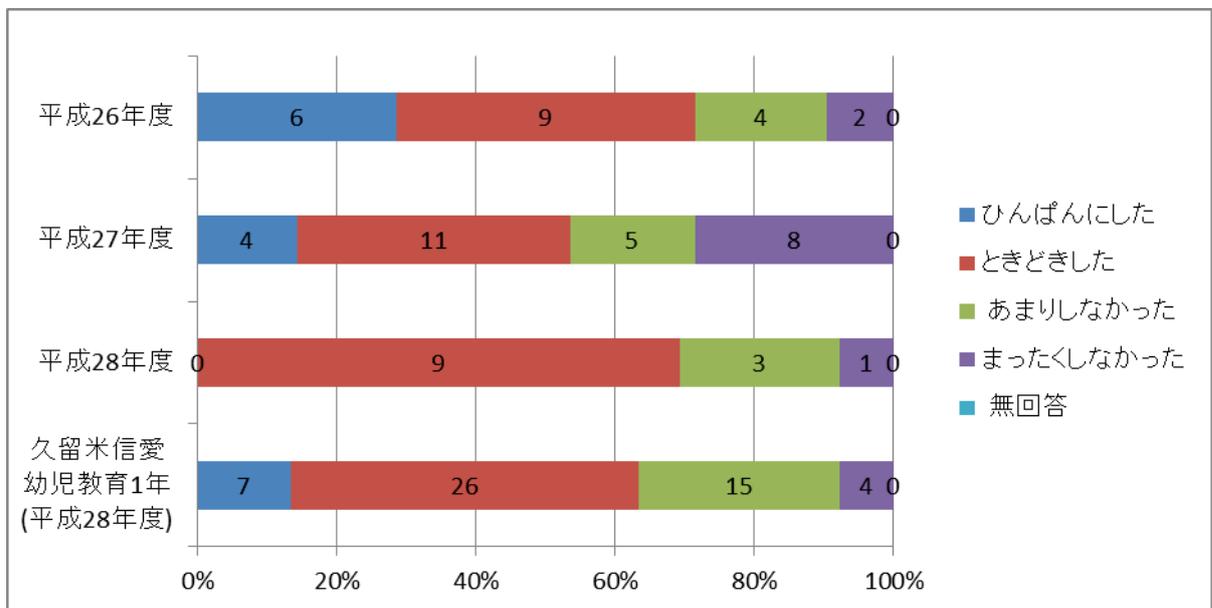


[8] 大学の授業や授業以外の学習状況

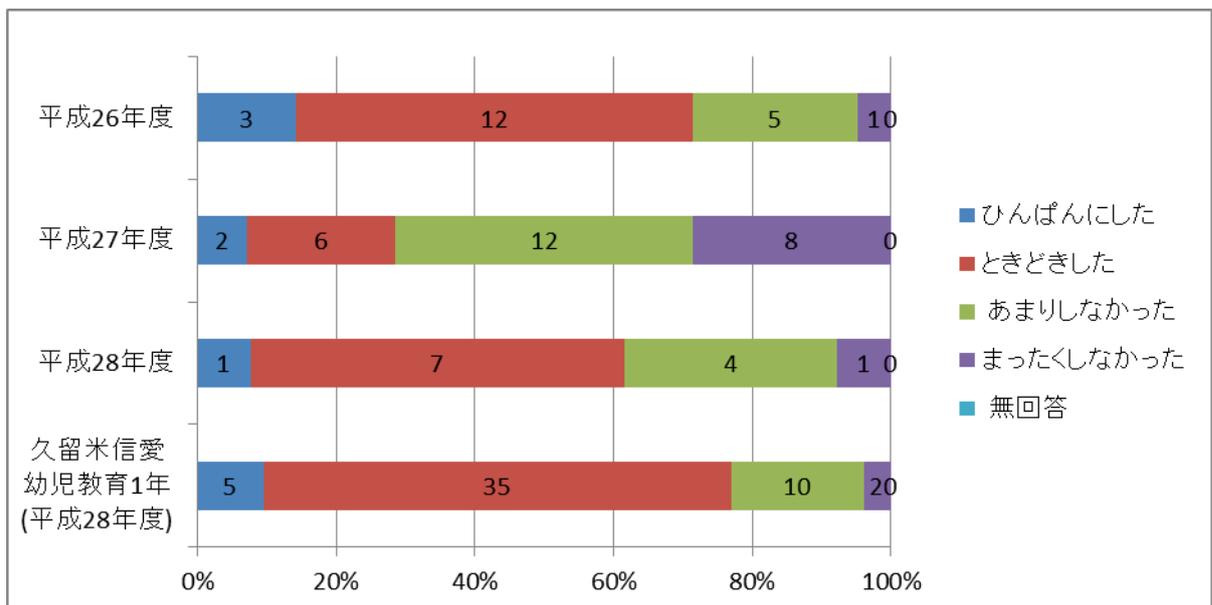
A. 授業課題のために図書館の資料を利用した



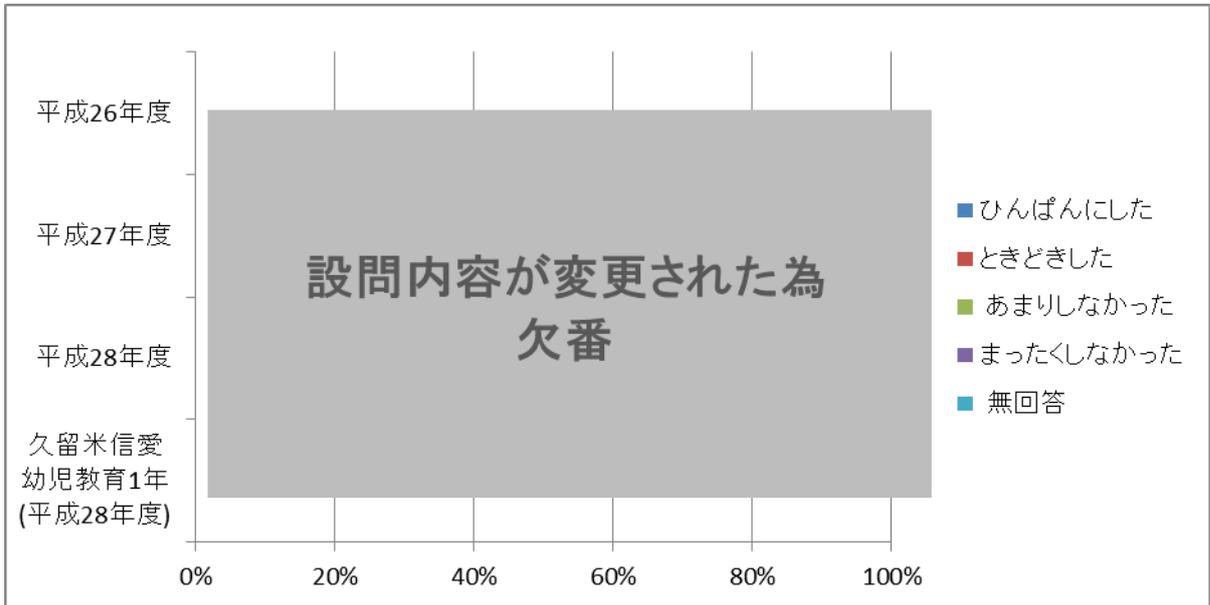
B. 授業課題のために Web 上の情報を利用した



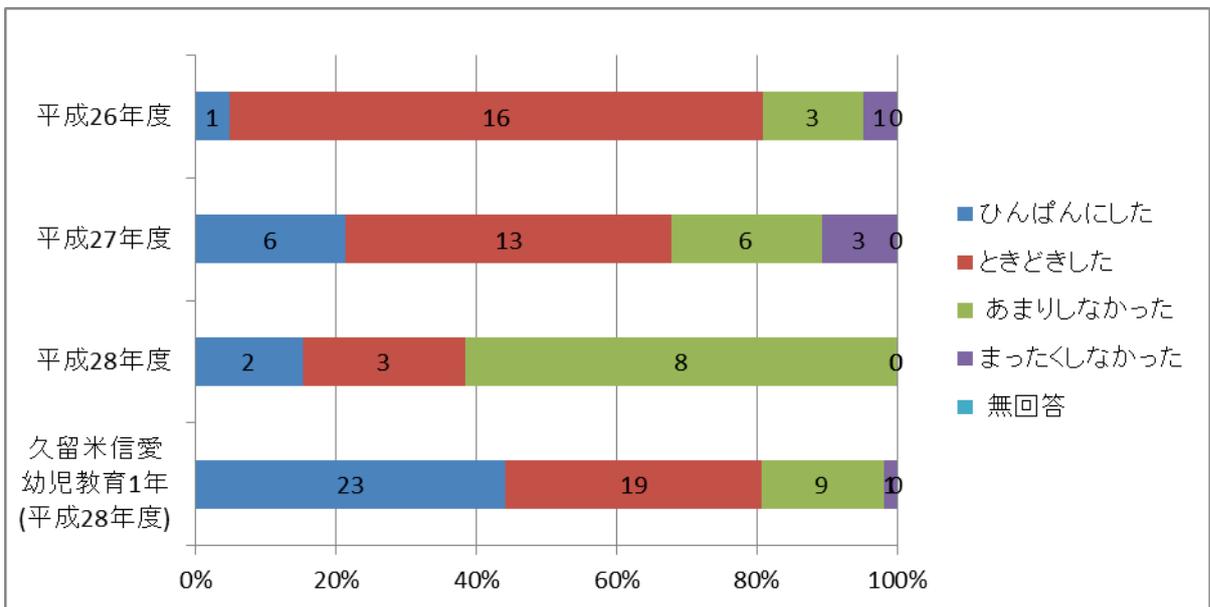
C. インターネットやイントラネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした



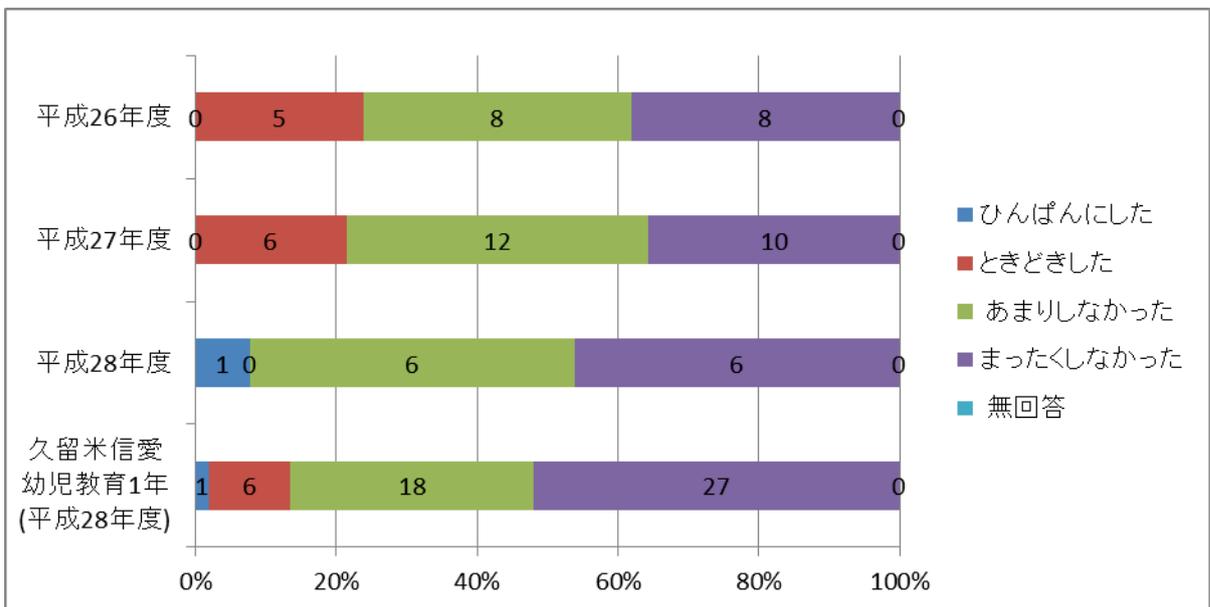
D. 提出期限までに授業課題を完成した



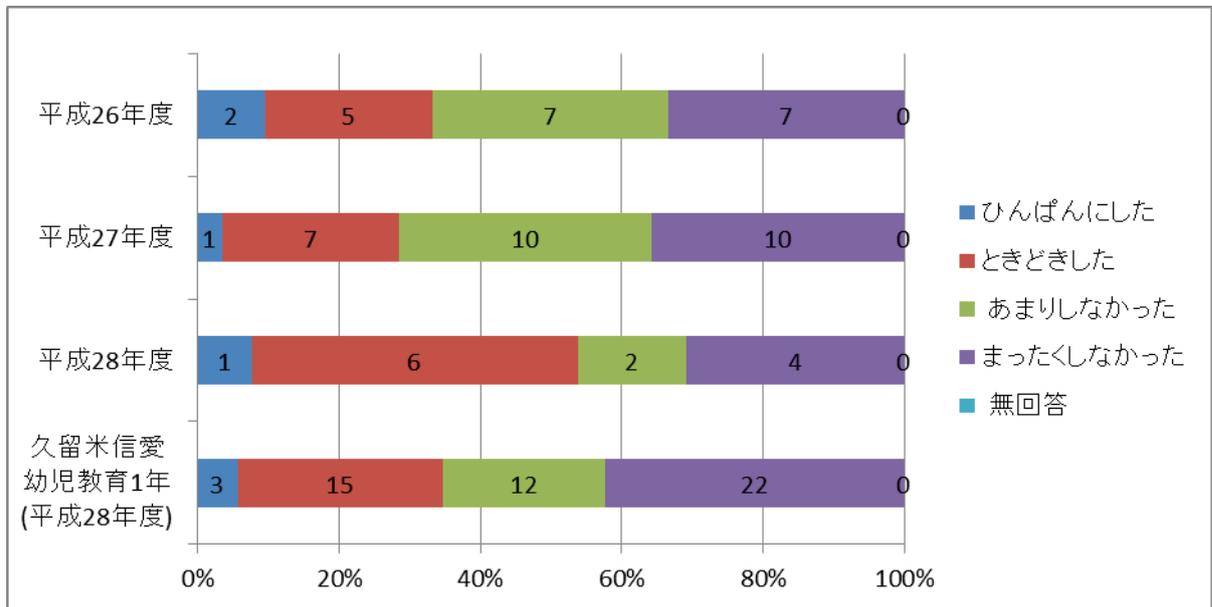
E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした



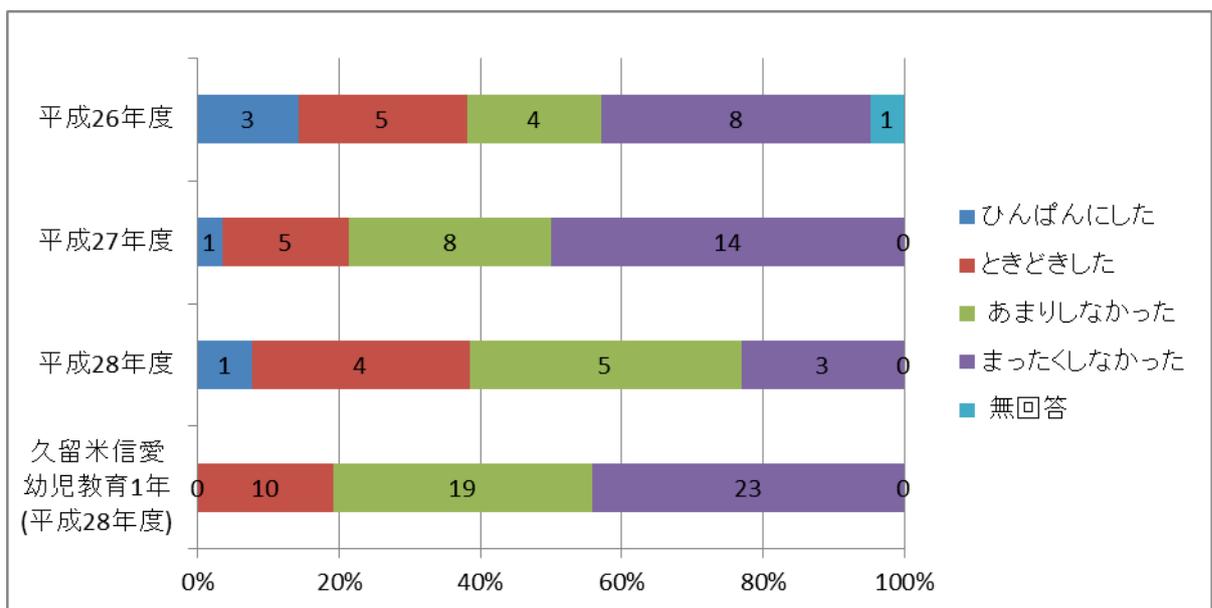
F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた



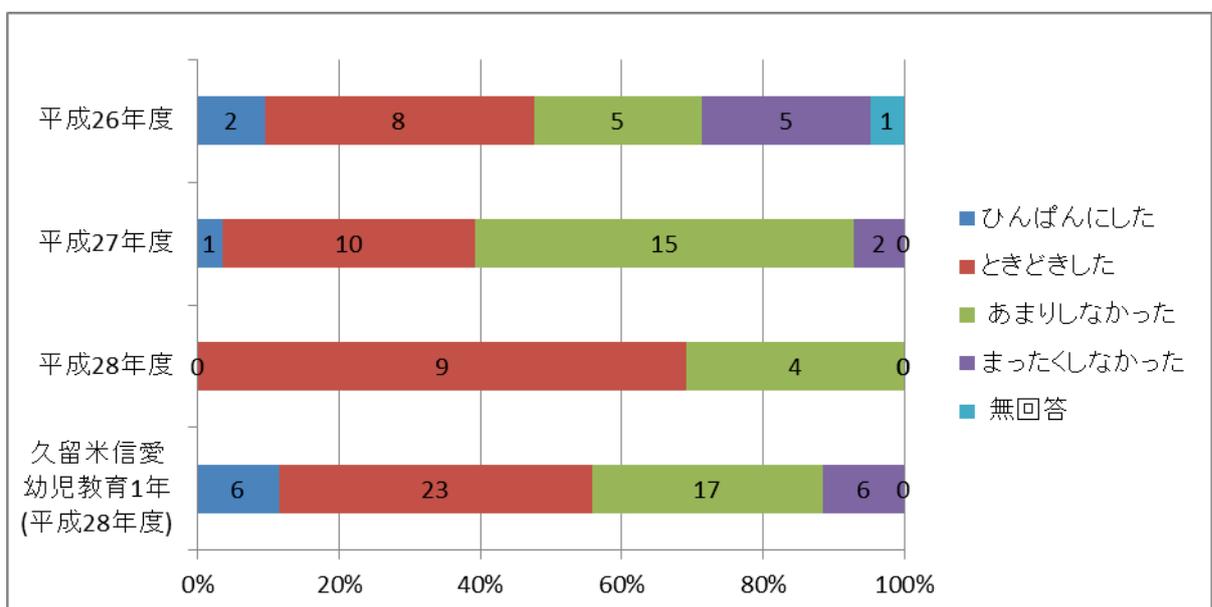
G. 授業を欠席した



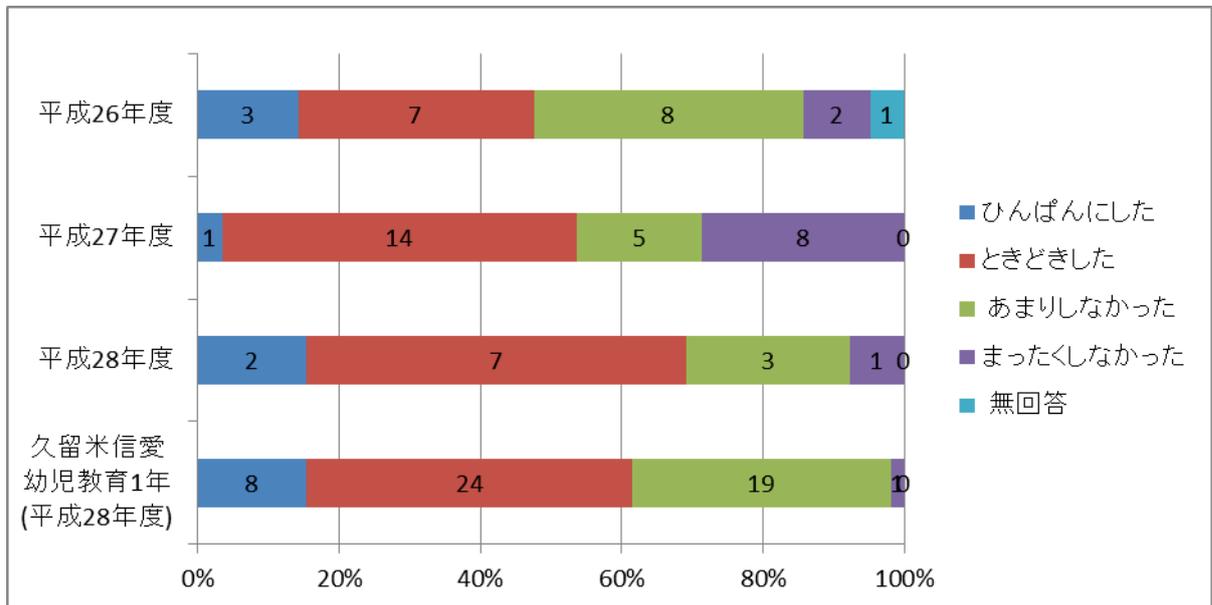
H. 授業に遅刻した



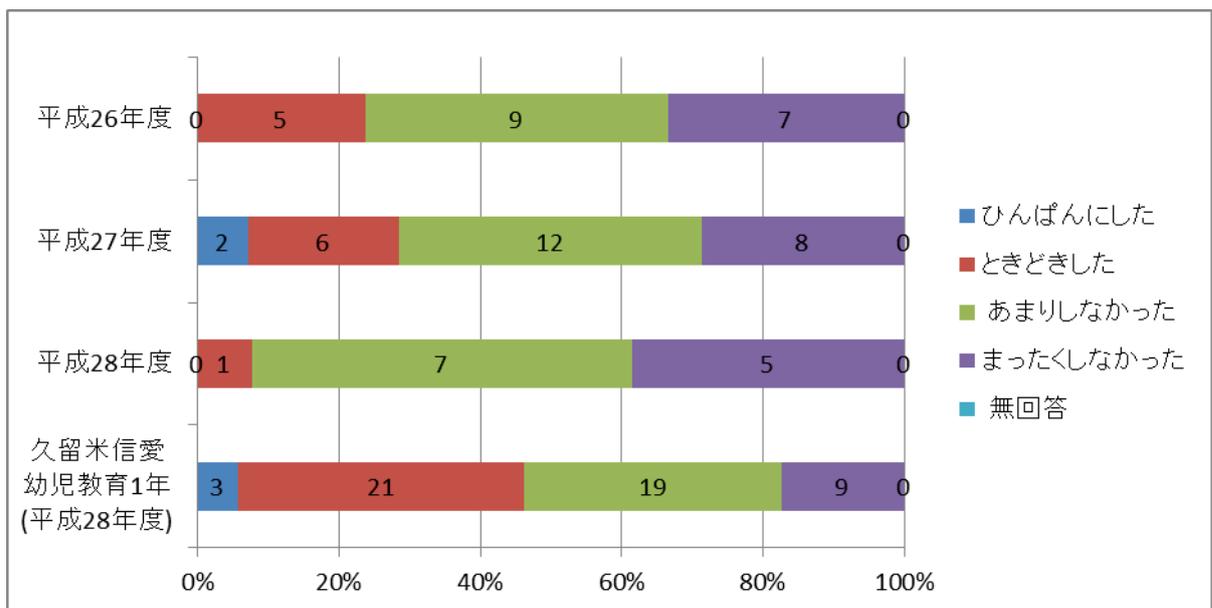
I. 授業をつまらなく感じた



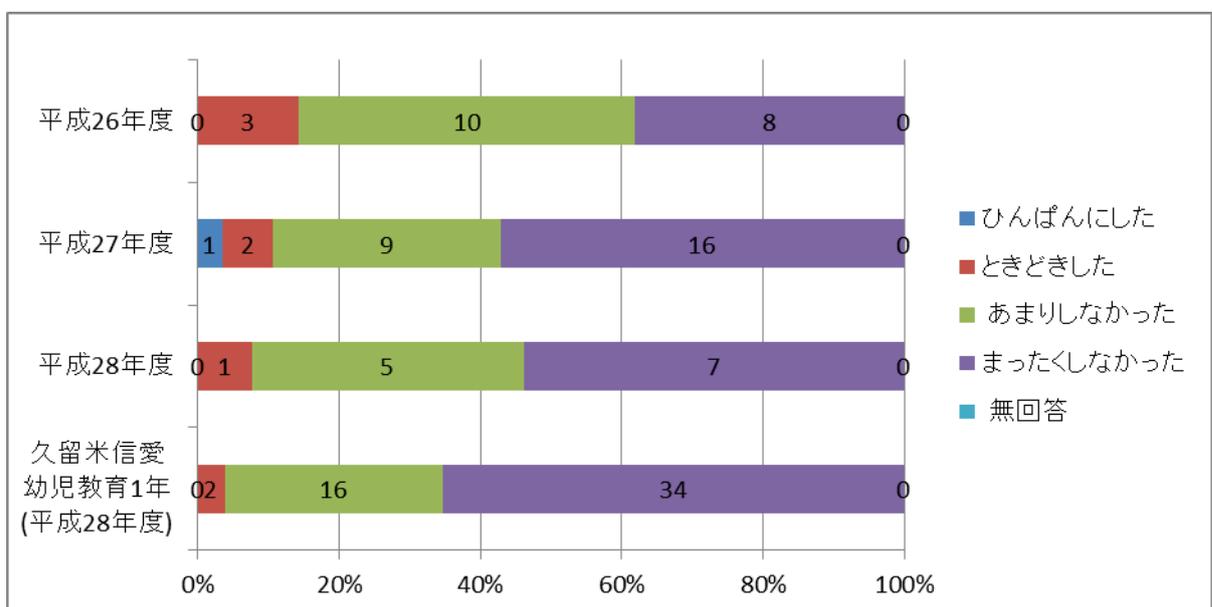
J. 授業中に居眠りをした



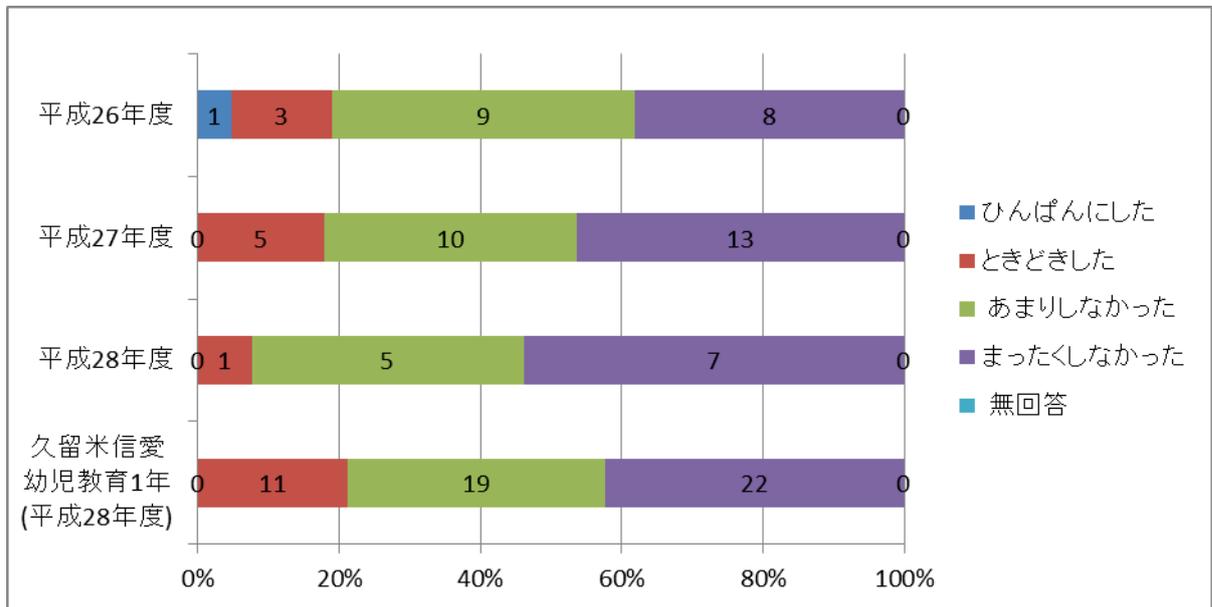
K. 教職員に学習に関する相談をしたり、学内の学習支援室を利用したりした(オフィサーも含める)



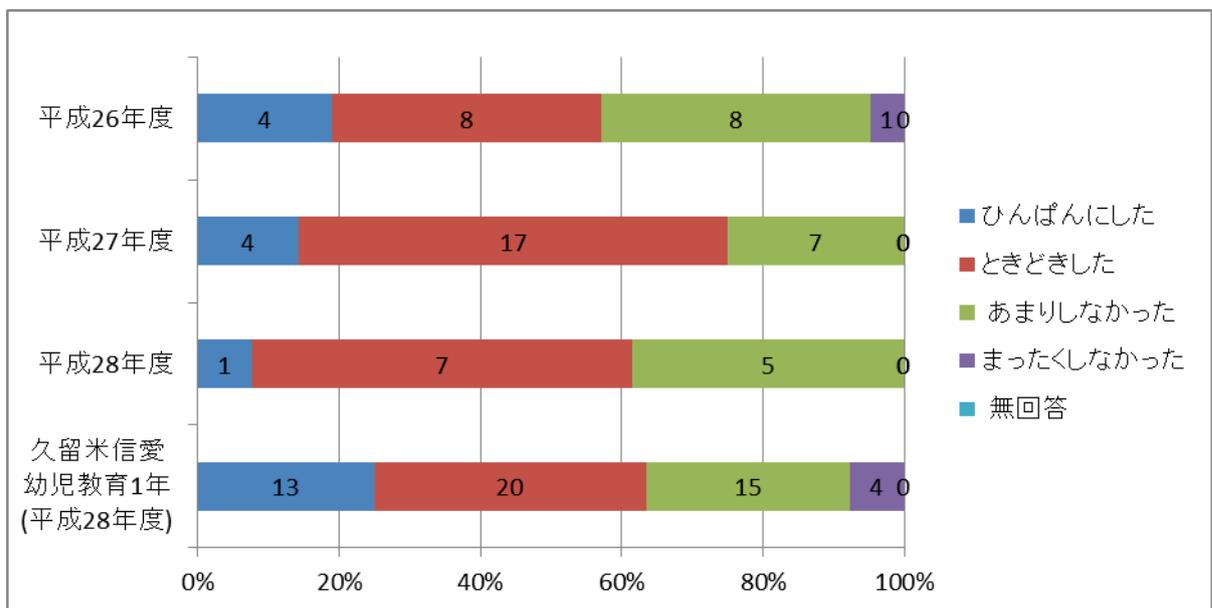
L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した



M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした（卒業後の進路や職業選択など）

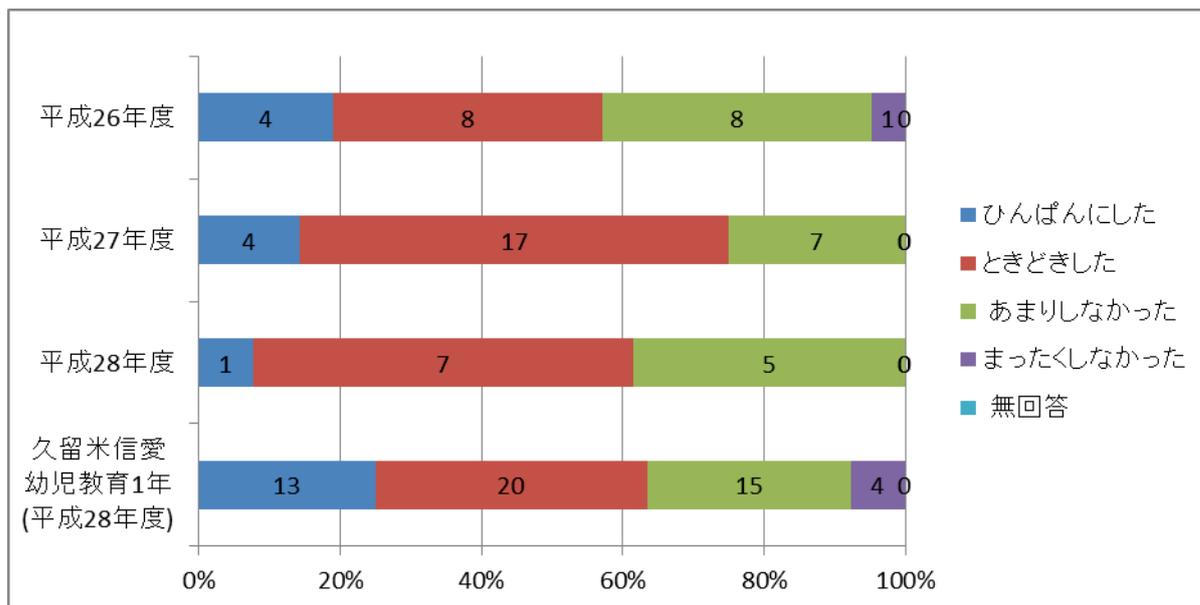


N. 教員に親近感を感じた

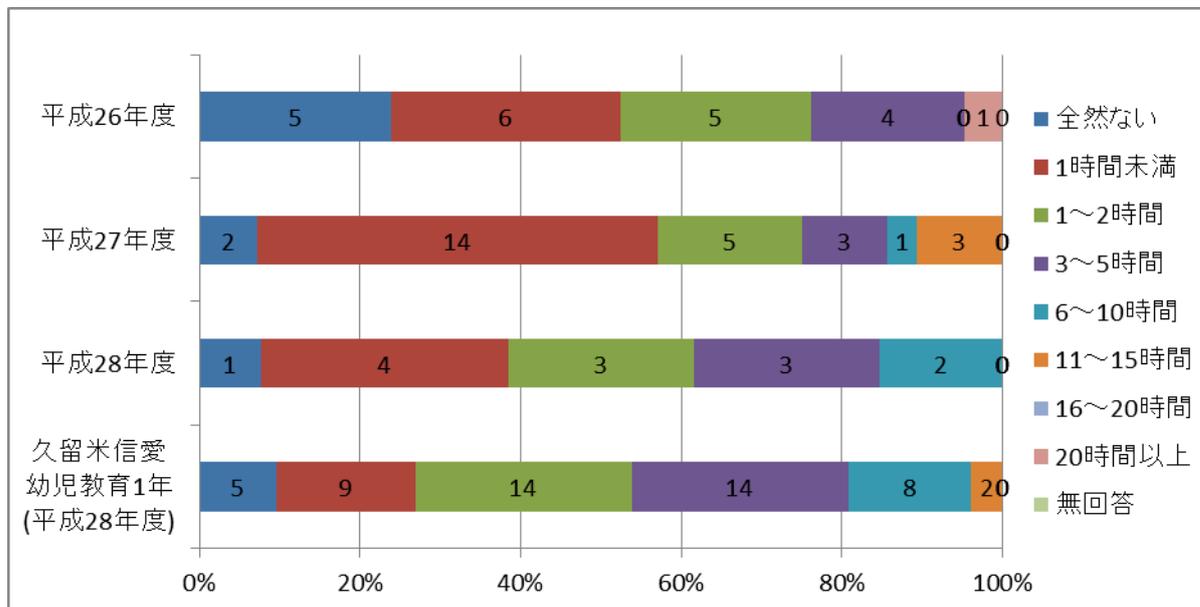


[9] 入学以来、活動に費やしている **1週間あたり**の時間数

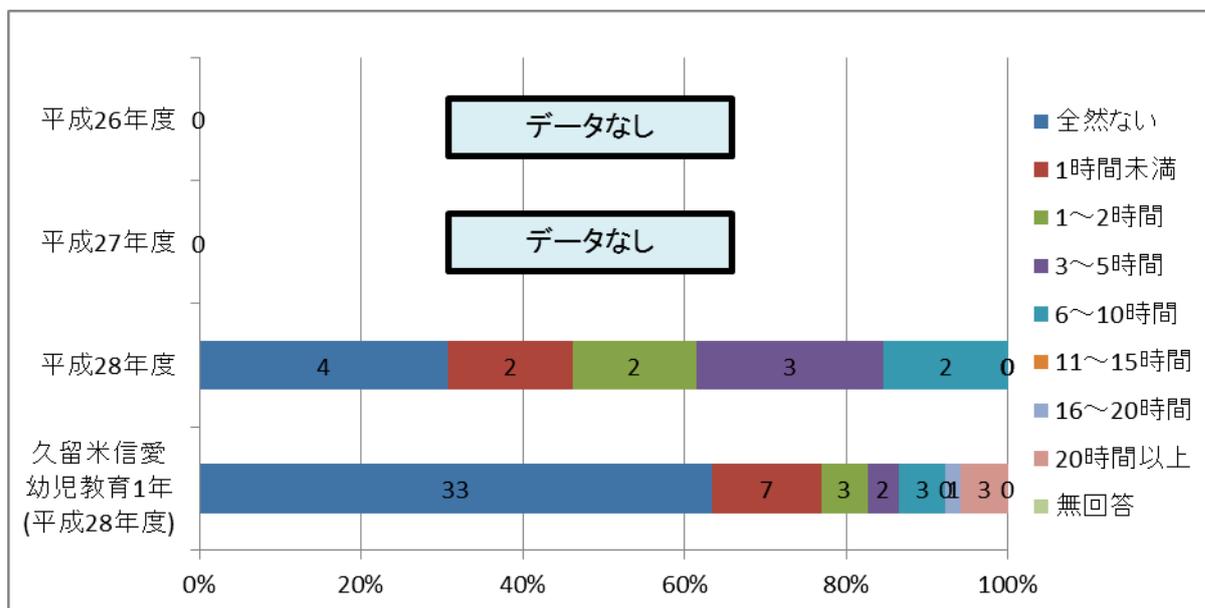
A. 講義や実習に出席する[参考] 90分×4コマ×5日間=30時間



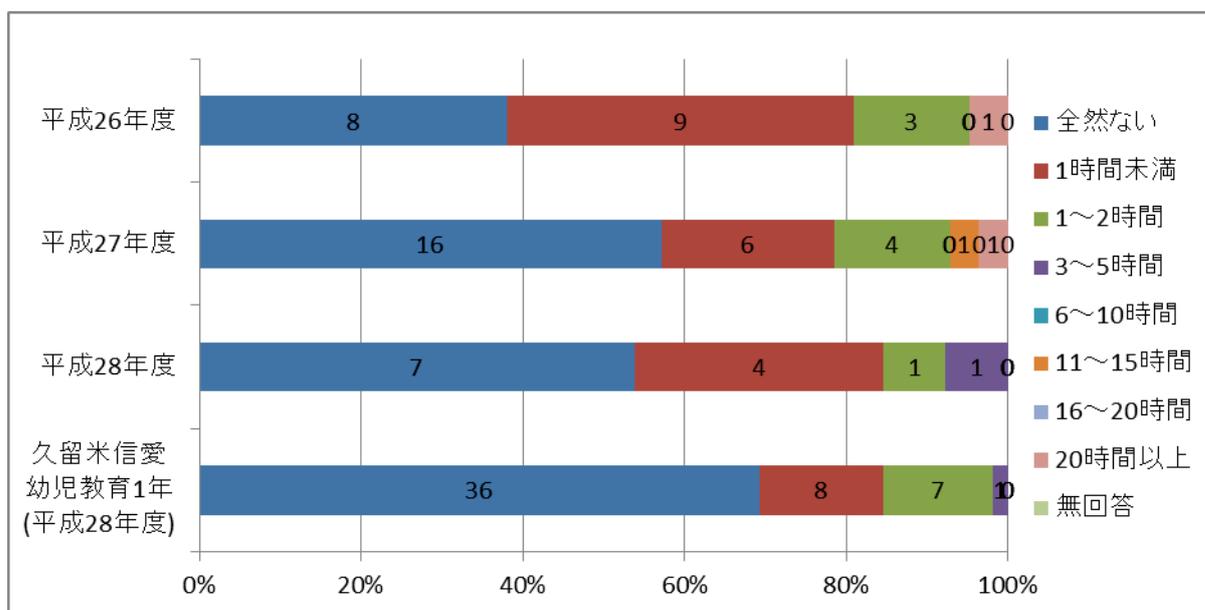
B. 授業時間以外に授業課題や準備学習、復習をする[参考] 1日2時間×7日=14時間



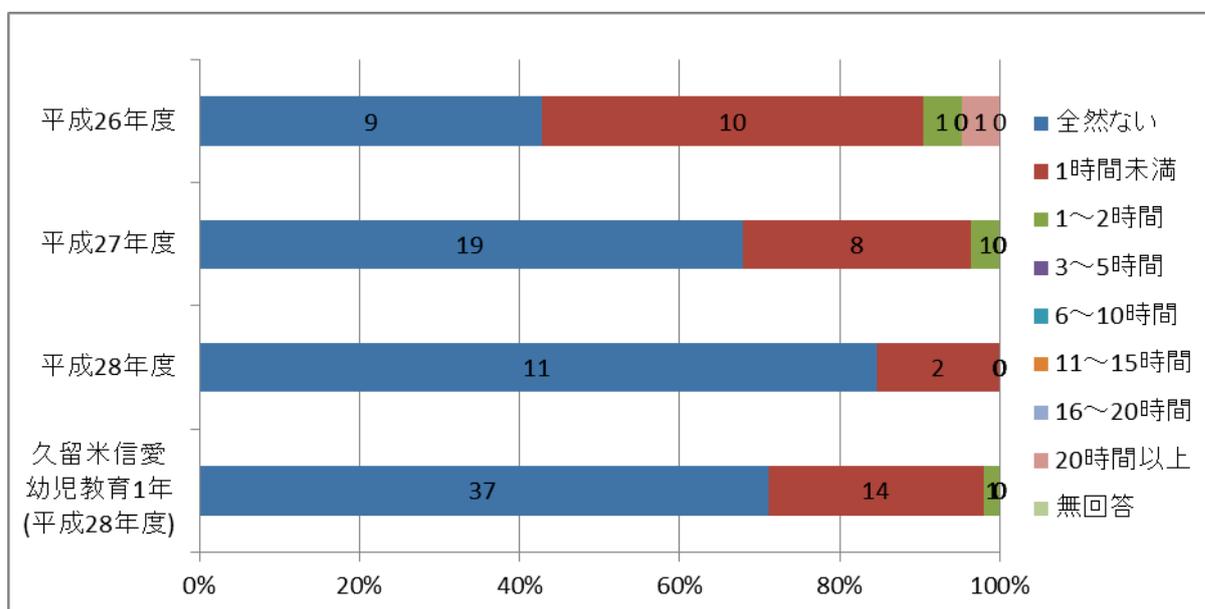
B2. アクティブ・ラーニング科目（学内の演習や学外での実習など）に関する授業外学修時間



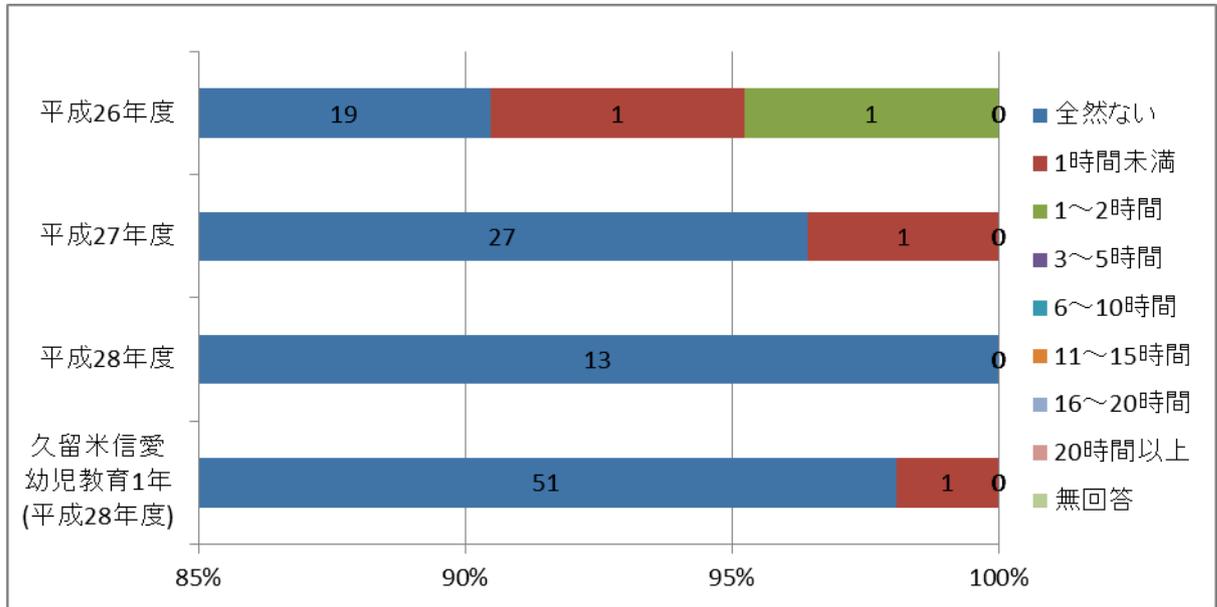
C. 授業時間以外に、授業に関連しない勉強をする



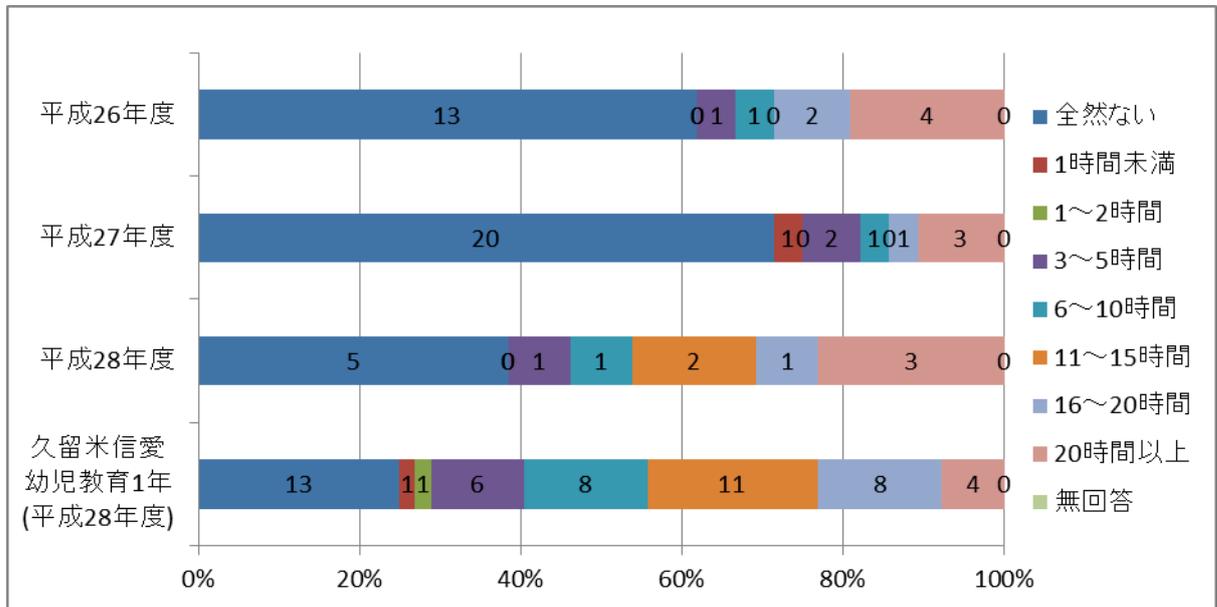
D. オフィスアワーなど、授業時間以外に教員と面談する



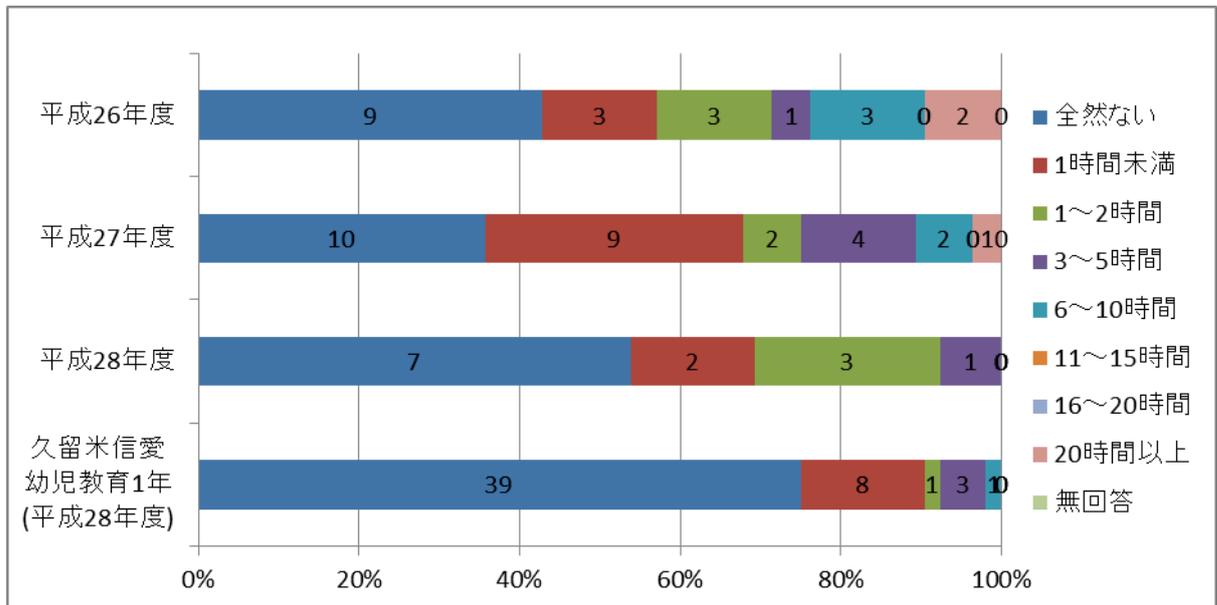
E. 部活動や同好会に参加する



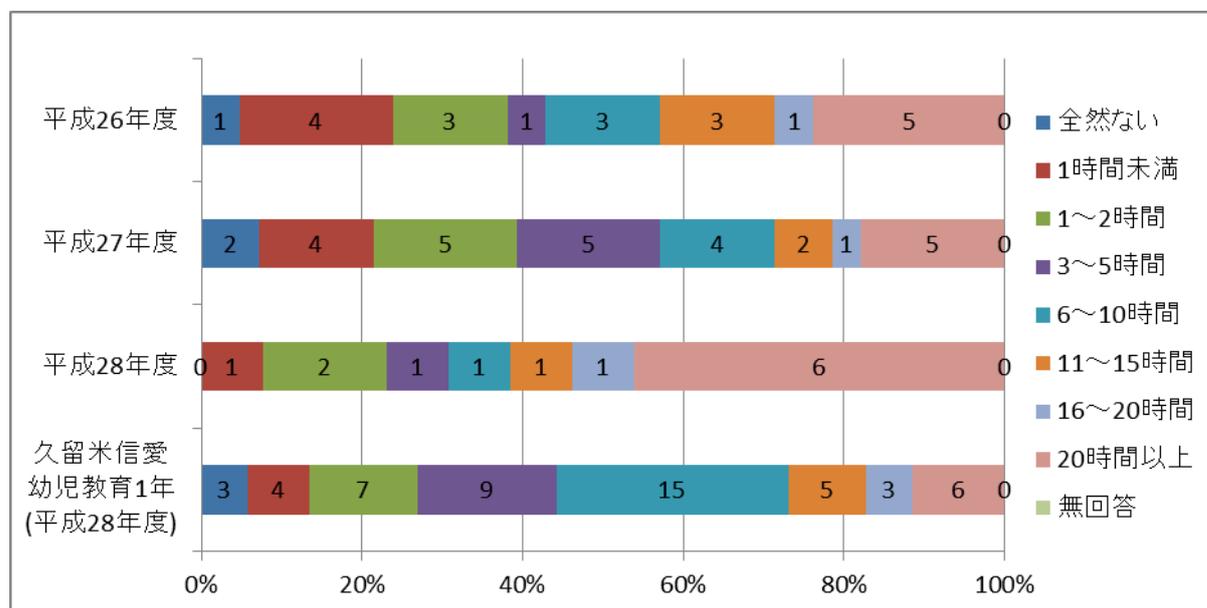
F. 大学外でアルバイトや仕事をする



G. 読書をする (マンガ・雑誌を除く)



H. 個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）



※時間の目安

1日 30分×7日 = 3.5時間

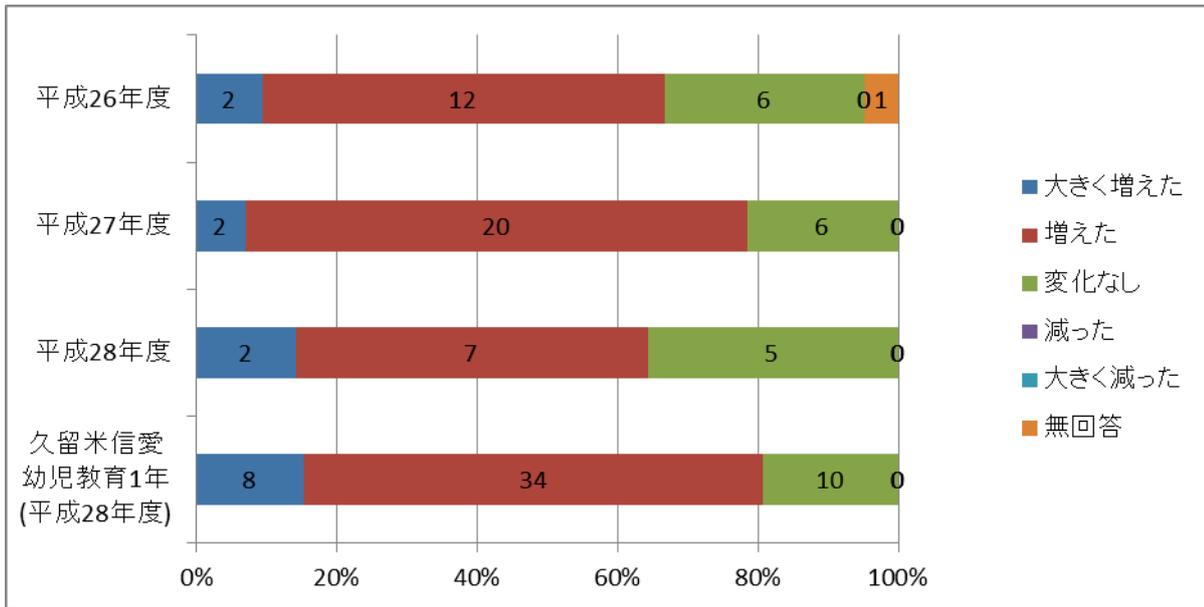
1日 60分×7日 = 7時間

1日 1.5時間×7日 = 10.5時間

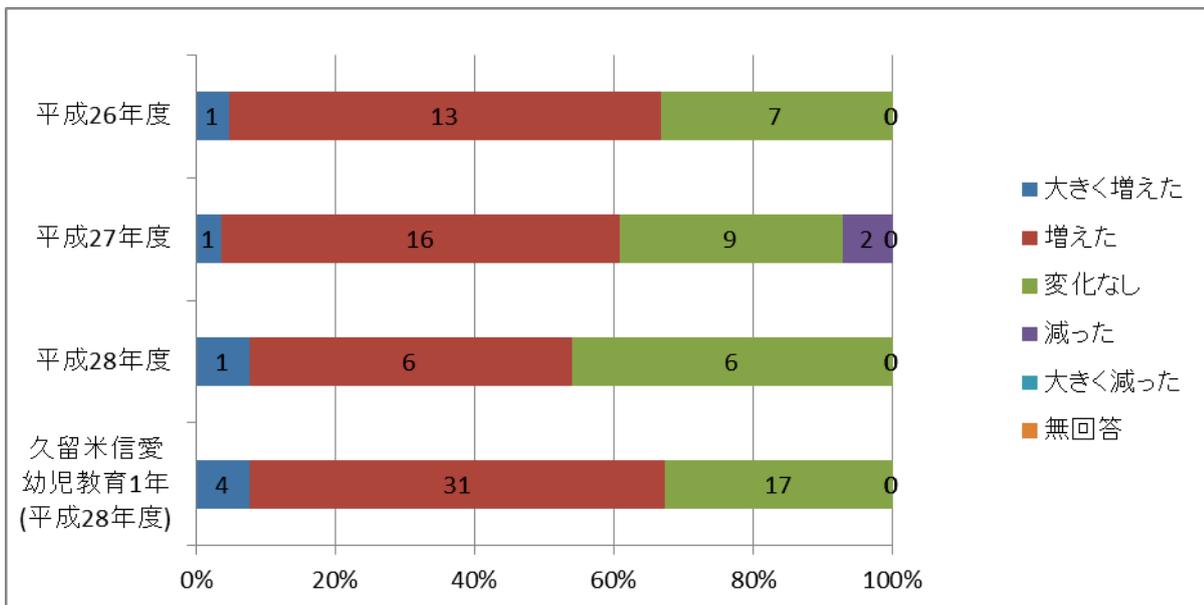
1日 2時間×7日 = 14時間

[10] 入学時点と比べた能力や知識の変化

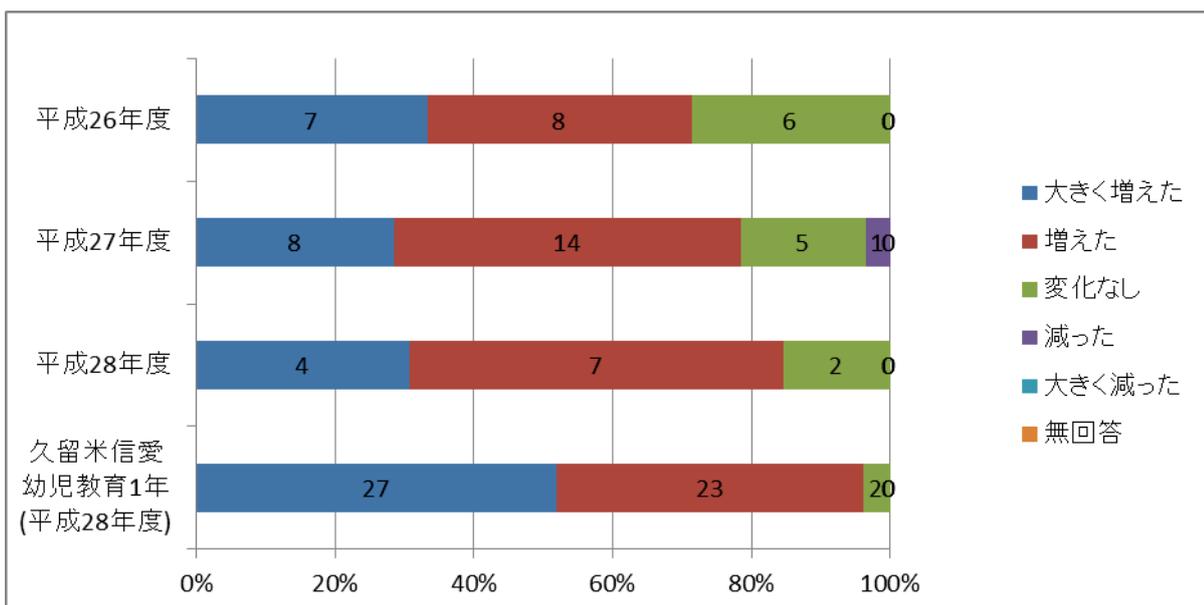
A. 一般的な教養



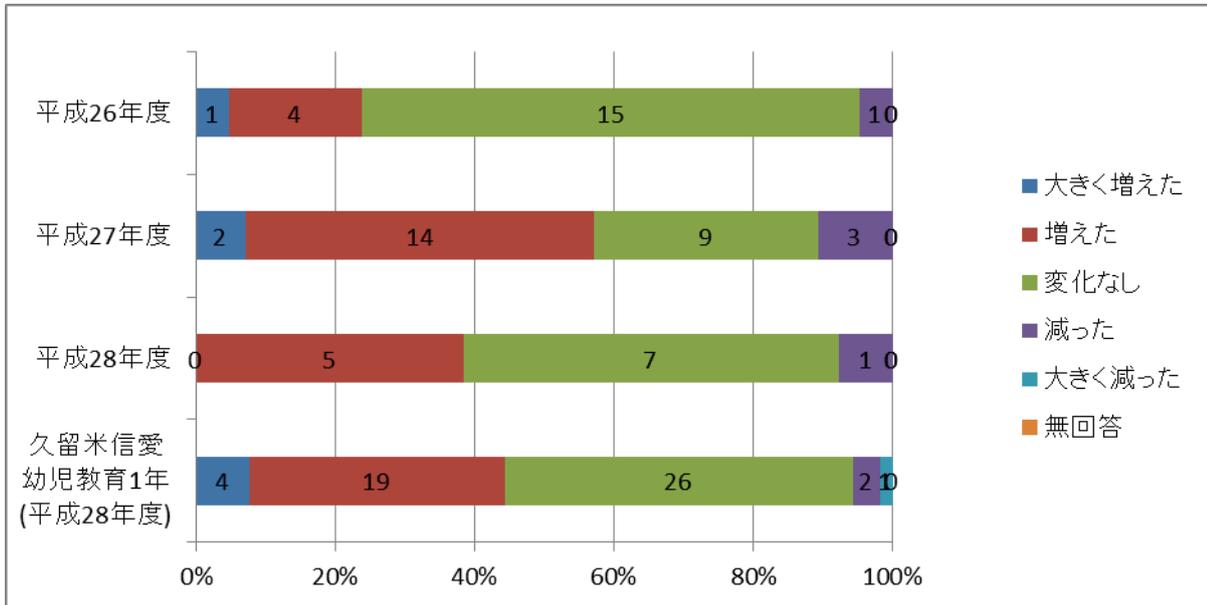
B. 分析力や問題解決能力



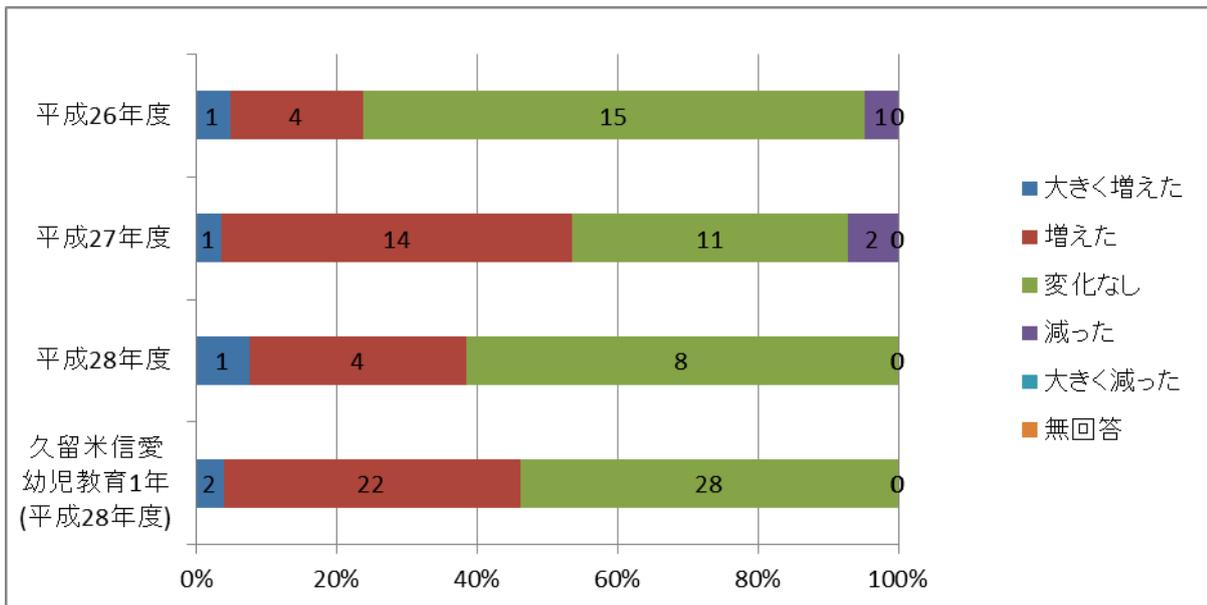
C. 専門分野や学科の知識



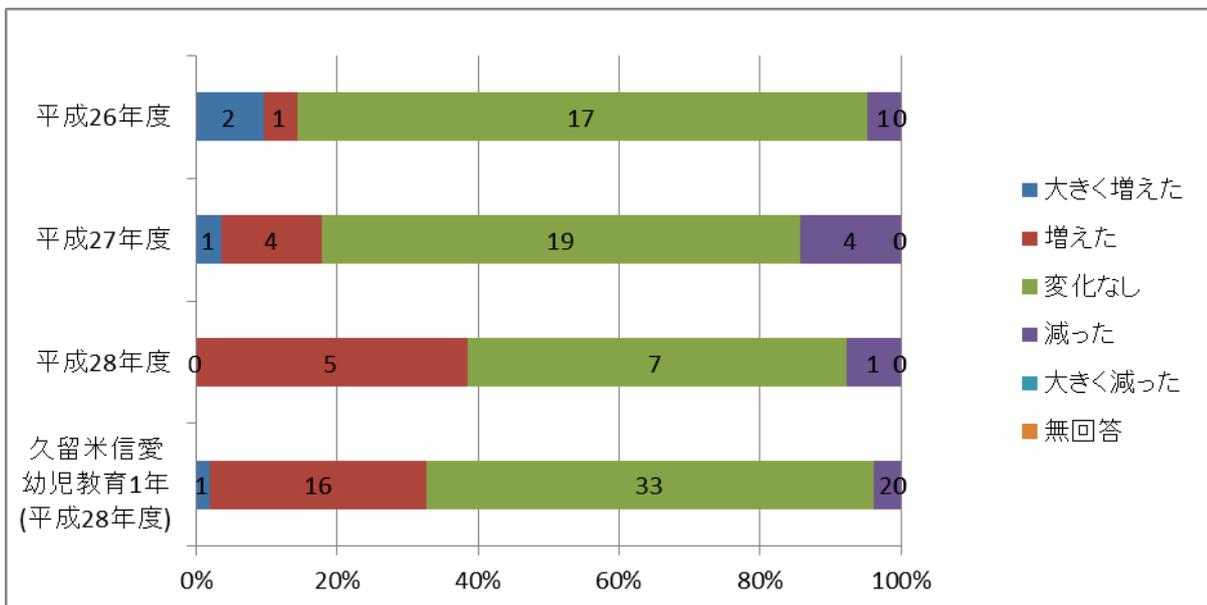
D. 批判的に考える能力



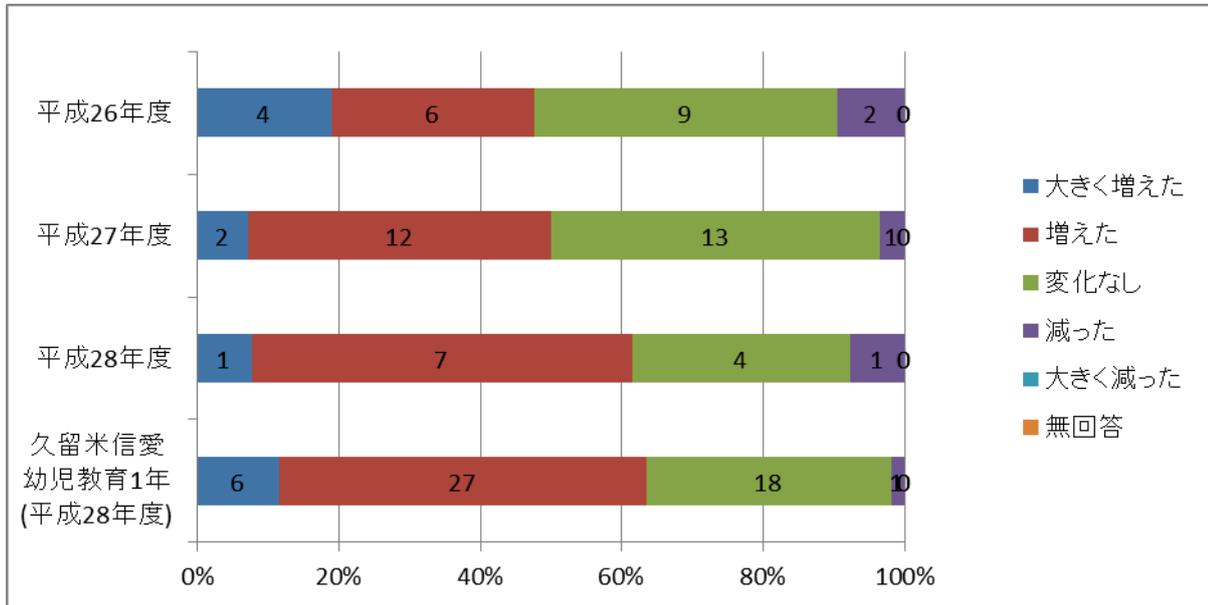
E. 異文化の人々に関する知識



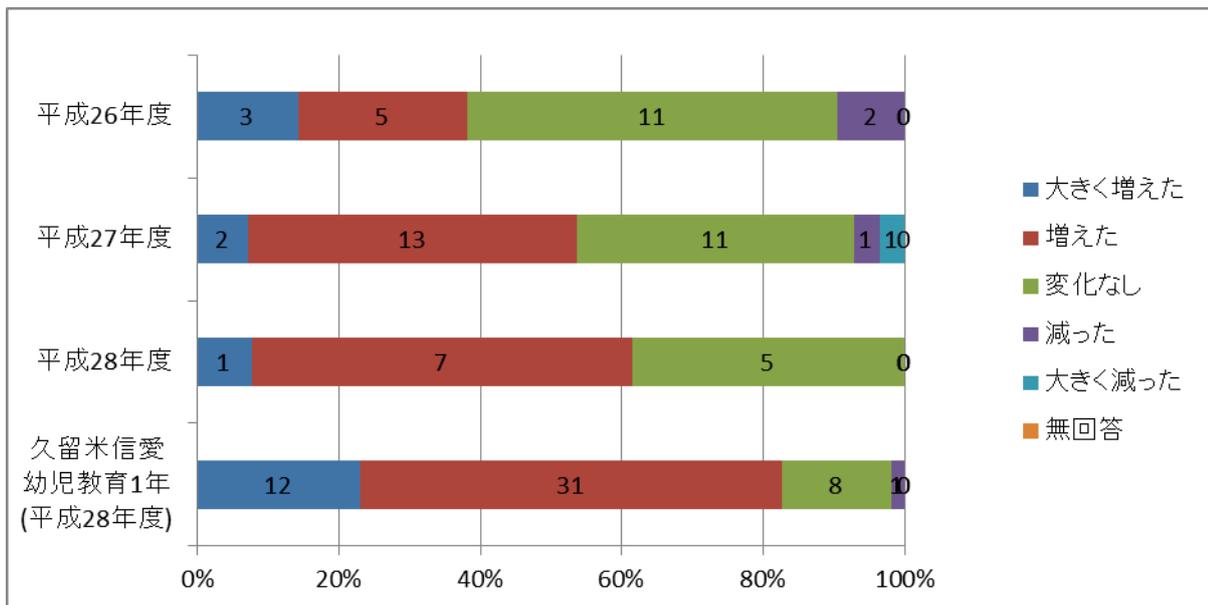
F. リーダーシップの能力



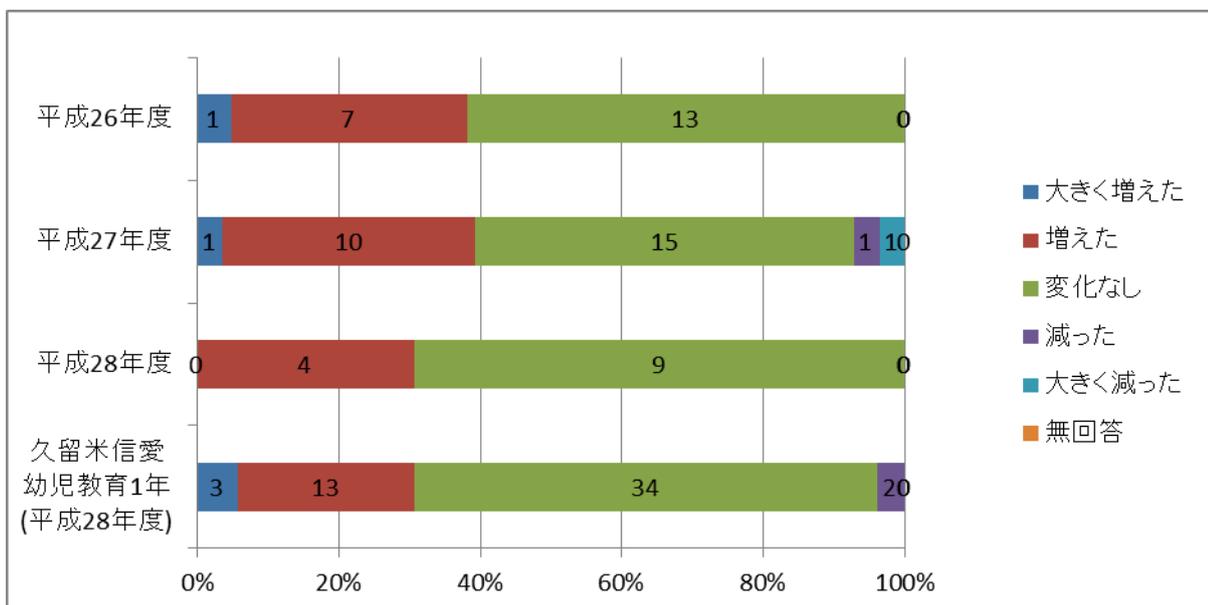
G. 人間関係を構築する能力



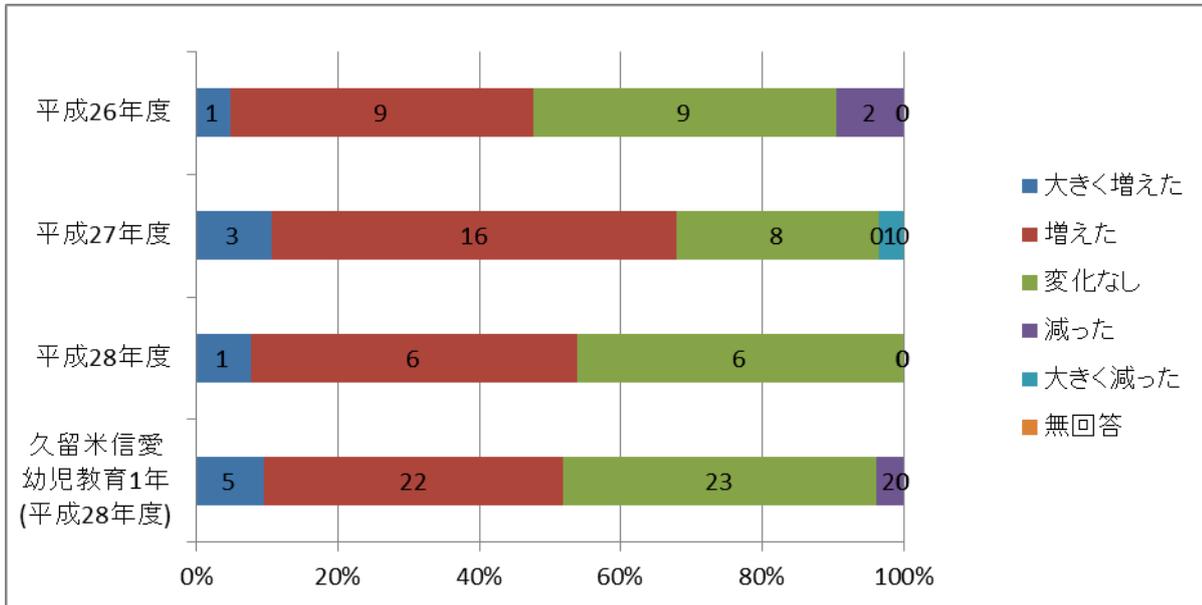
H. 他の人と協力して物事を遂行する能力



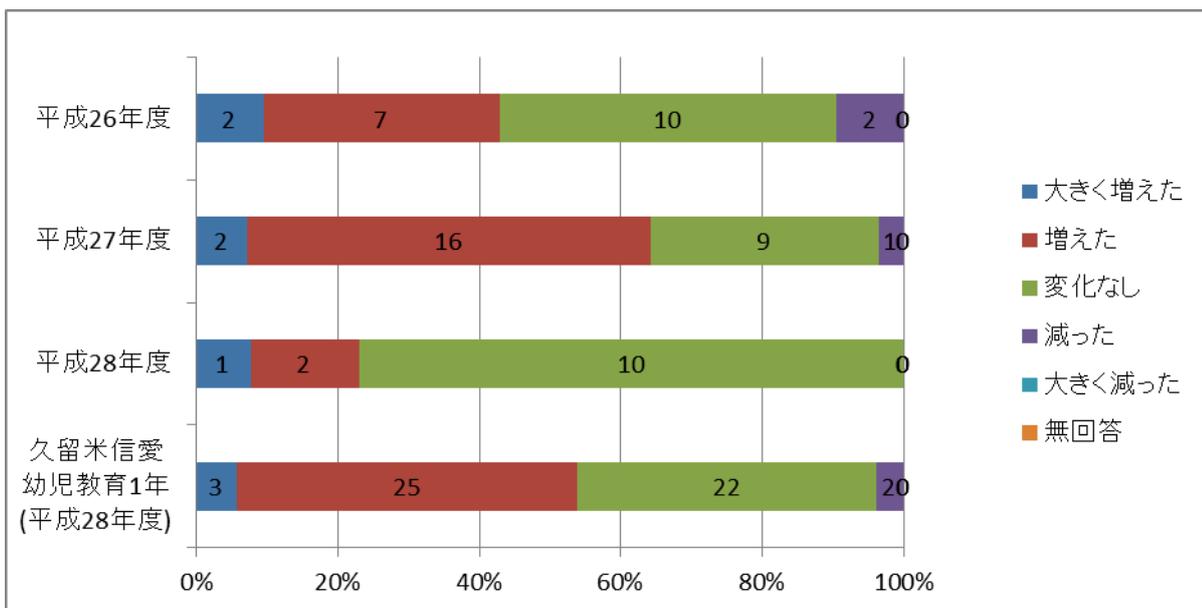
I. 異文化の人々と協力する能力



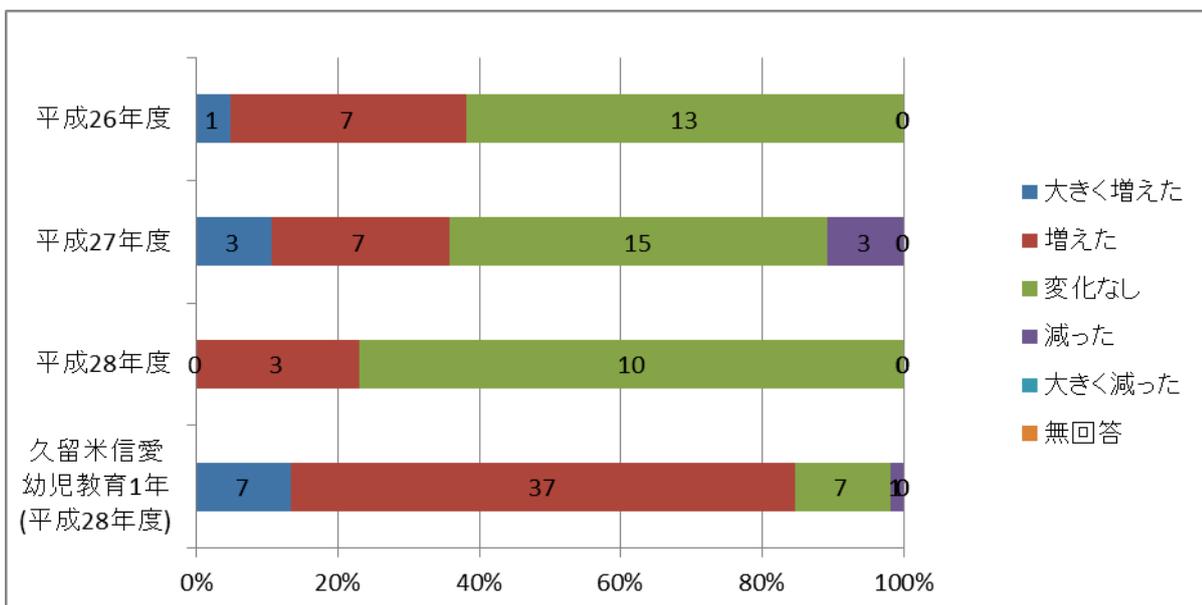
J. 地域社会が直面する問題を理解する能力



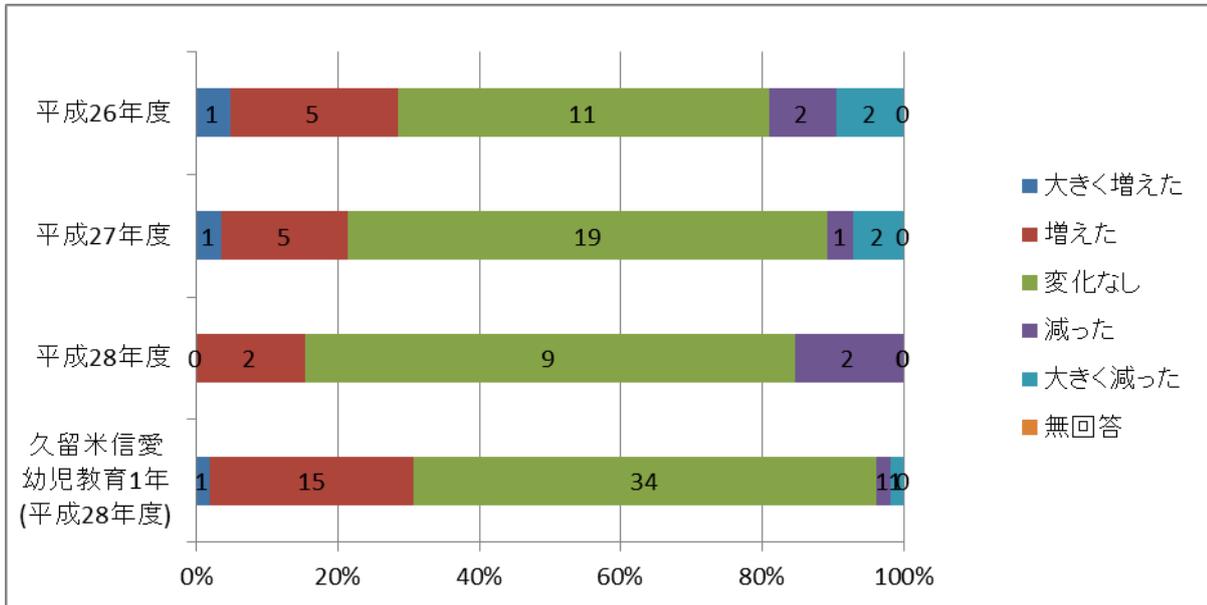
K. 国民が直面する問題を理解する能力



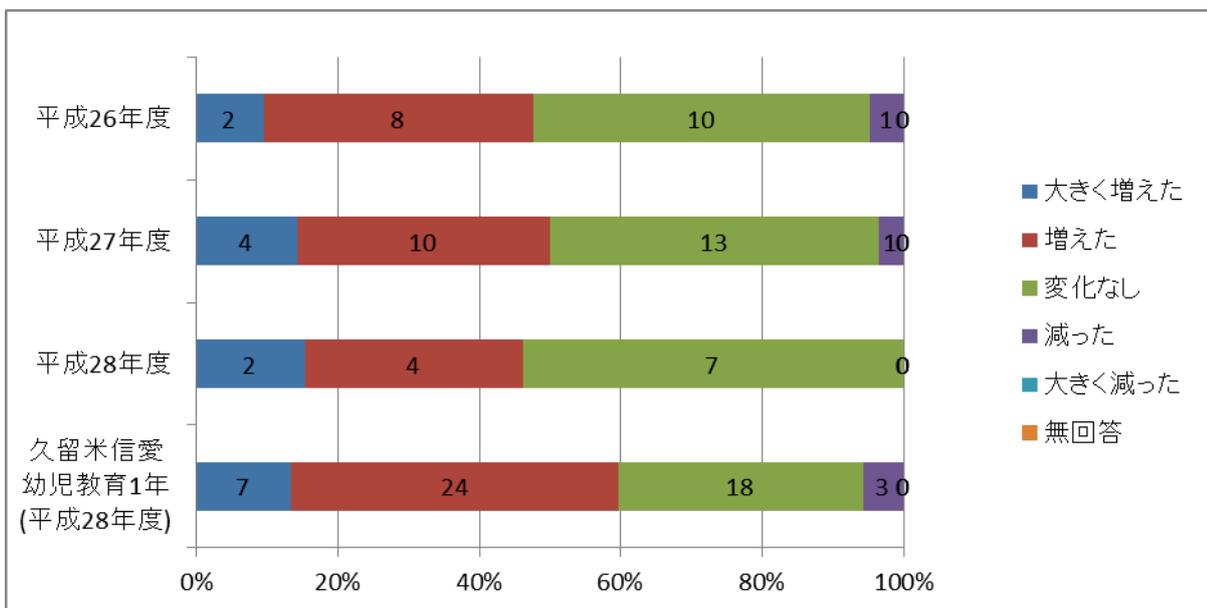
L. 文章表現の能力



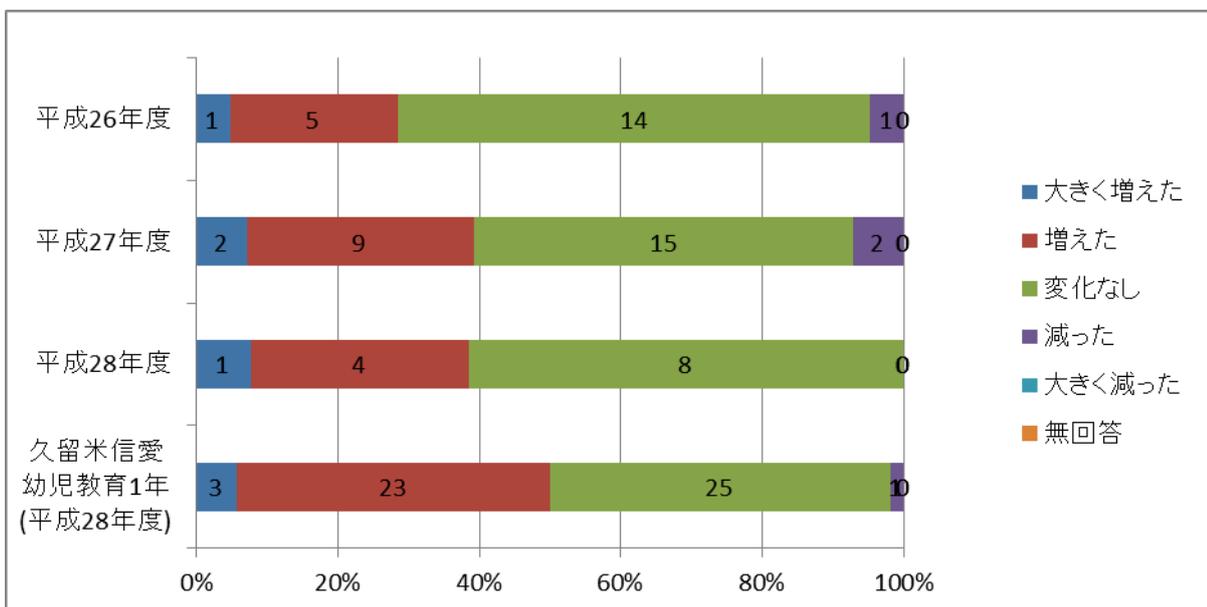
M. 外国語の運用能力



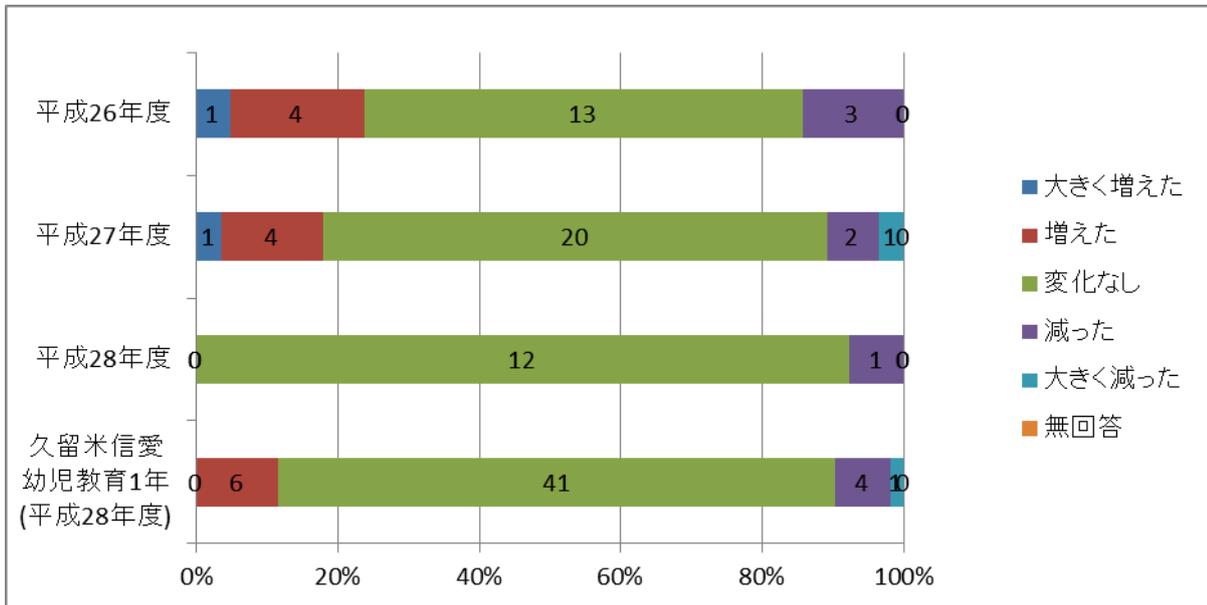
N. コミュニケーションの能力



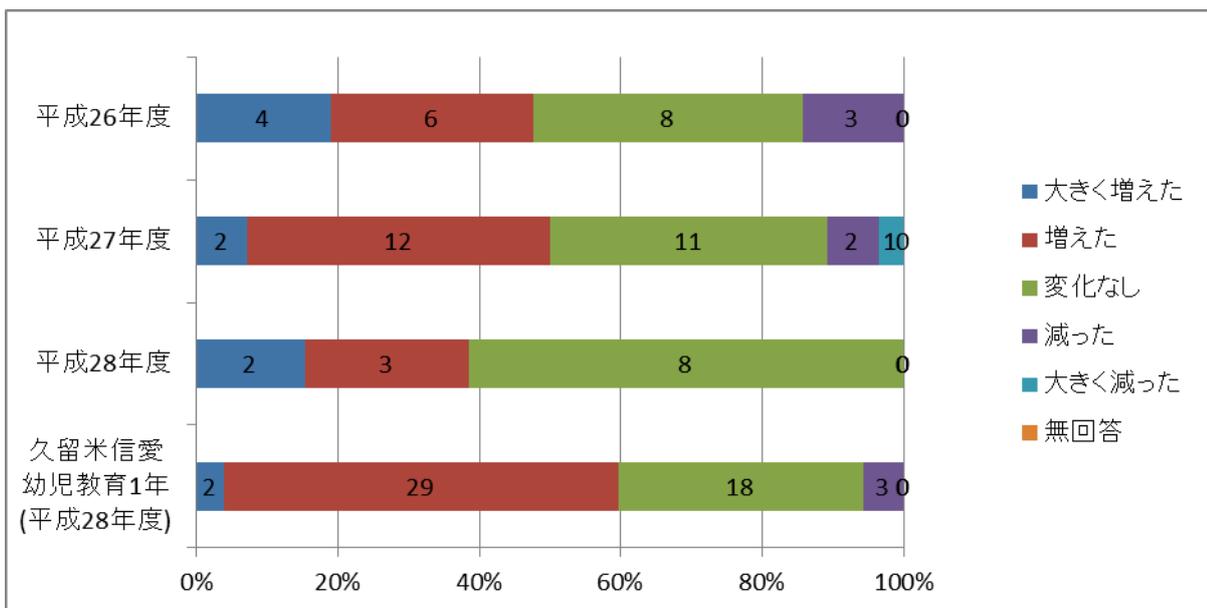
O. プレゼンテーションの能力



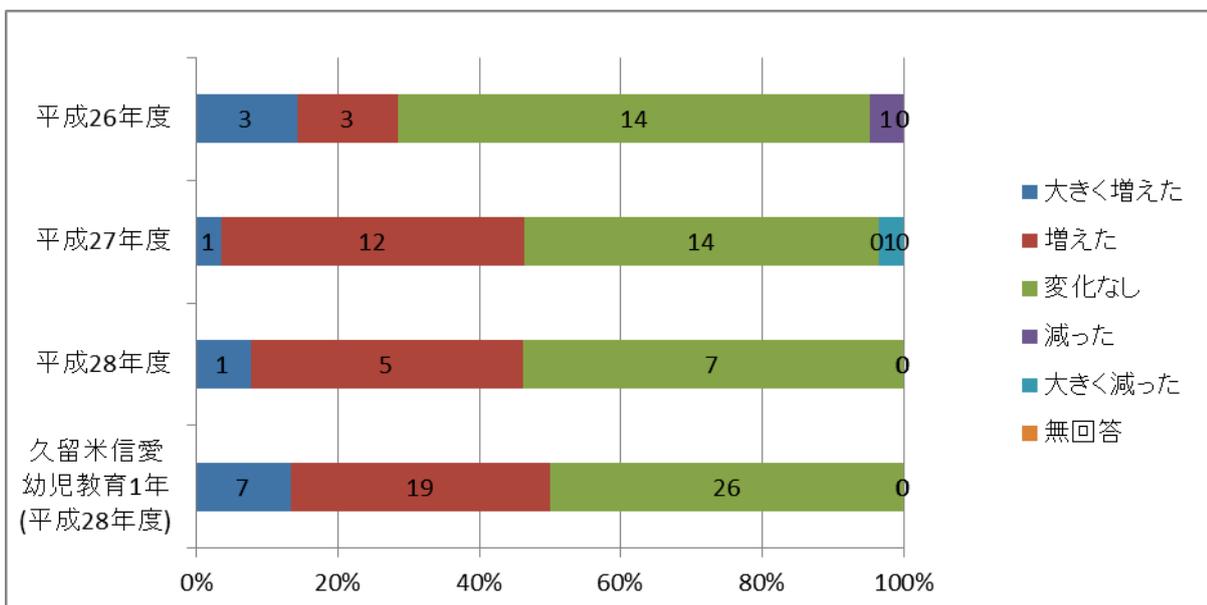
P. 数理的な能力



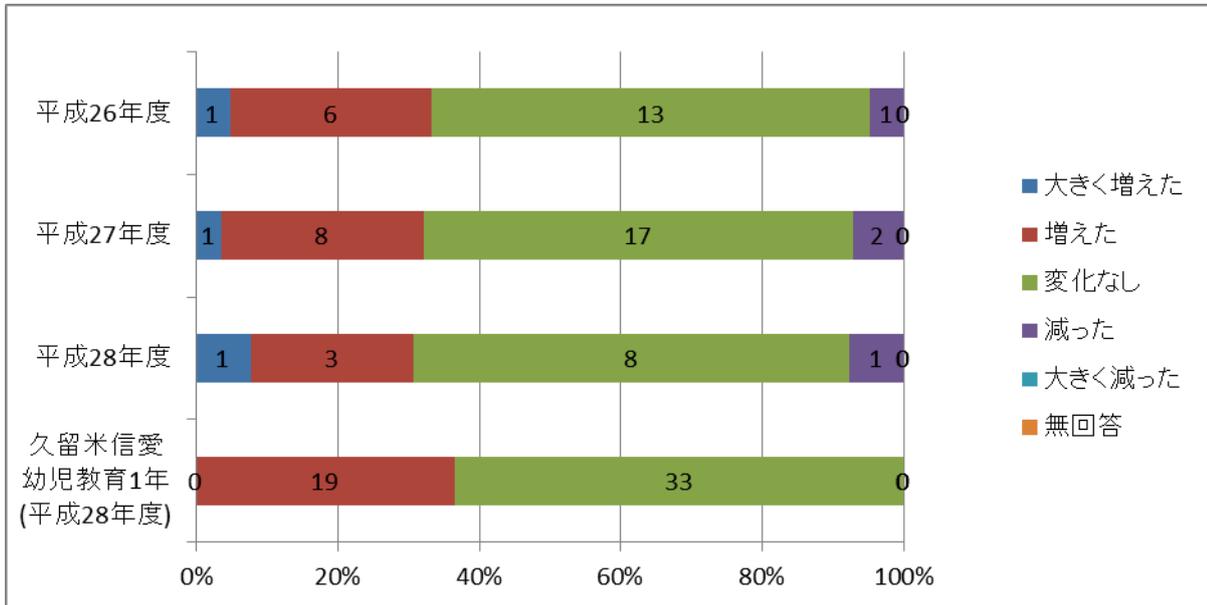
Q. コンピュータの操作能力



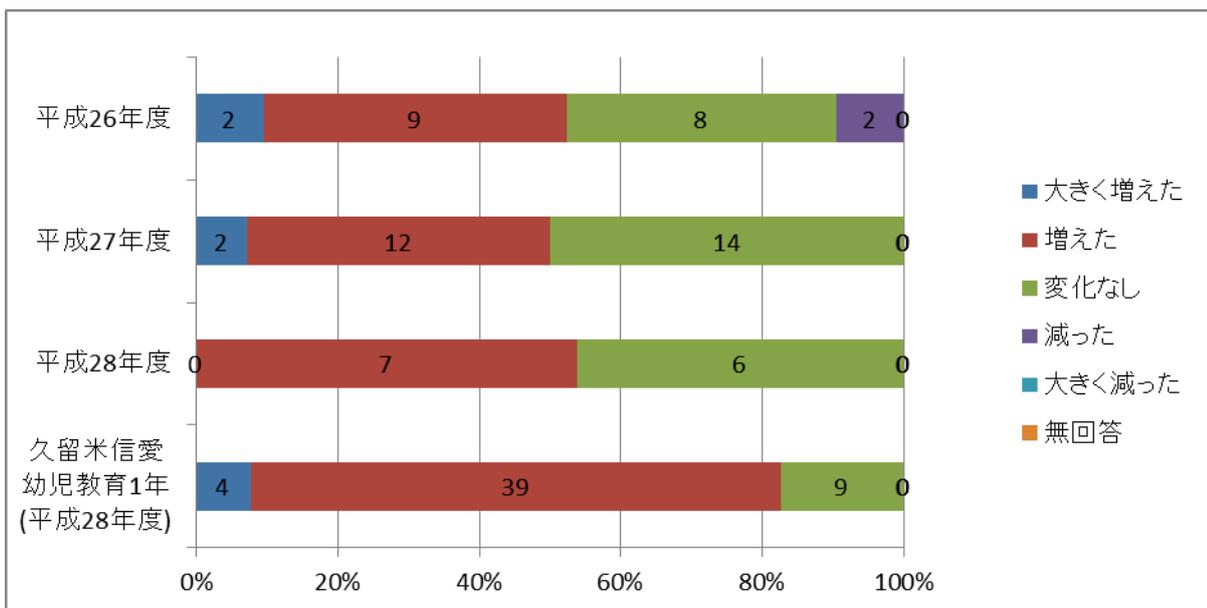
R. 時間を効果的に利用する能力



S. グローバルな問題の理解

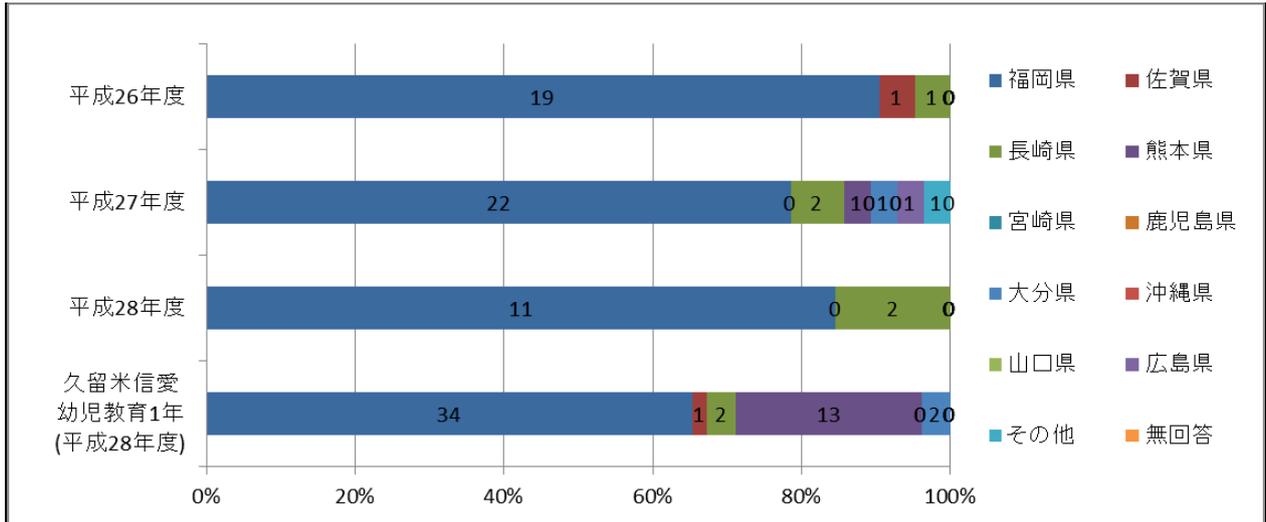


T. 就職に向けての知識・技術力



IV. 現在の学生生活について

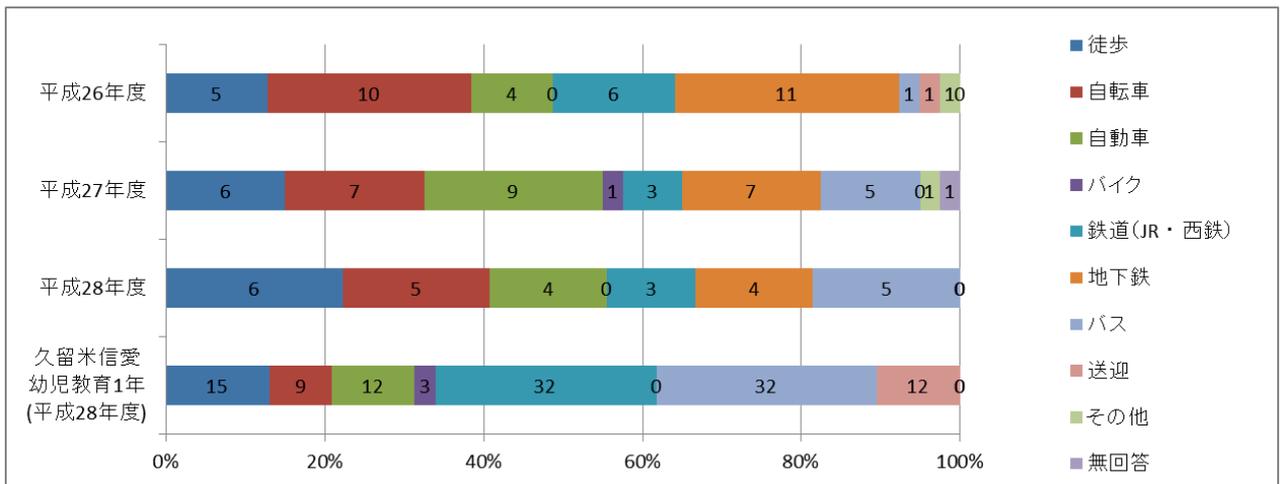
[15] 出身地



【その他の回答】

富山県：1名（平成27年度）

[16] 大学までの交通手段（当てはまるものすべてに○をつける）



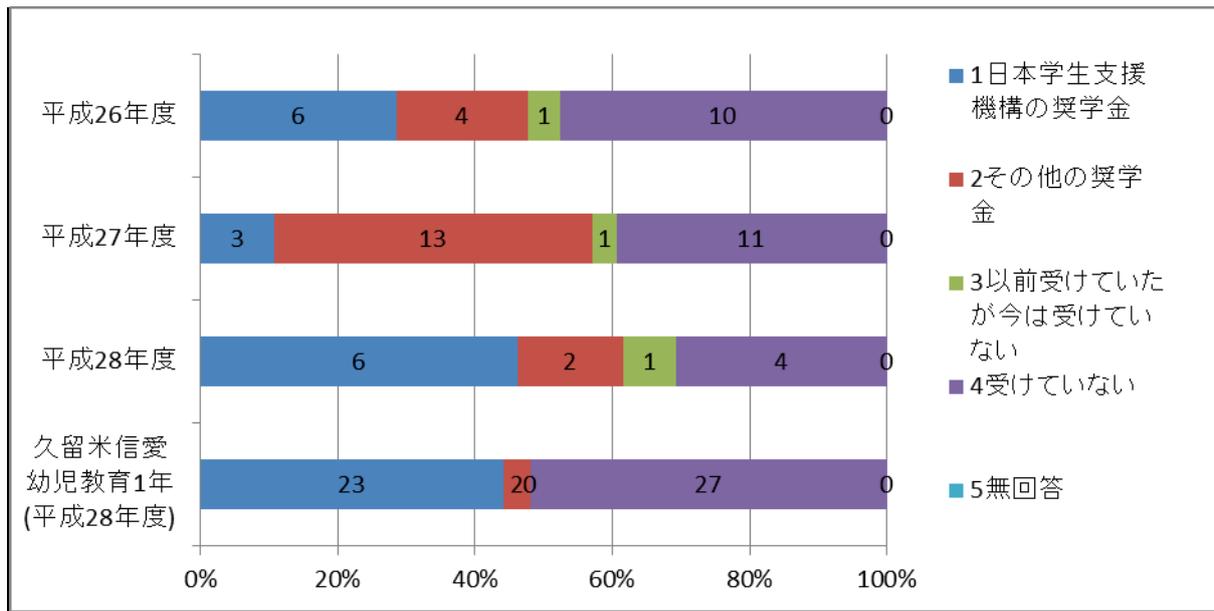
【その他の回答】

27年度 … 新幹線：1名

タクシー：1名

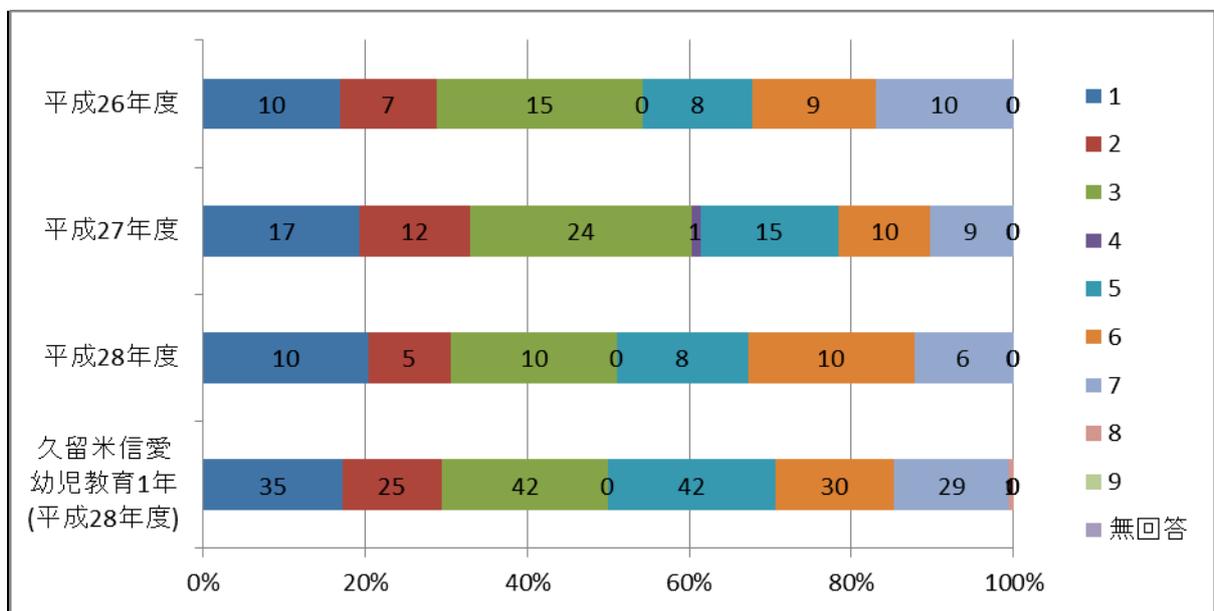
[17] 奨学金の利用

- ①日本学生支援機構の奨学金 ②その他の奨学金
 ③以前受けていたが今は受けていない ④受けていない ⑤無回答



[18] 大学生生活の目的 (当てはまるすべてのものに○をつける)

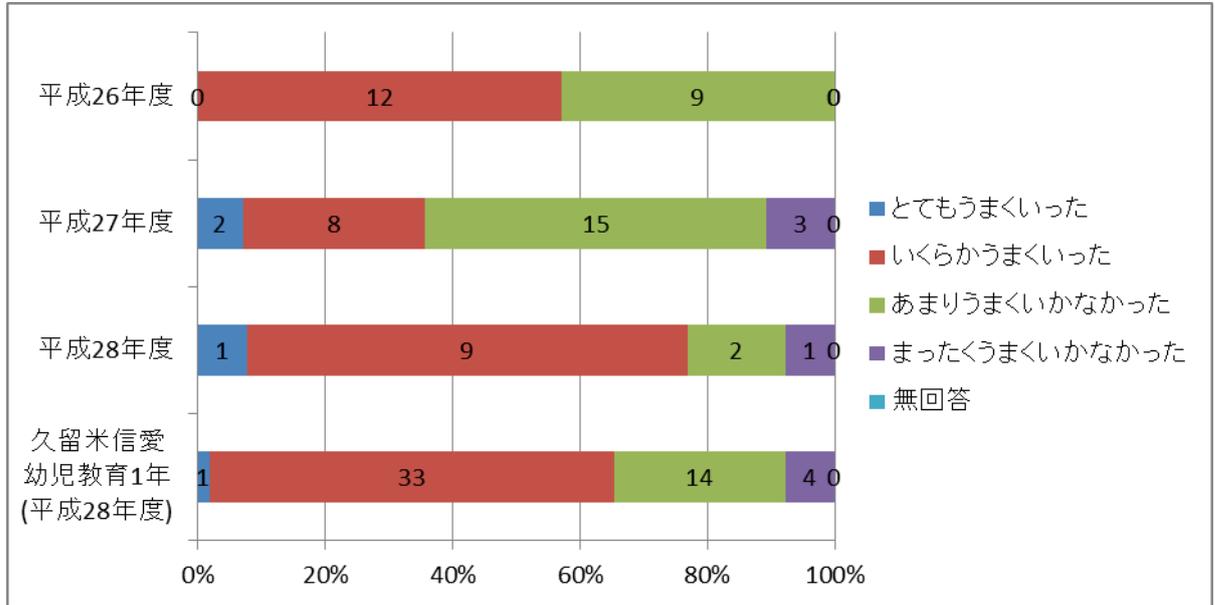
- ①専門的な研究や知識を身につける ②豊かな教養を身につける ③学歴や資格を得る
 ④クラブやサークルを楽しむ ⑤希望する職業に就く ⑥学生生活を楽しむ
 ⑦友達とのかかわりを楽しむ ⑧特に目的はない ⑨その他
 ⑩無回答



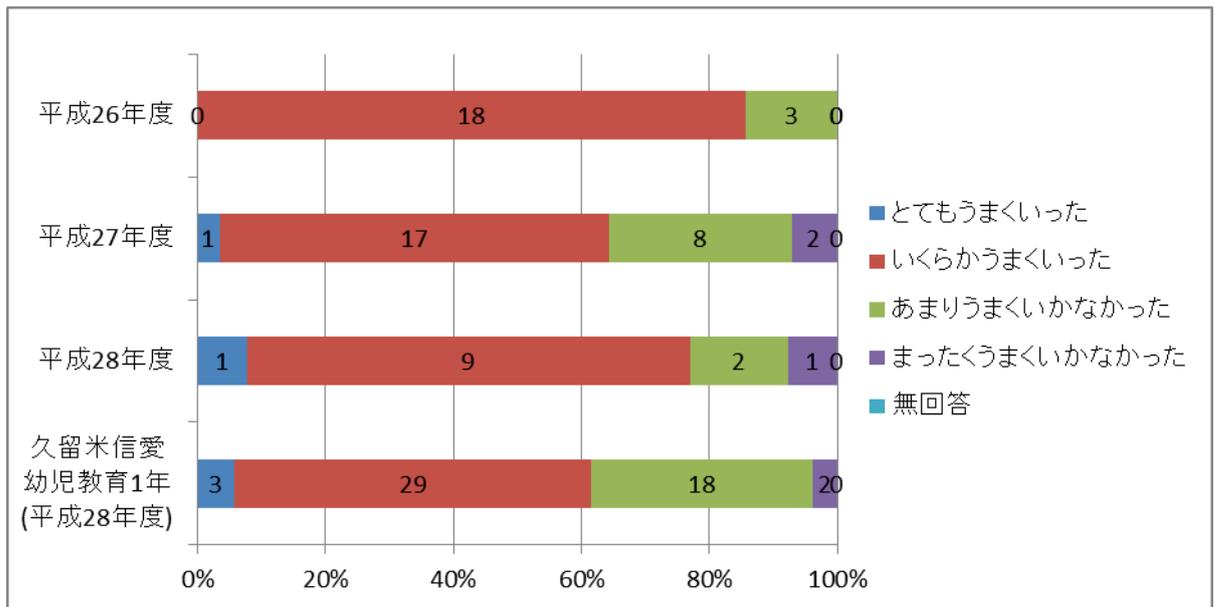
V. 大学生活に対する考えや満足度について

[19] 入学してからの大学生活への円滑な移行

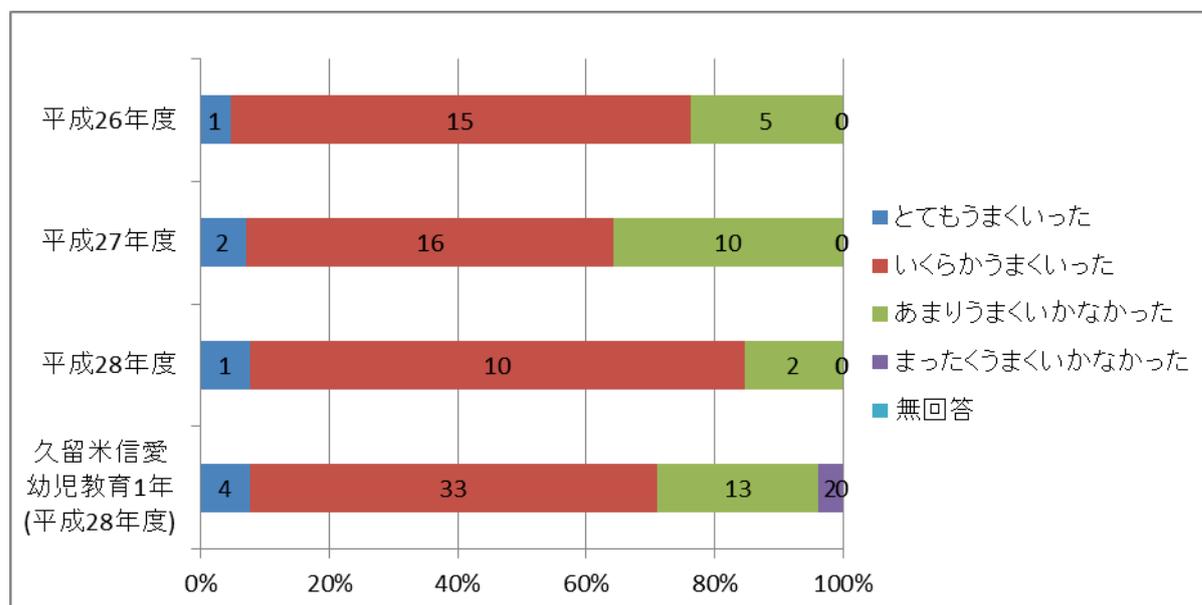
A. 大学の学生向けサービスを上手に利用する



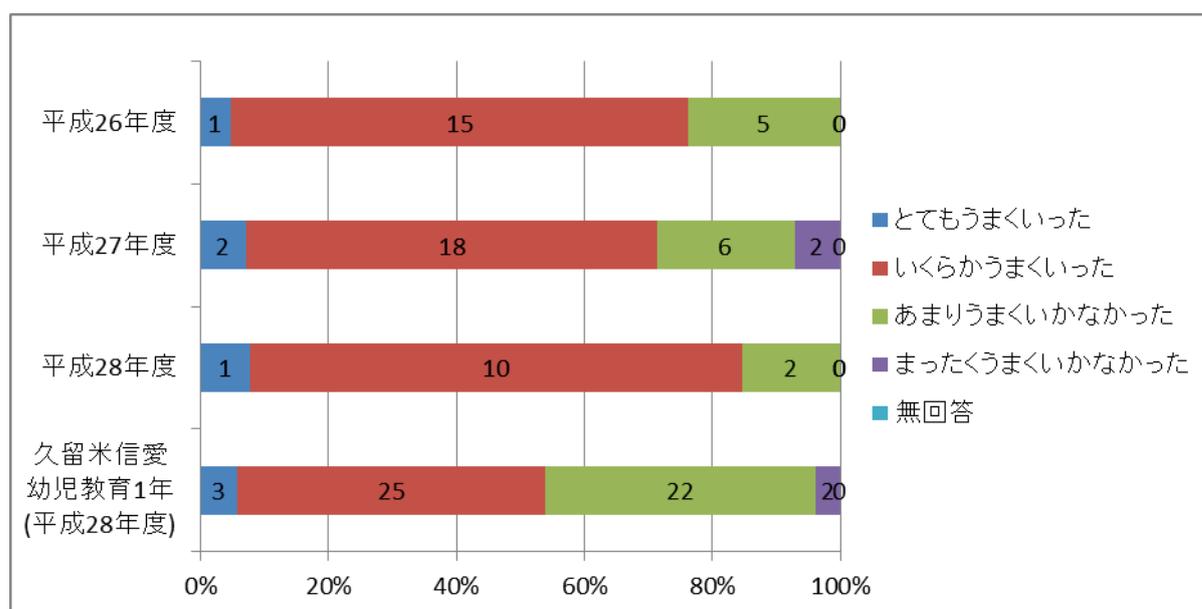
B. 大学教員の学問的な期待を理解する



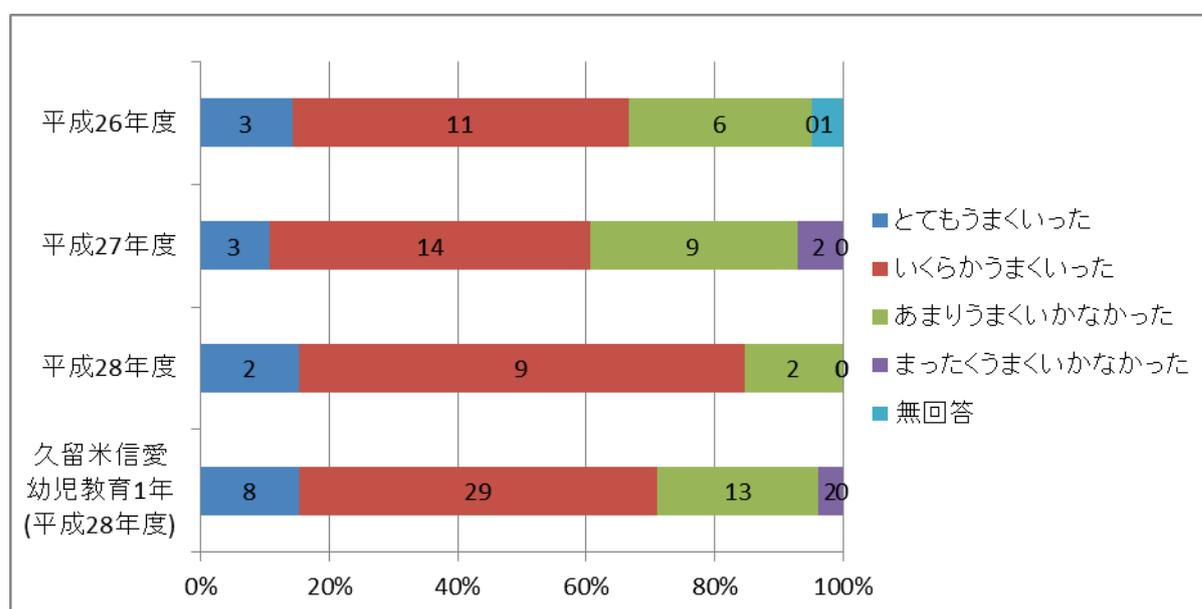
C. 効果的に学習する技能を修得する



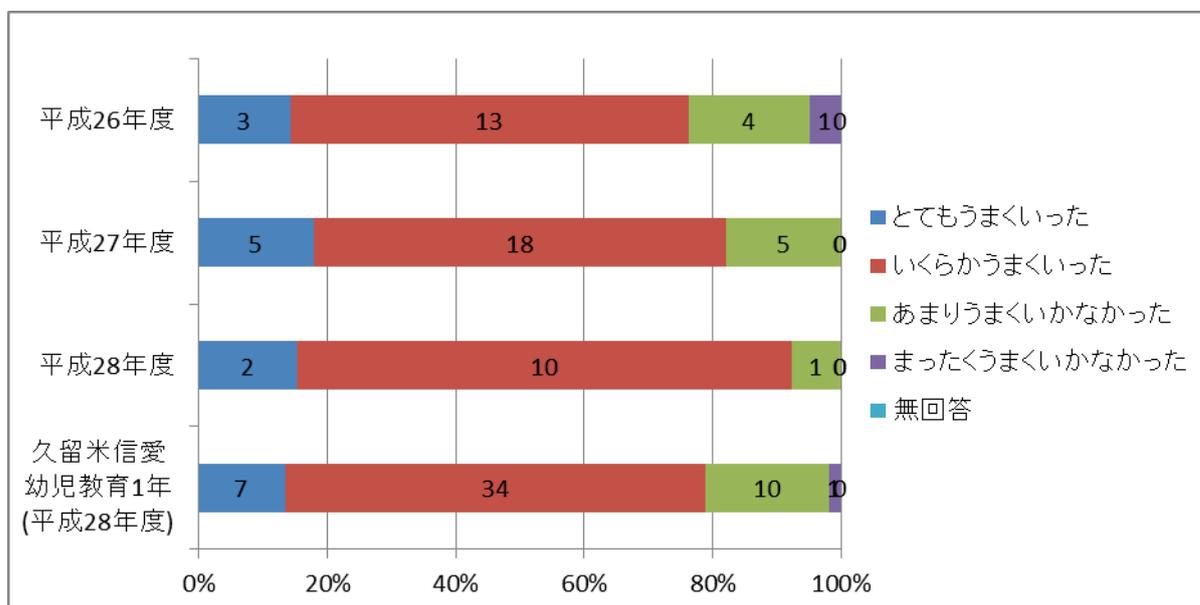
D. 大学が求める水準に応じて学習する



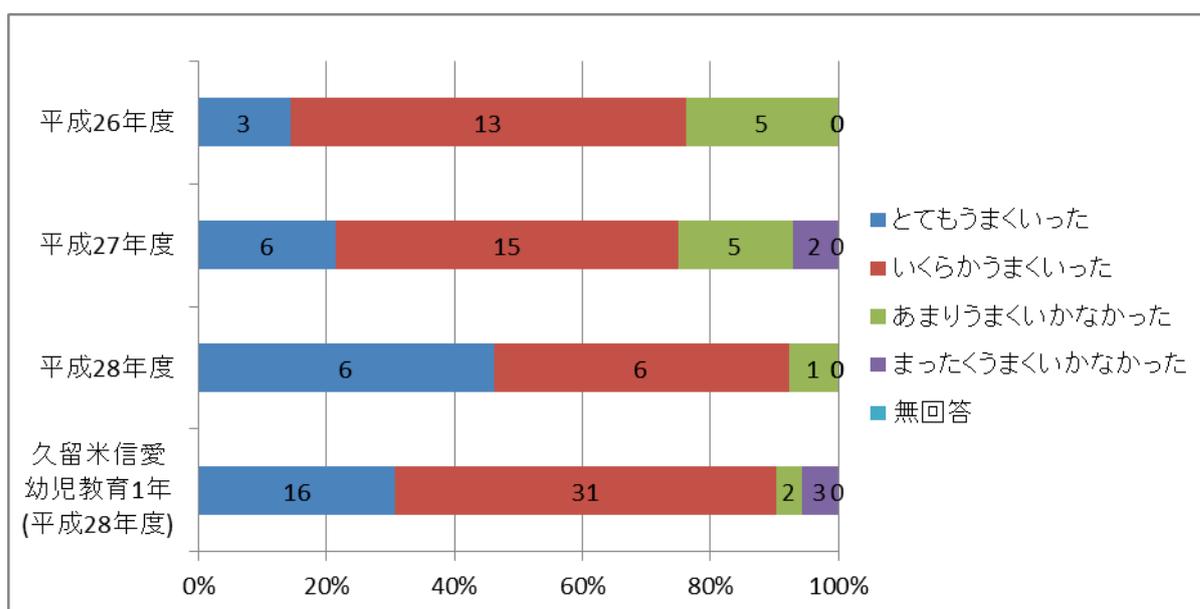
E. 時間を効果的に使う



F. 大学教員と顔見知りになる

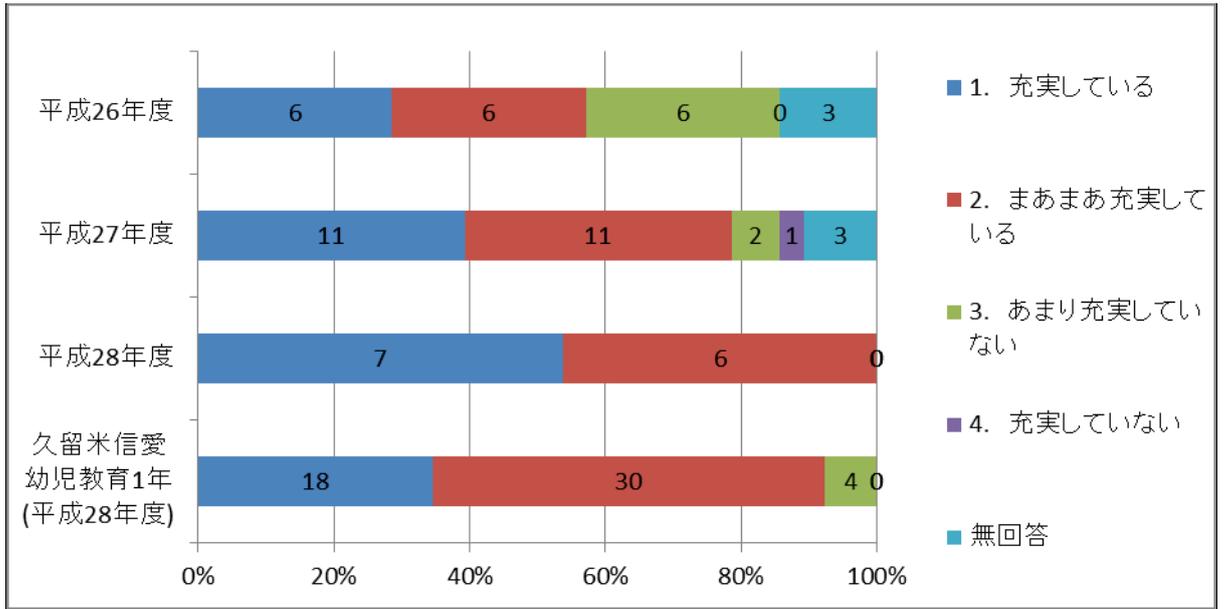


G. 他の学生との友情を深める



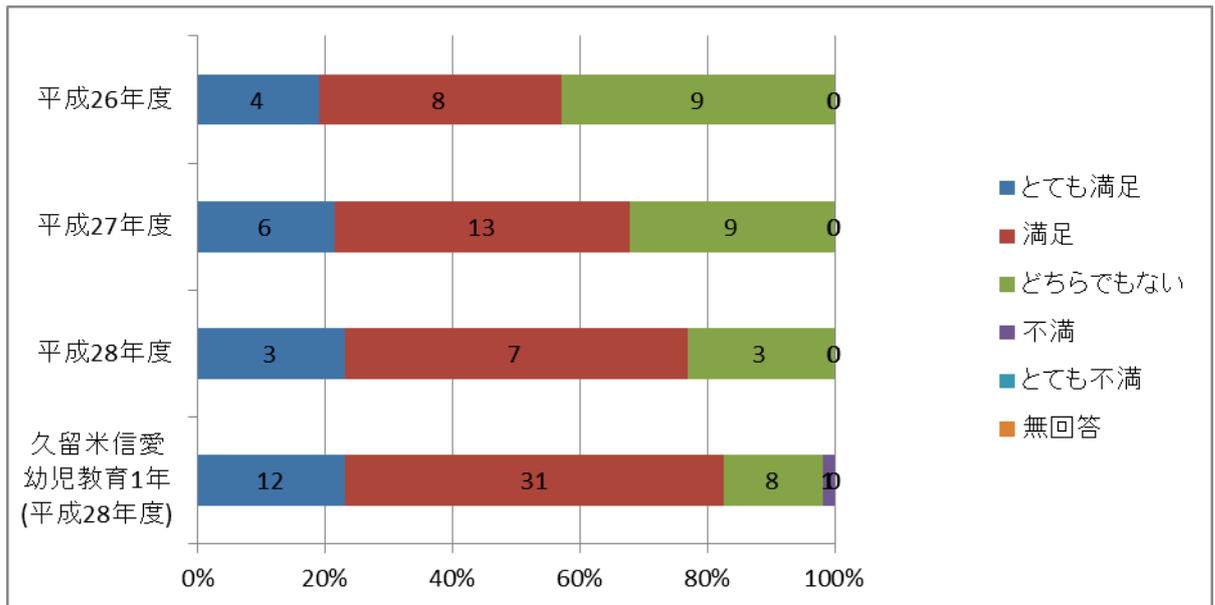
[20] 学生生活の充実

1. 充実している 2. まあまあ充実している
 3. あまり充実していない 4. 充実していない 5. 無回答

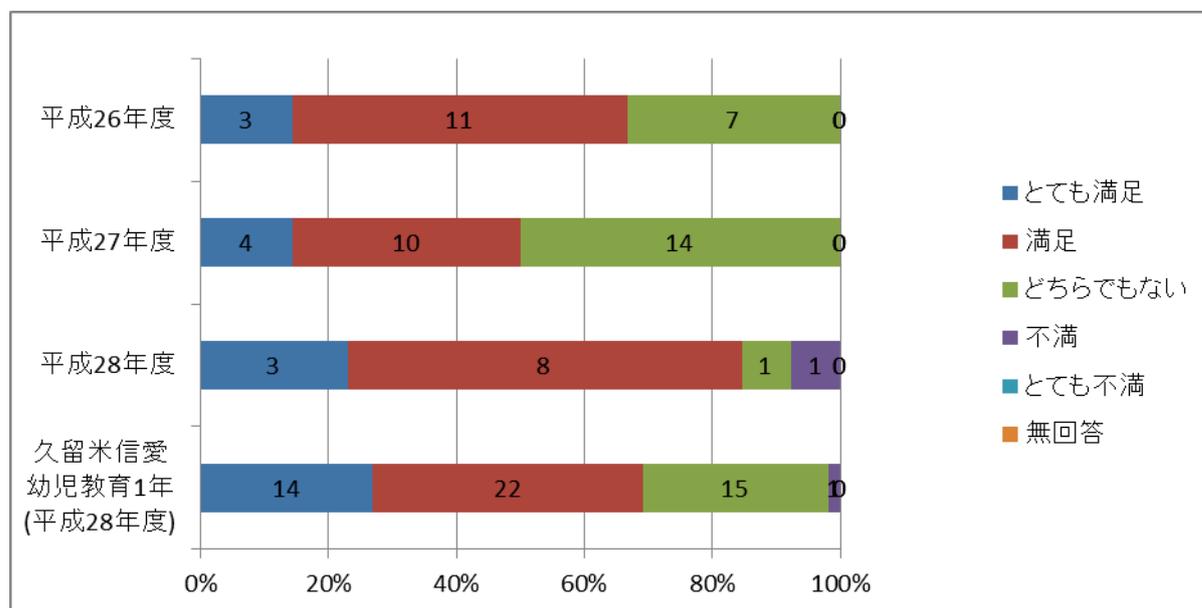


[21] 教育内容の満足度

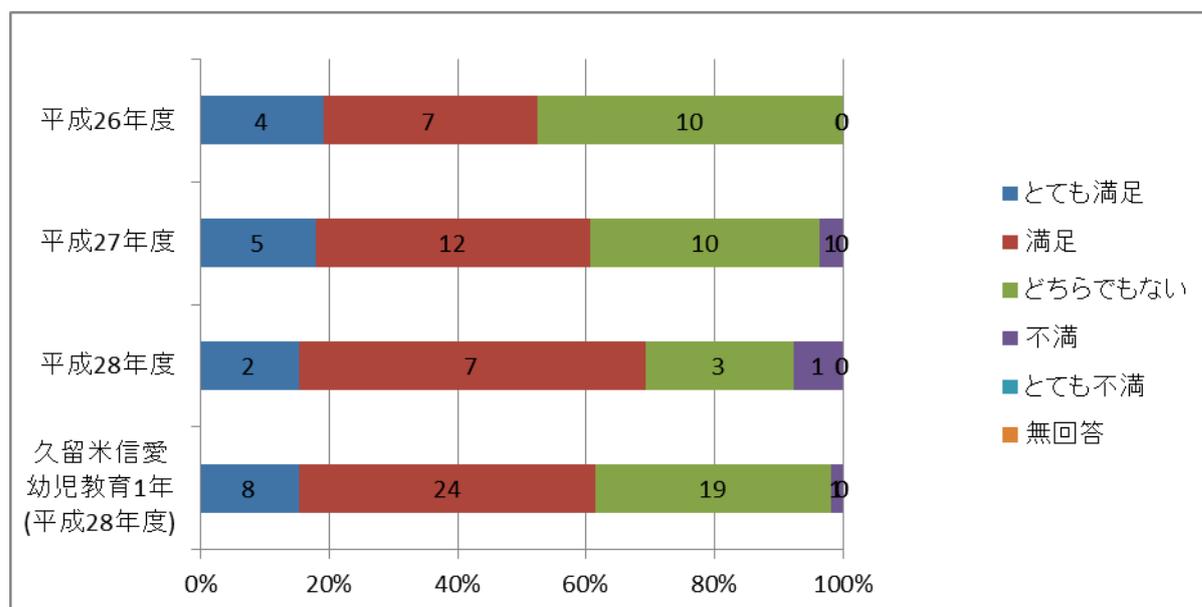
A. 専門教育あるいは所属学科の授業



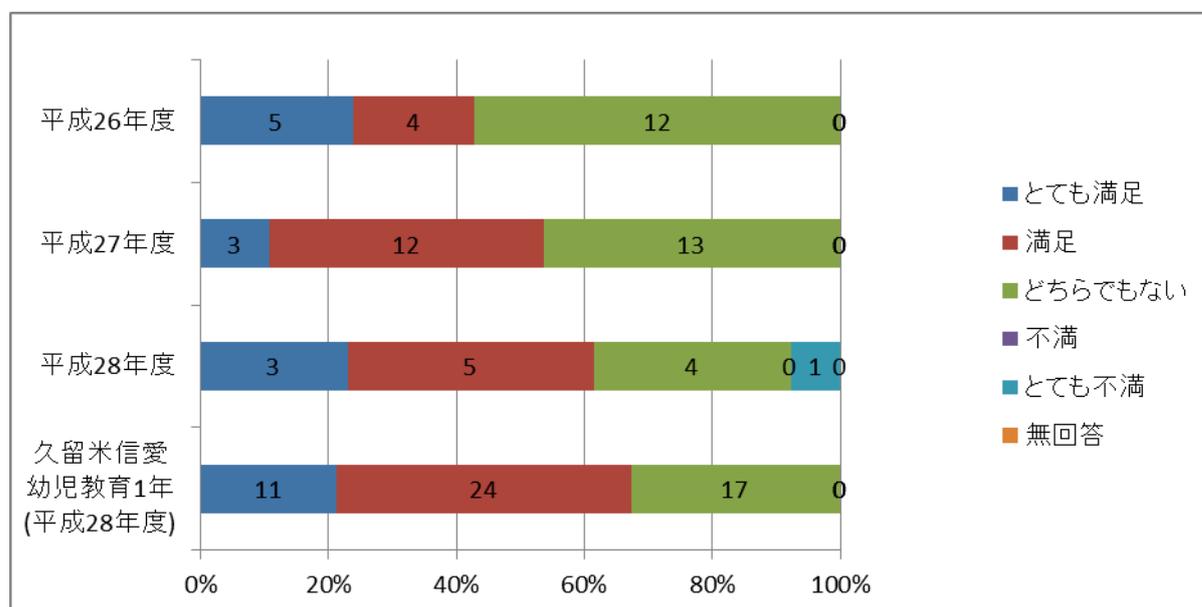
B. 所属学科の学内実習や学外実習（臨床・臨地実習・介護実習等）



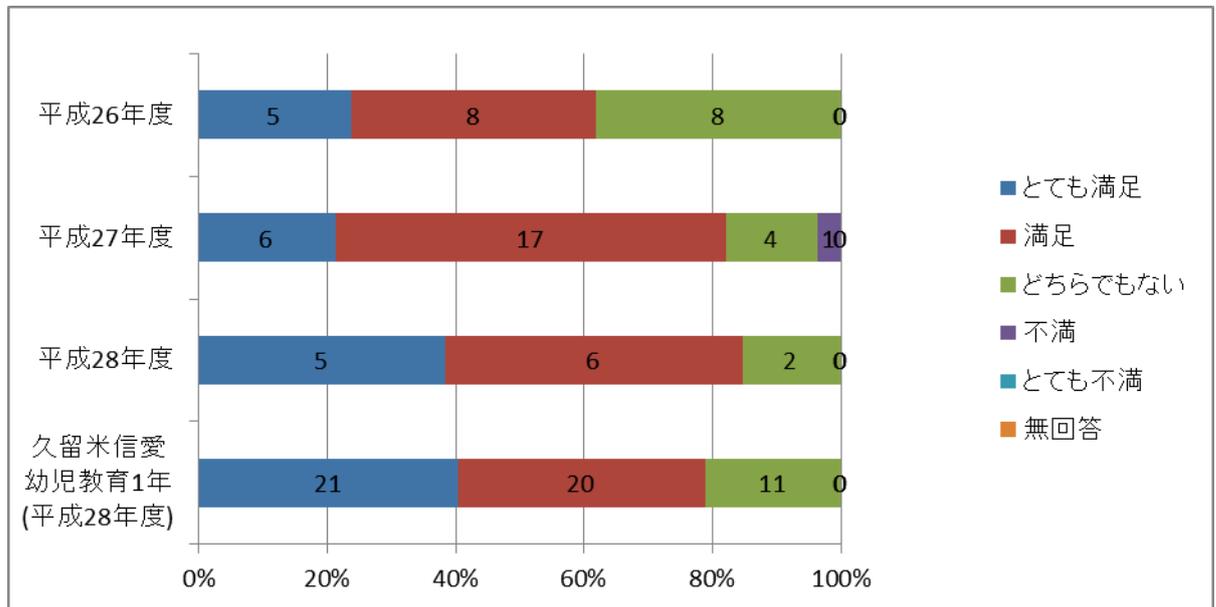
C. 授業の全体的な質



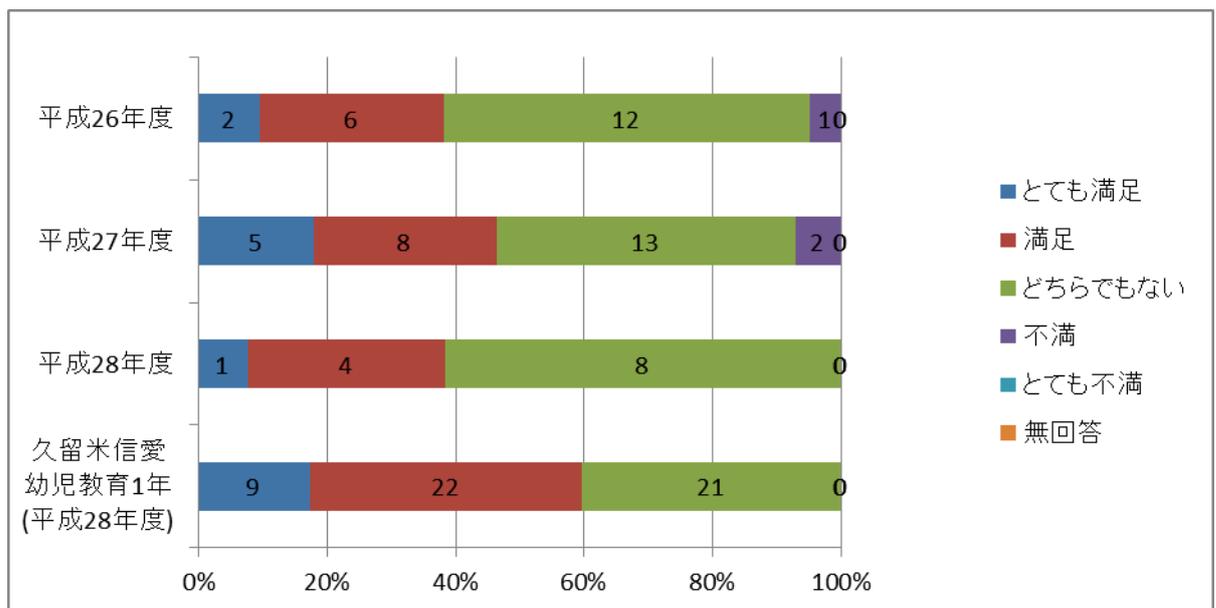
D. 日常生活と授業内容との関連



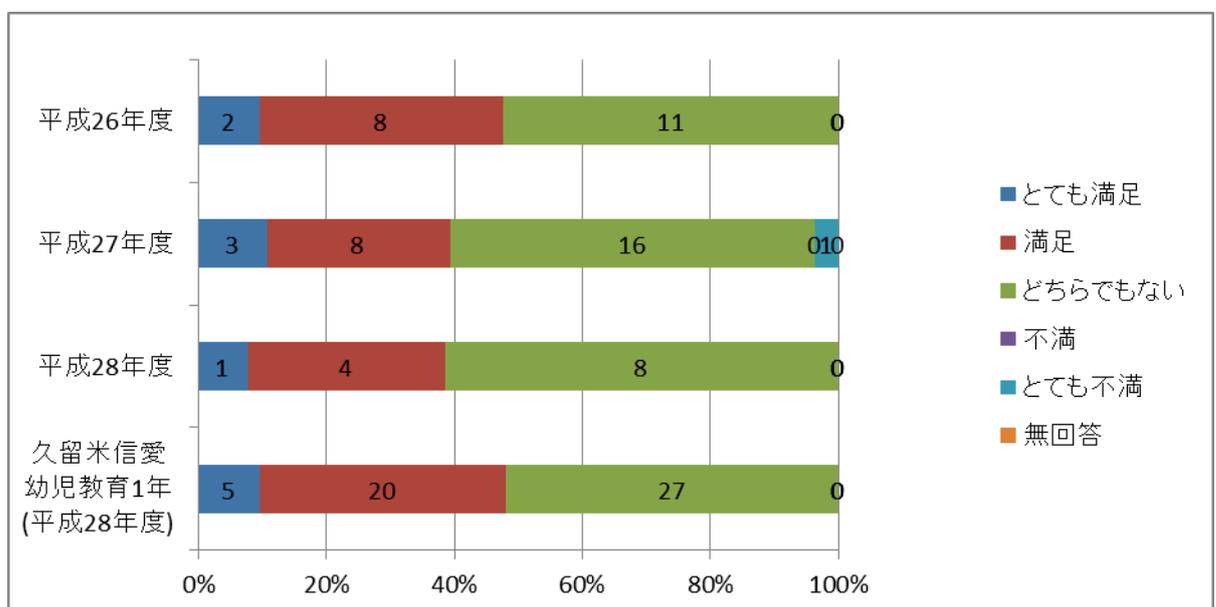
E. 将来の仕事と授業内容との結びつき



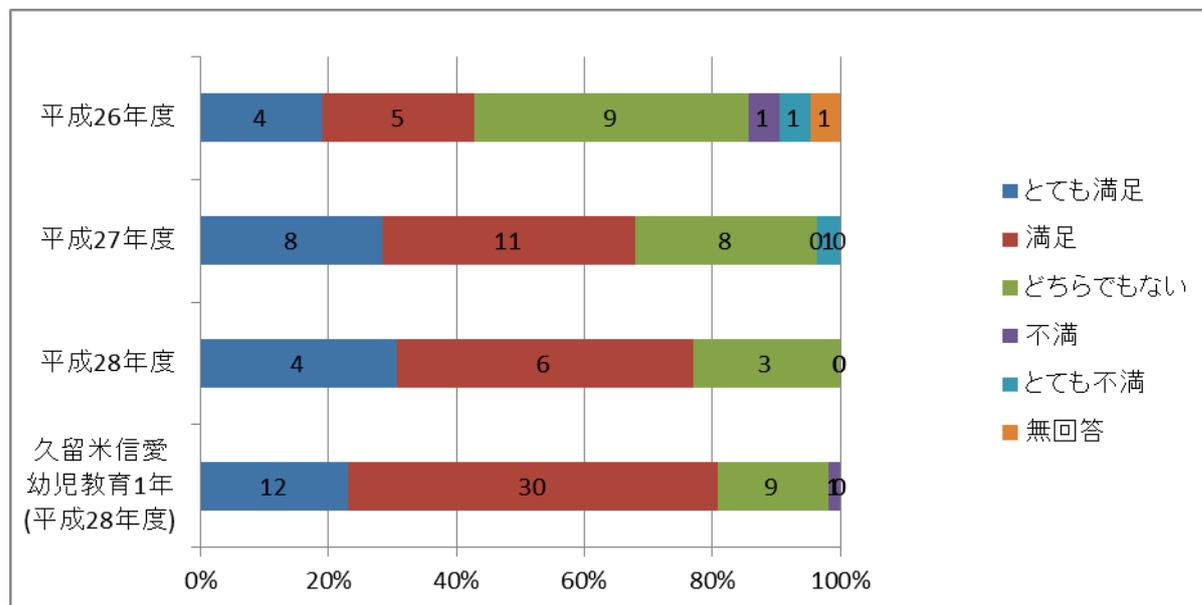
F. 教員と話をする機会



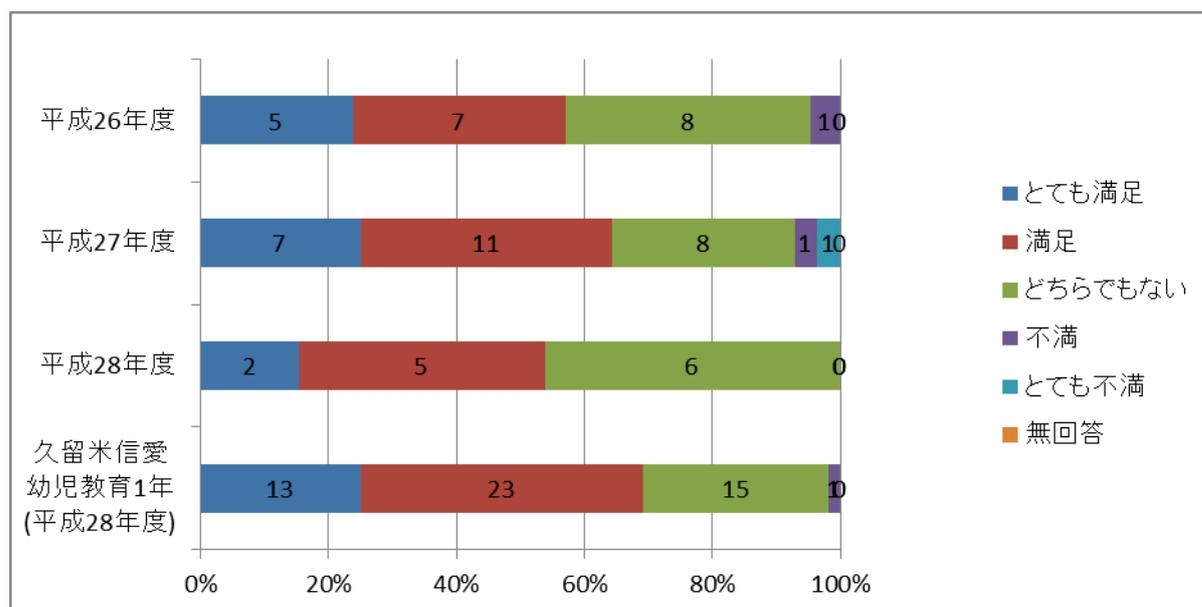
G. 個別の学習指導や学習支援（履修相談など）



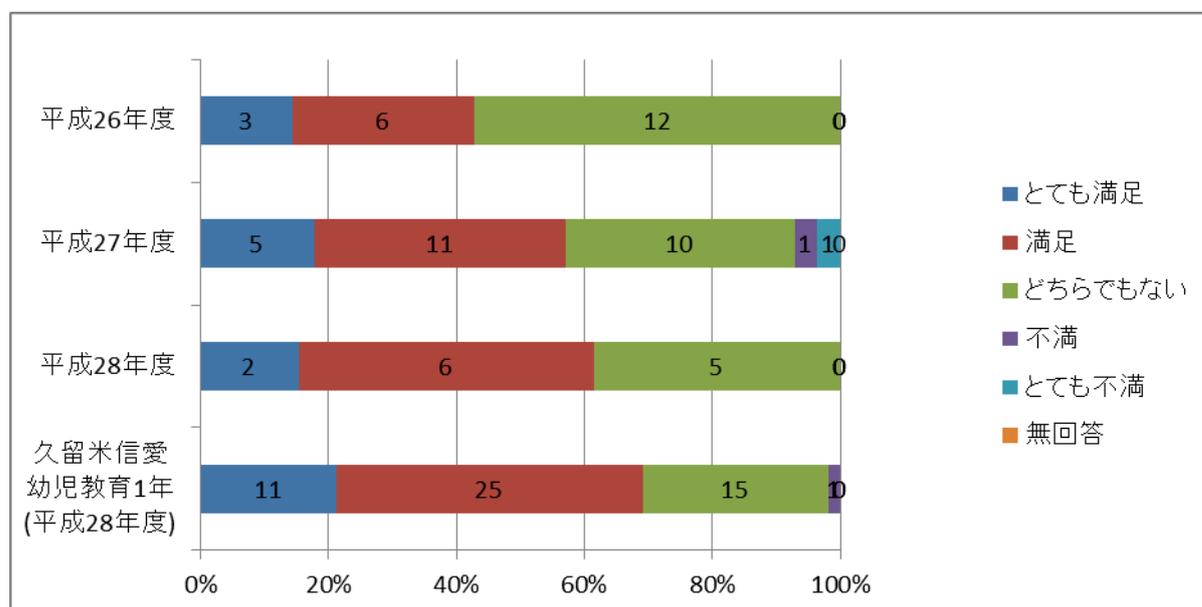
H. 他の学生と話をする機会



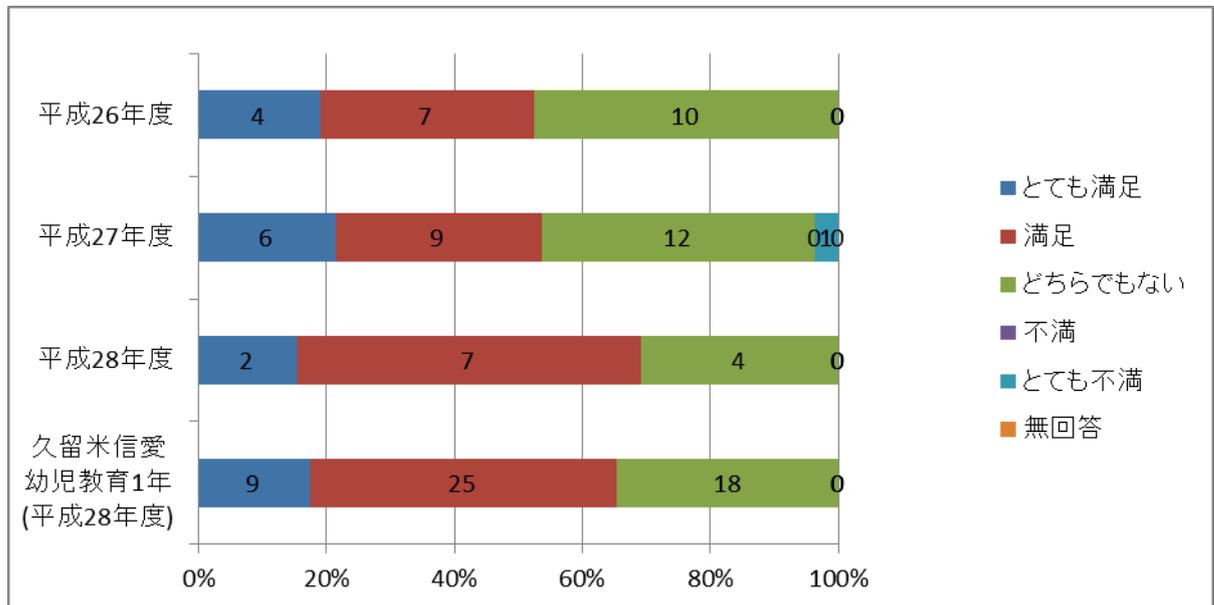
I. 大学のなかでの学生同士の一体感



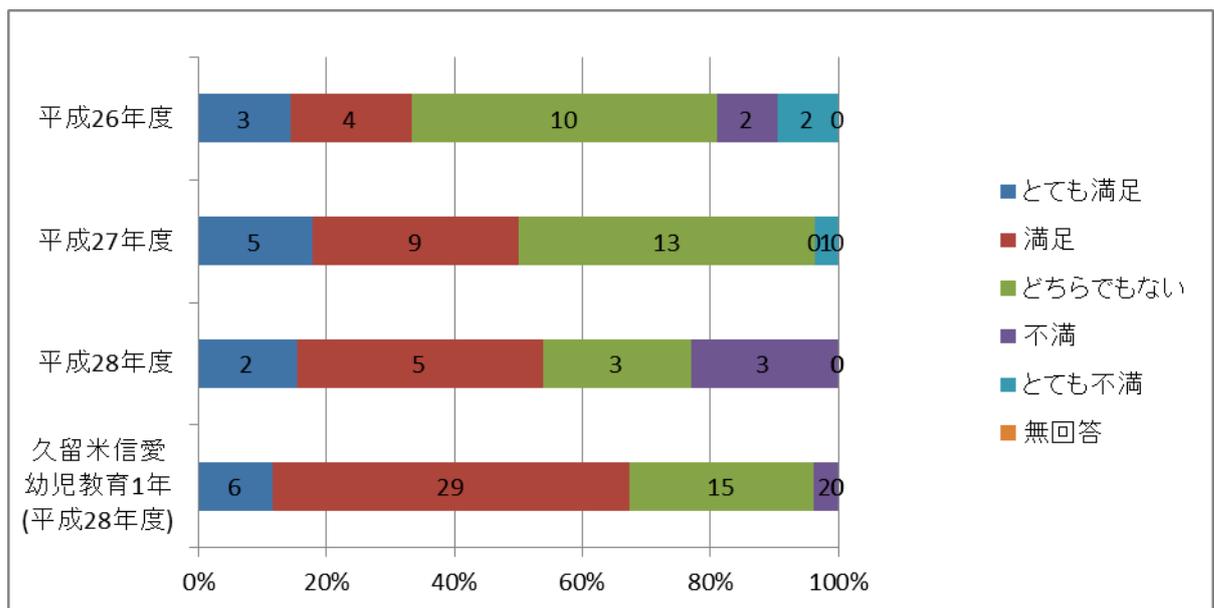
J. 多様な考え方を認め合う雰囲気



K. 大学での経験全般について

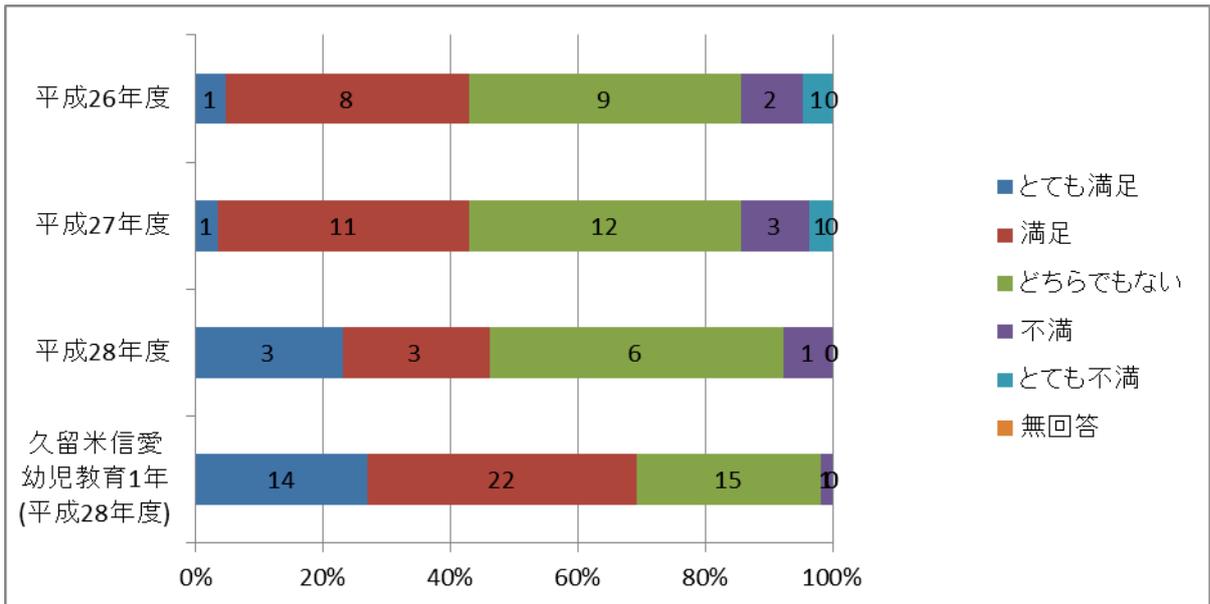


L. 1つの授業を履修する学生数

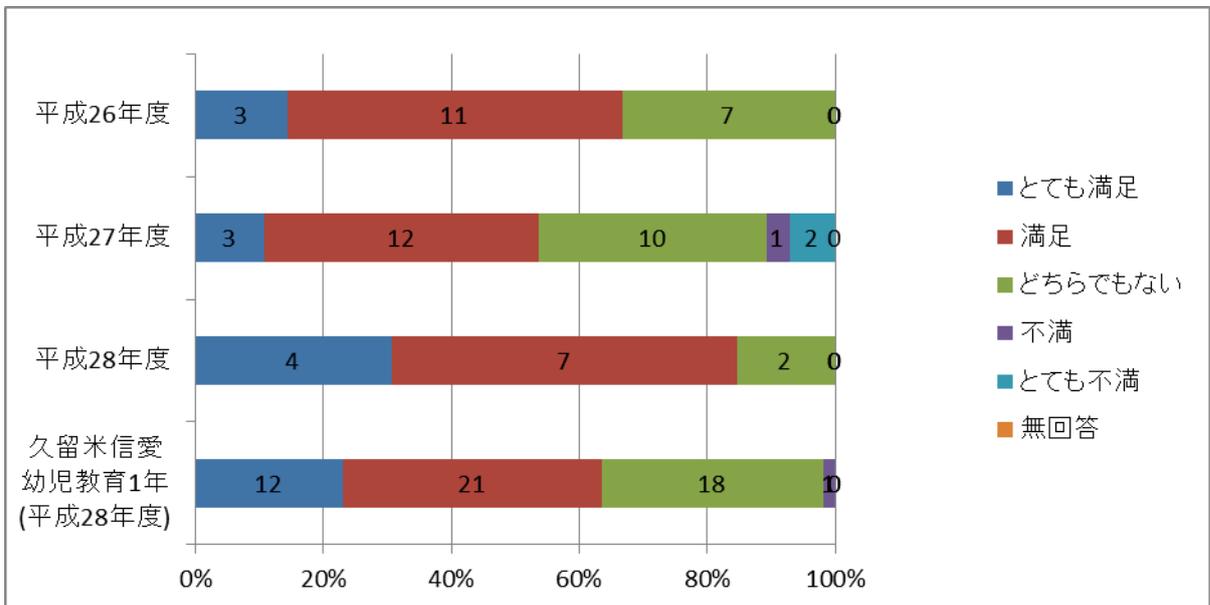


[22] 設備や学生支援制度の満足度

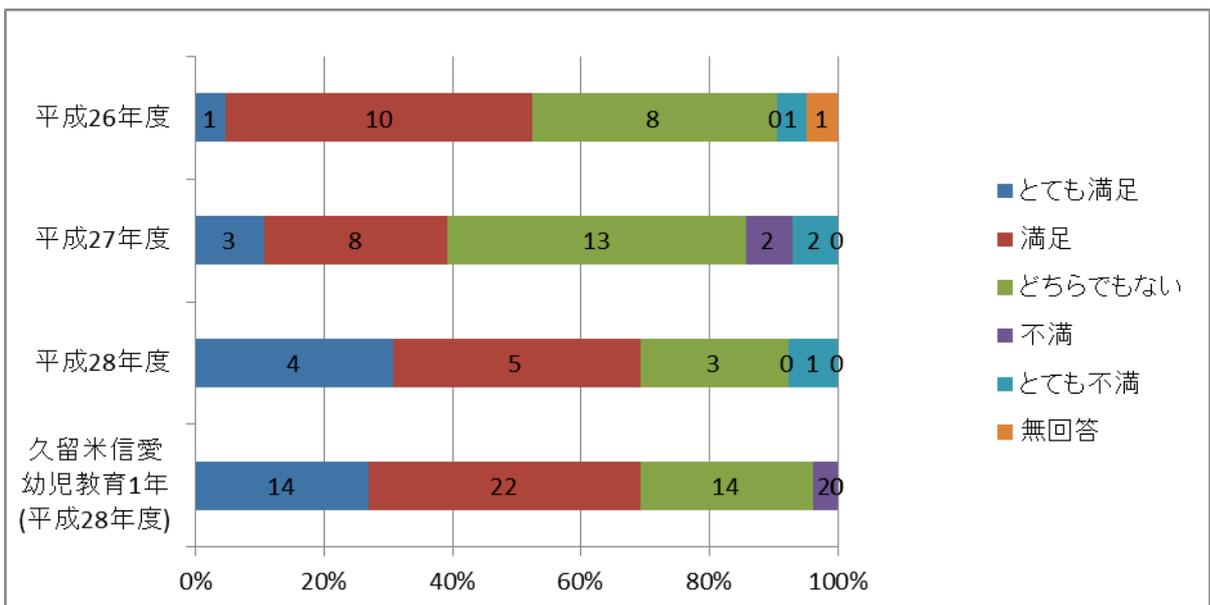
A. 図書館の設備(蔵書やレファレンスサービス：図書館員による情報提供・資料検索他)



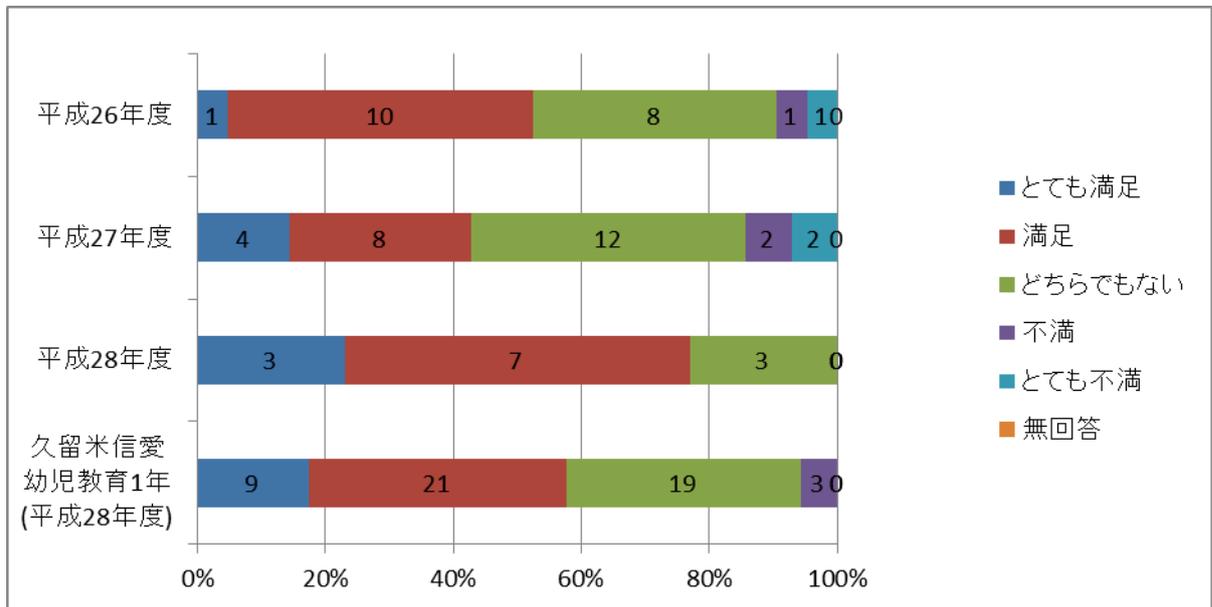
B. 実習室の設備や器具



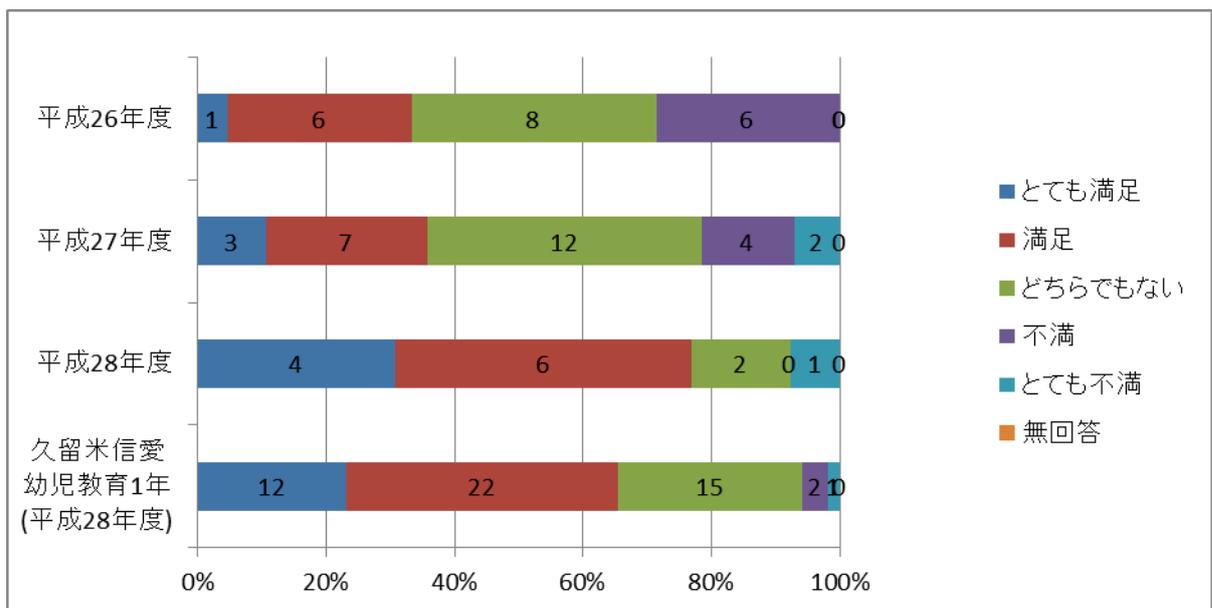
C. コンピュータの施設や設備



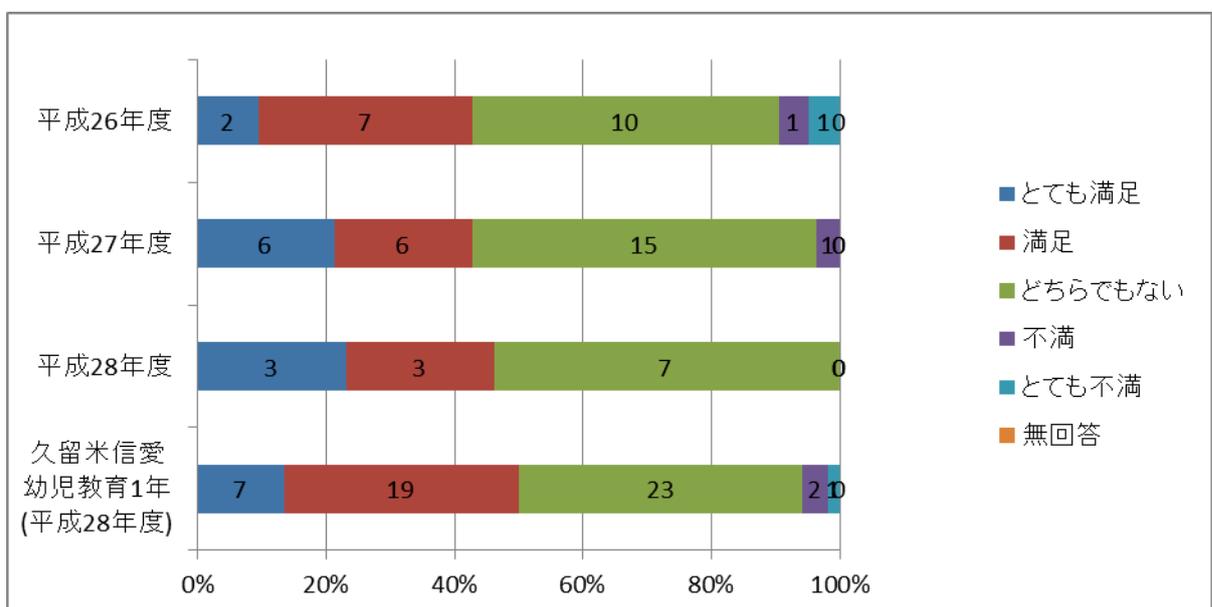
D. コンピュータの訓練や援助



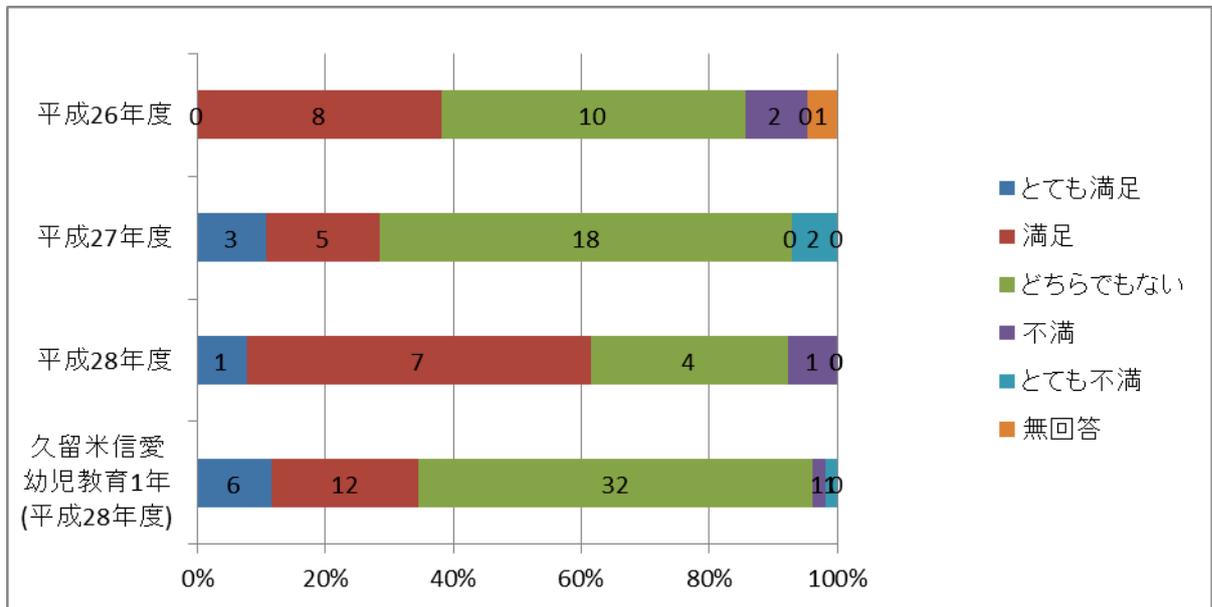
E. インターネットの使いやすさ



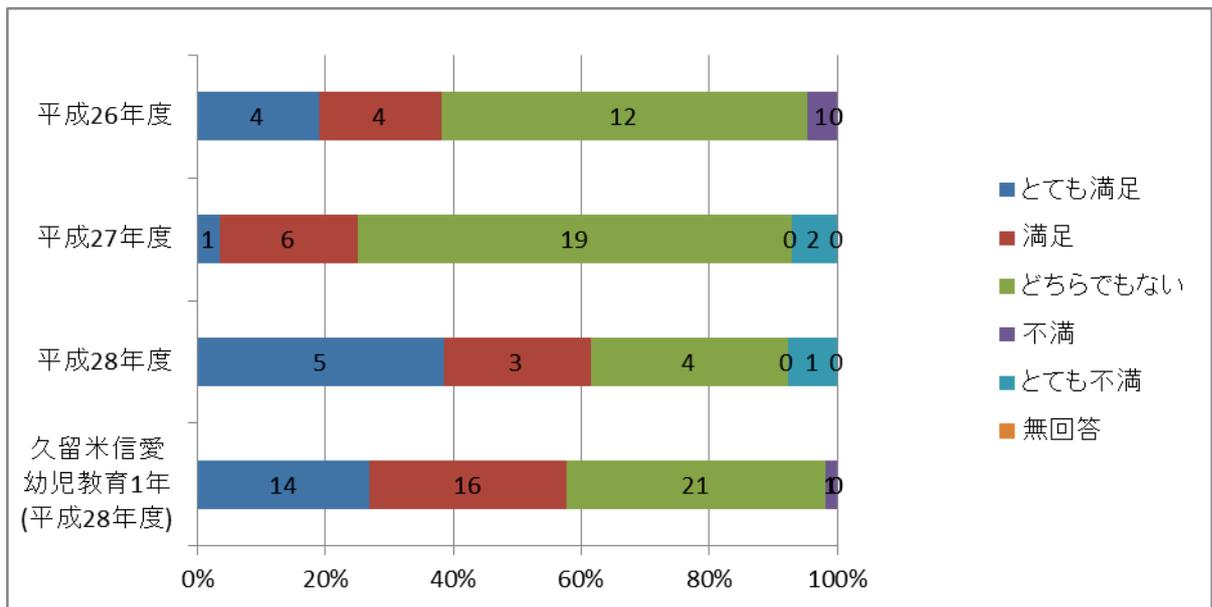
F. 奨学金など学費援助の制度



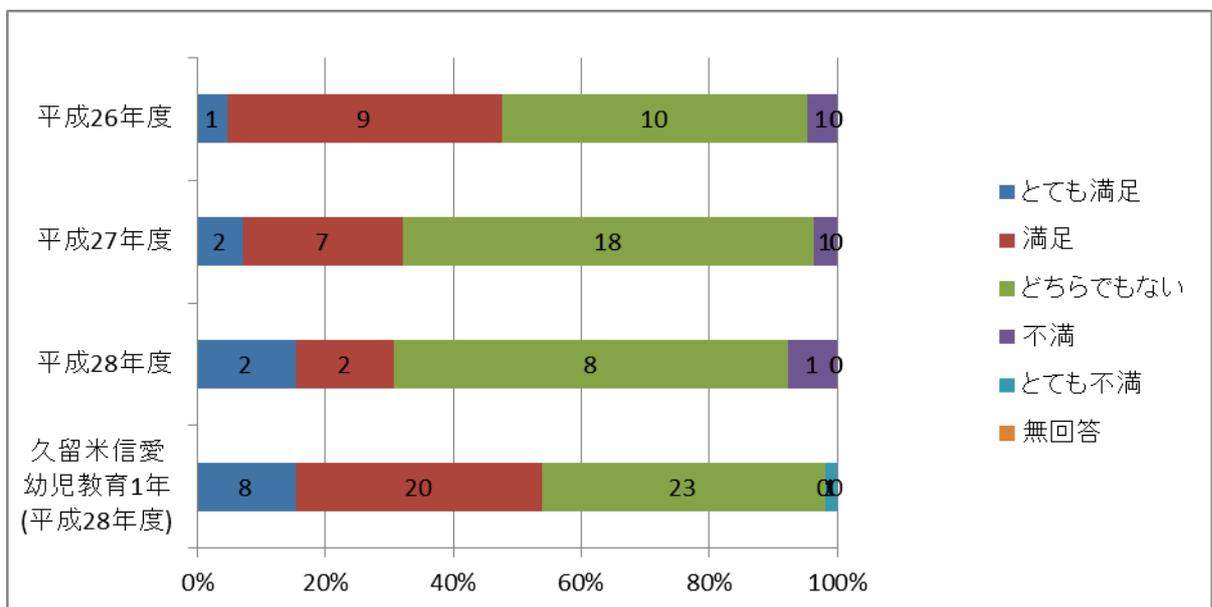
G. 健康・保健サービス（心身の健康に関わる問題についての診療や相談：歯科を含む）



H. レクリエーション施設（体育館の設備など）



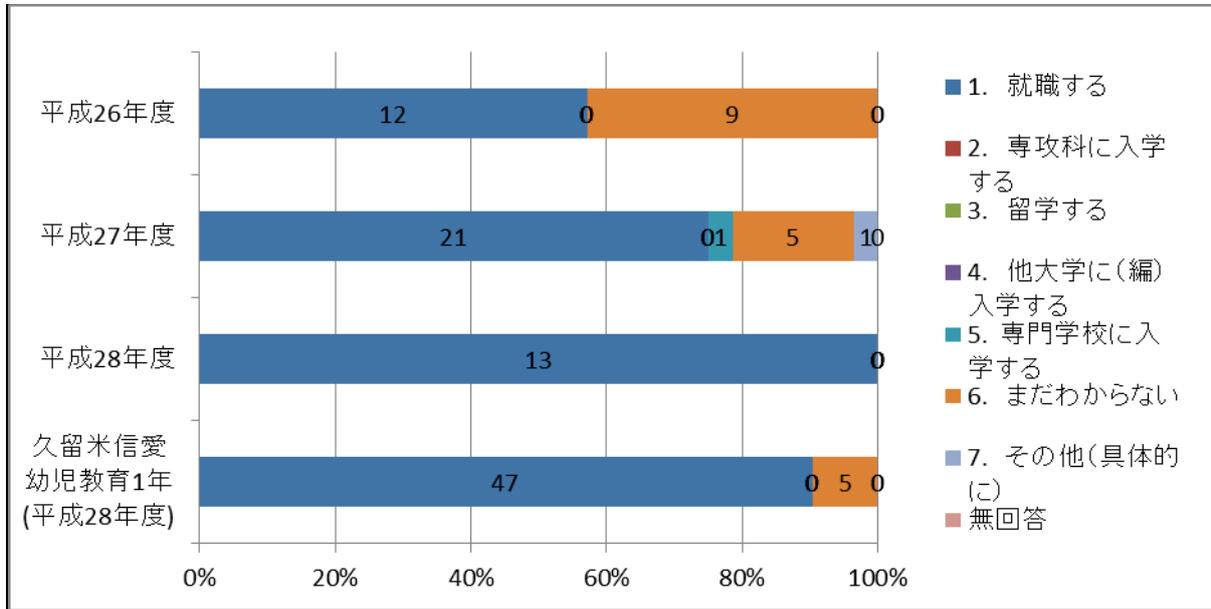
I. キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)



VI. 卒業後の進路について

[23] 卒業後の進路予定

- 1. 就職する
- 2. 専攻科に就職する
- 3. 留学する
- 4. 他大学に（編）入学する
- 5. 専門学校に入学する
- 6. まだわからない
- 7. その他（具体的に）
- 8. 無回答

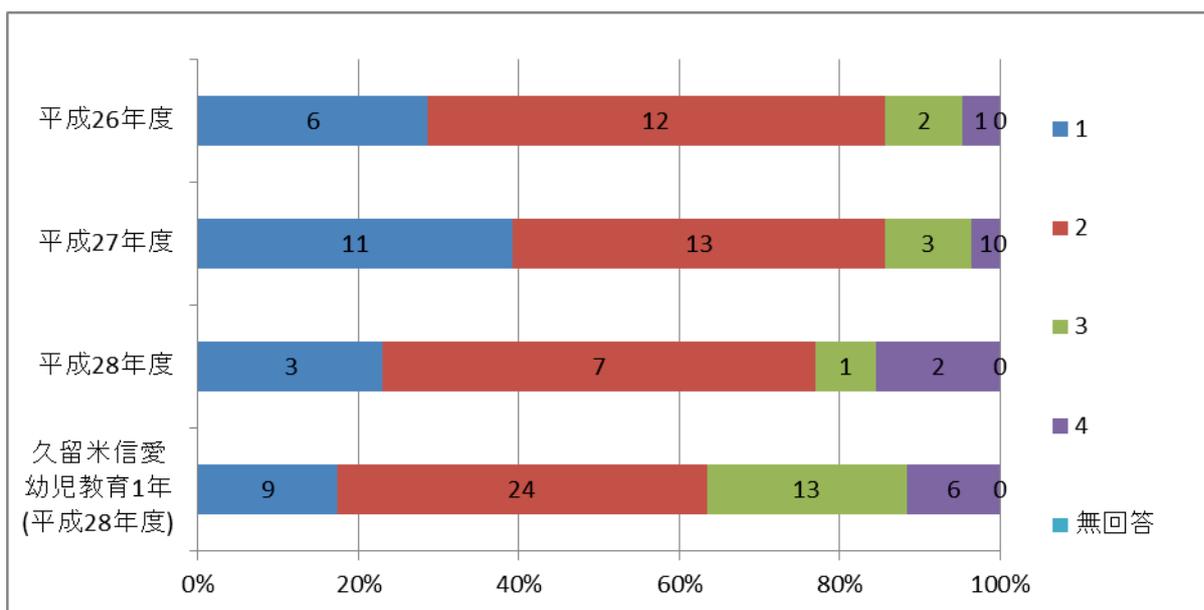


[24] 将来の見通しと現在の状態

以下の2つの文章を読んで、あなたのいまの状態にもっとも近い番号を選んでください。

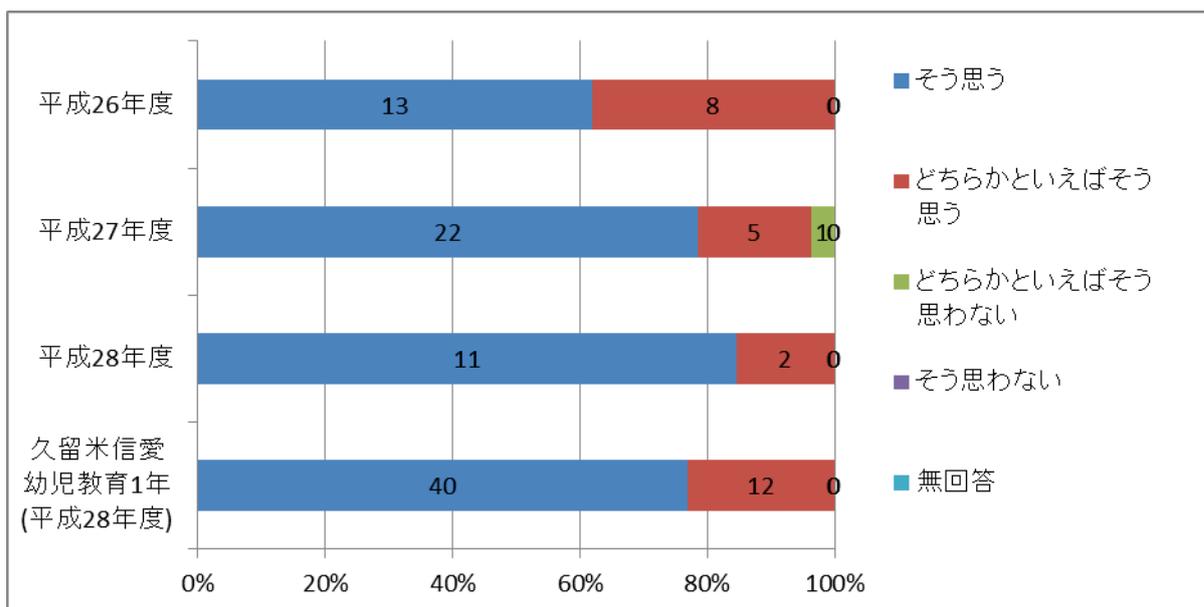
- ・あなたは、将来の見通し（将来こういう風でありたい）を持っていますか。
- ・その見通しのなかでもっとも重要なものを1つ思い浮かべてください。
あなたは、その見通しの実現に向かって、自分が何をすべきなのかわかっていますか。
また、それを実行していますか。

1. 将来の見通しを持っている + 何をすべきかをわかっているし、実行もしている
2. 将来の見通しを持っている + 何をすべきかをわかっているが、実行は出来ていない
3. 将来の見通しを持っている + 何をすべきかをわからない
4. 将来の見通しを持っていない
5. 無回答

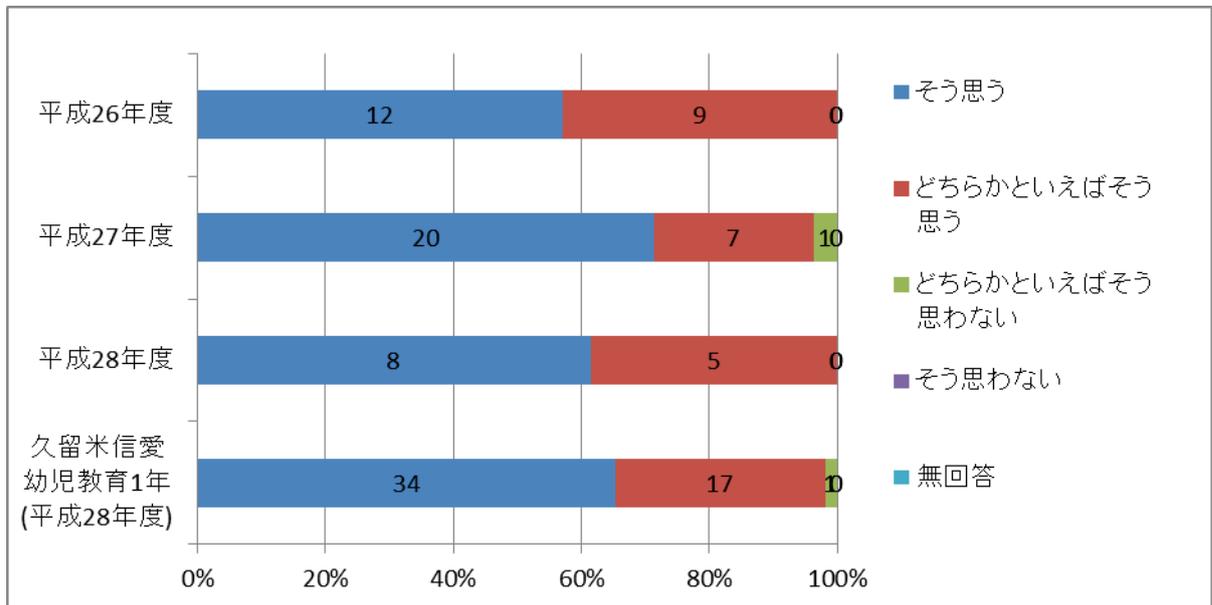


[25] 卒業後の進路のために、大学在学中に経験したいこと

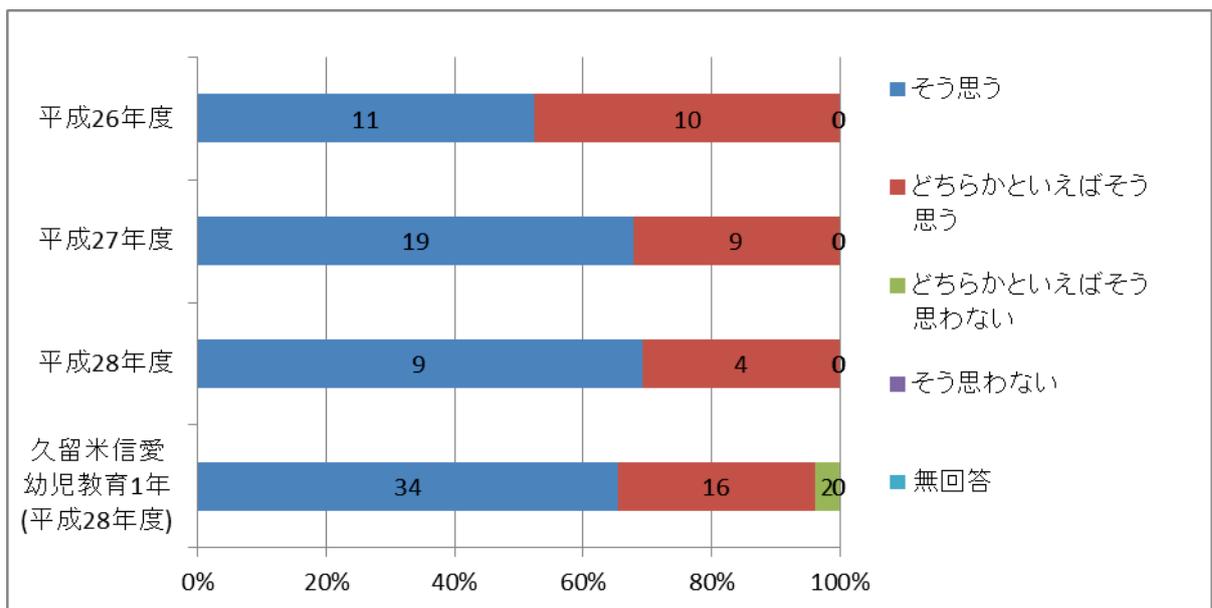
A. 専門分野の知識・技術をしっかり身につけ、国家試験に合格出来る教育を受ける



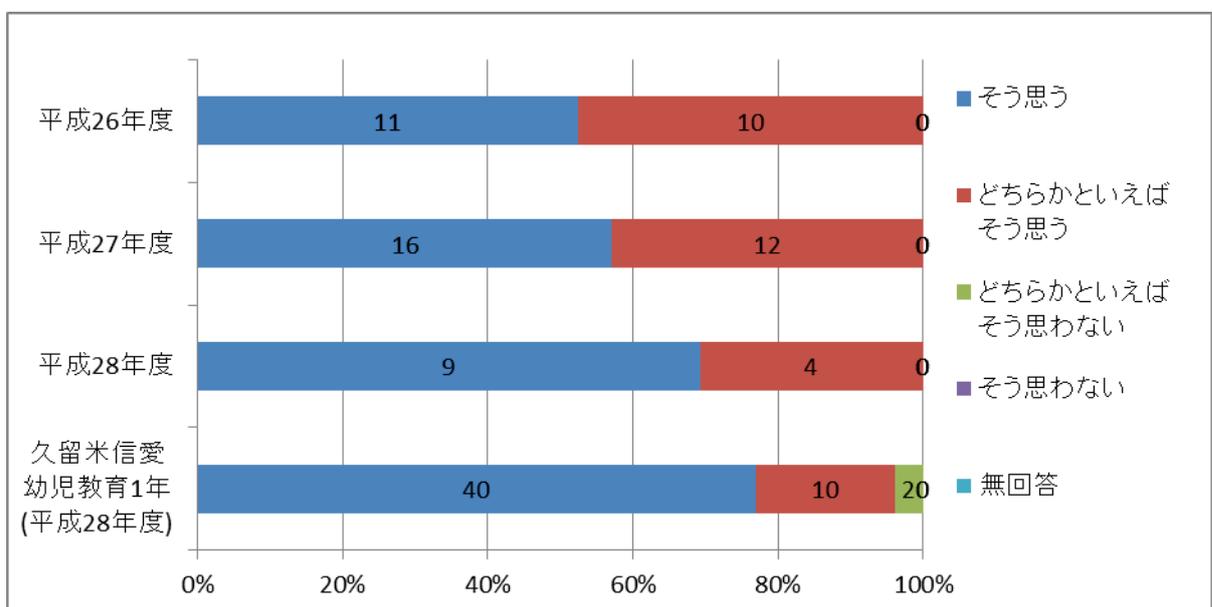
B. 専門分野だけでなく、幅広い知識を身につけ視野を広げる



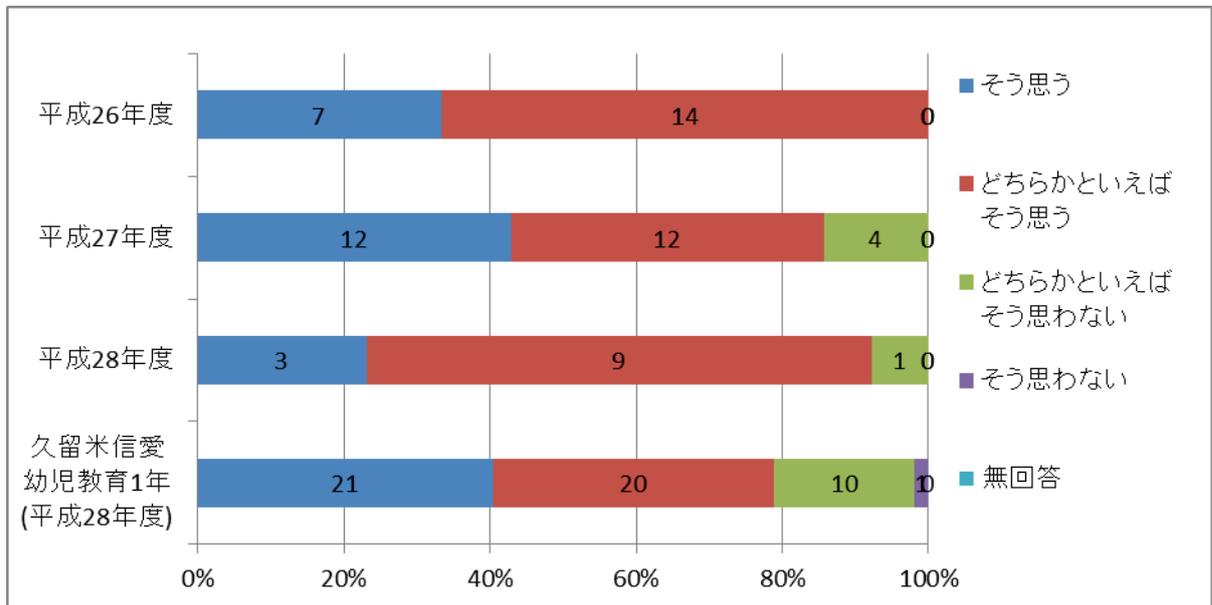
C. 職業意識の形成につながる教育を受ける



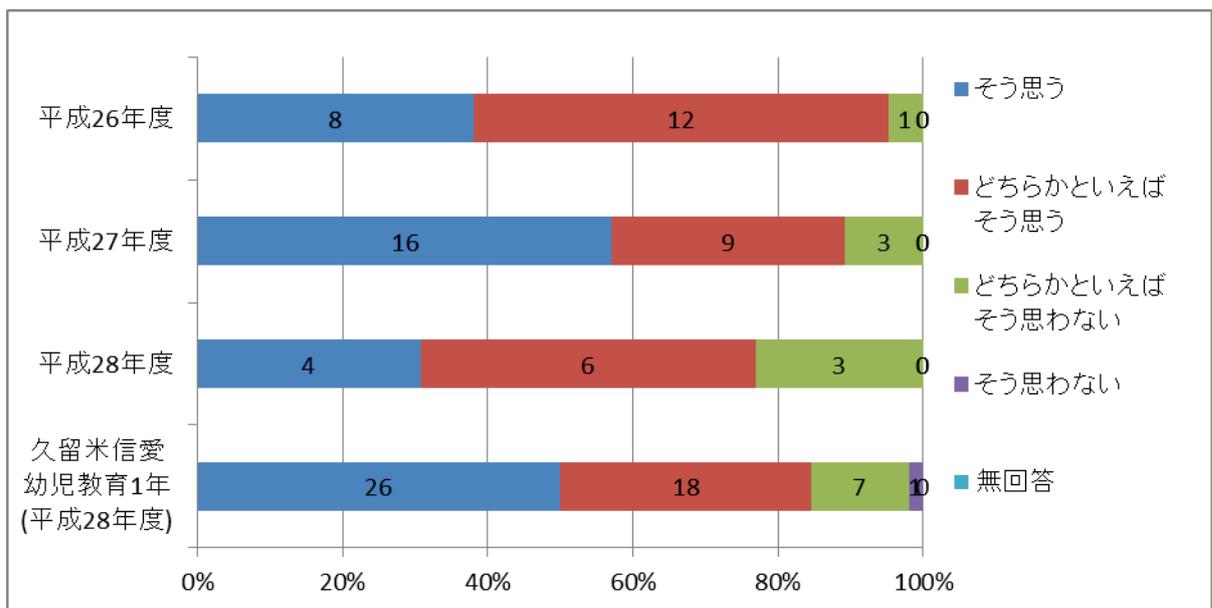
D. 学外実習施設での体験実習等を踏まえた上で、専門知識を学ぶ



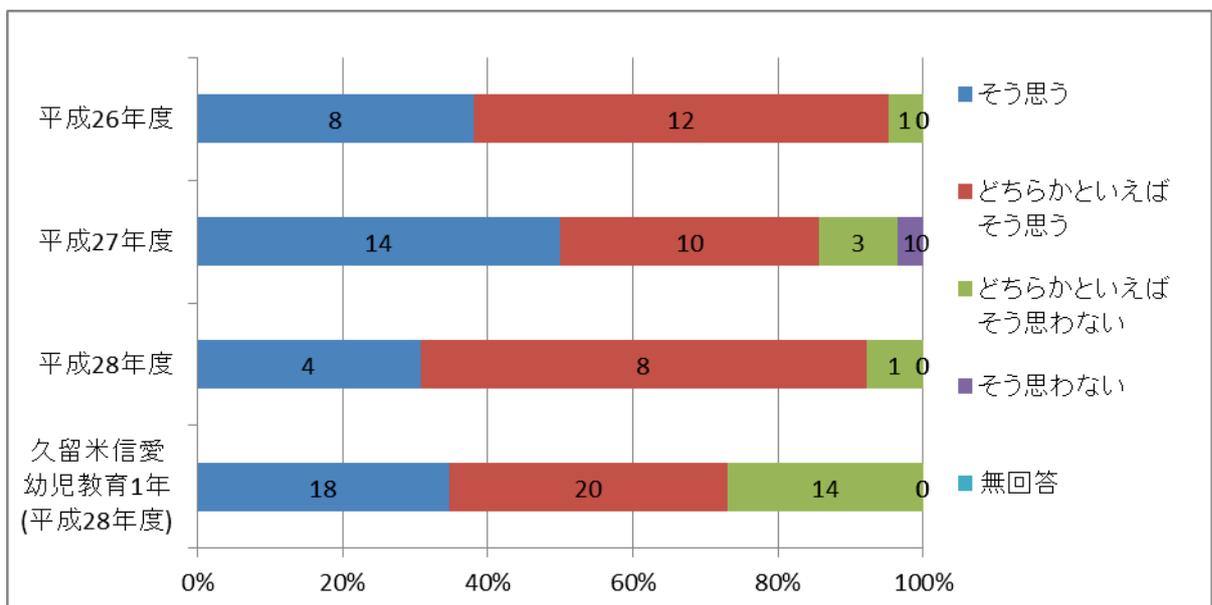
E. 教員が設定した特定の課題に対して、チームで取り組むプロジェクト型の授業を受ける



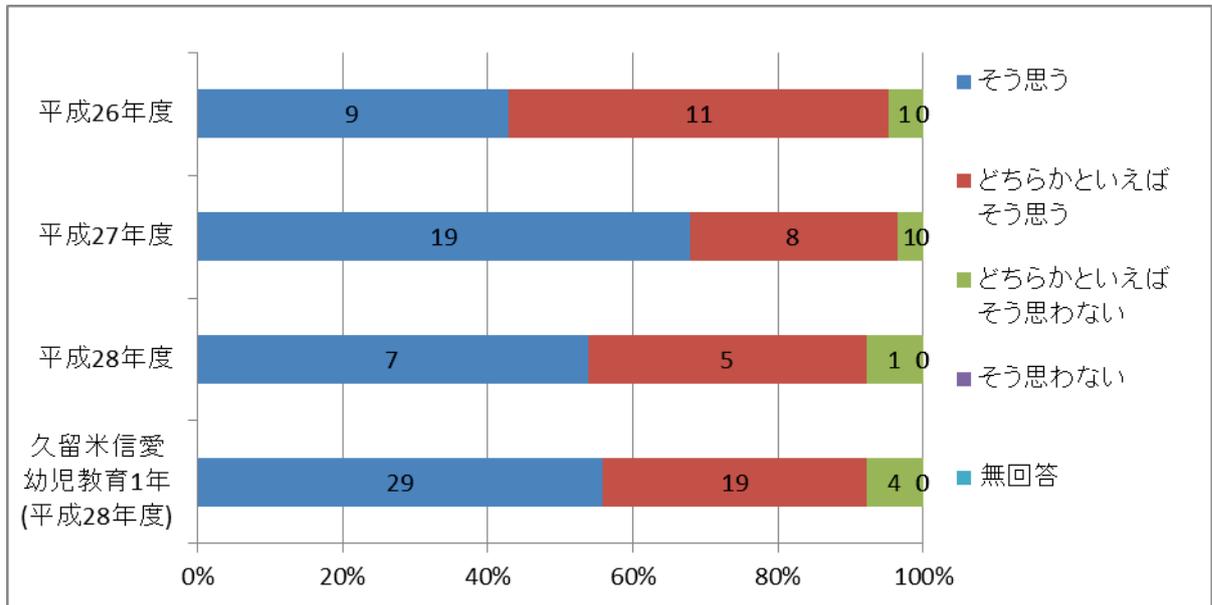
F. 自分で課題を見つけ、自分で解決していくような訓練を受ける



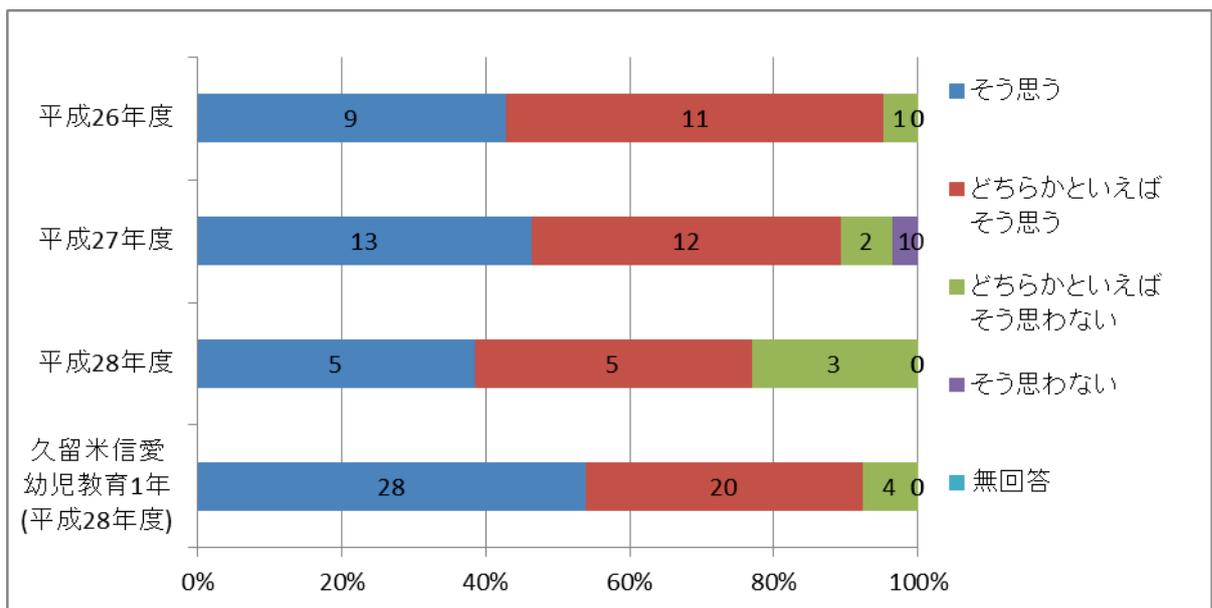
G. ディベート（討論）やプレゼンテーションの訓練を受ける



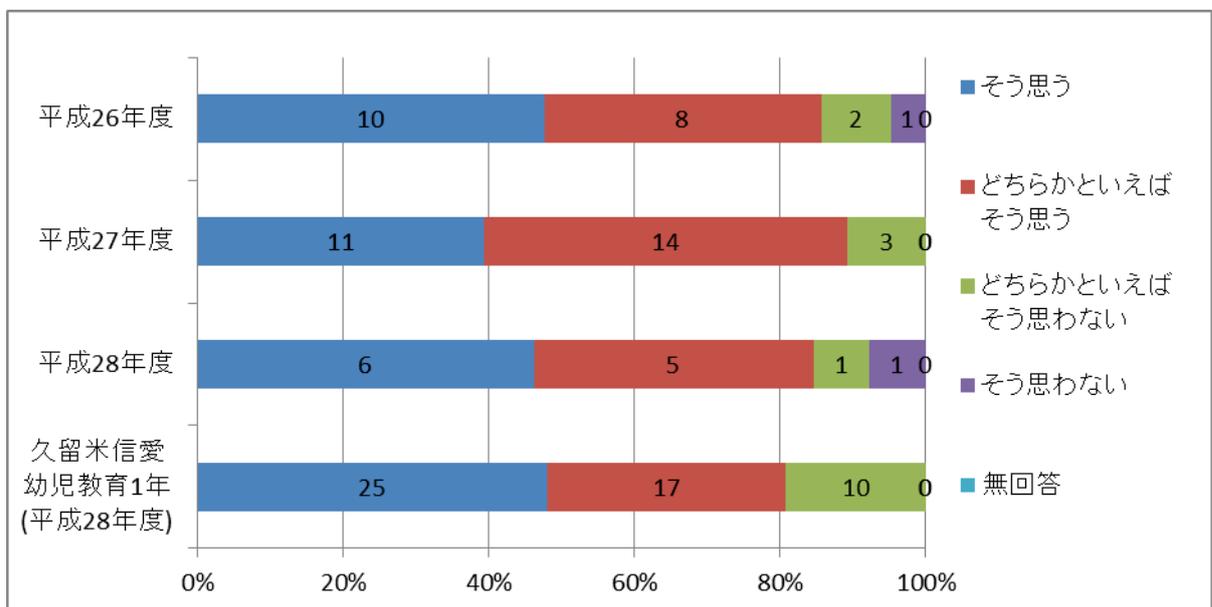
H. 実践的で専門性のある資格を取得するためのプログラムを受ける



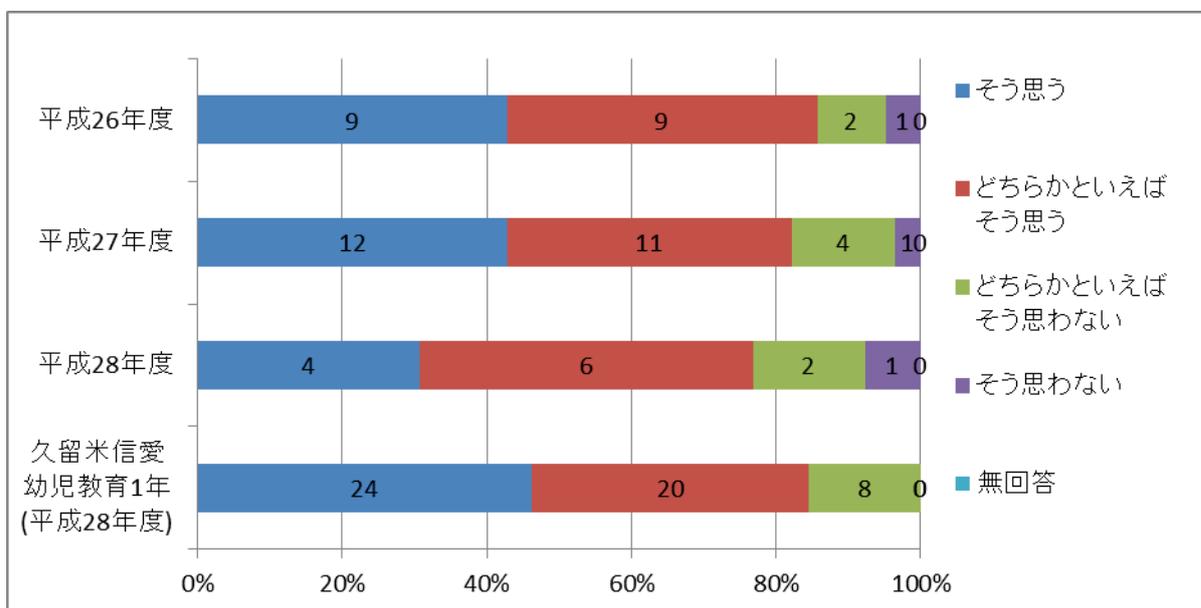
I. レポートや論文指導により、文書作成能力を高める



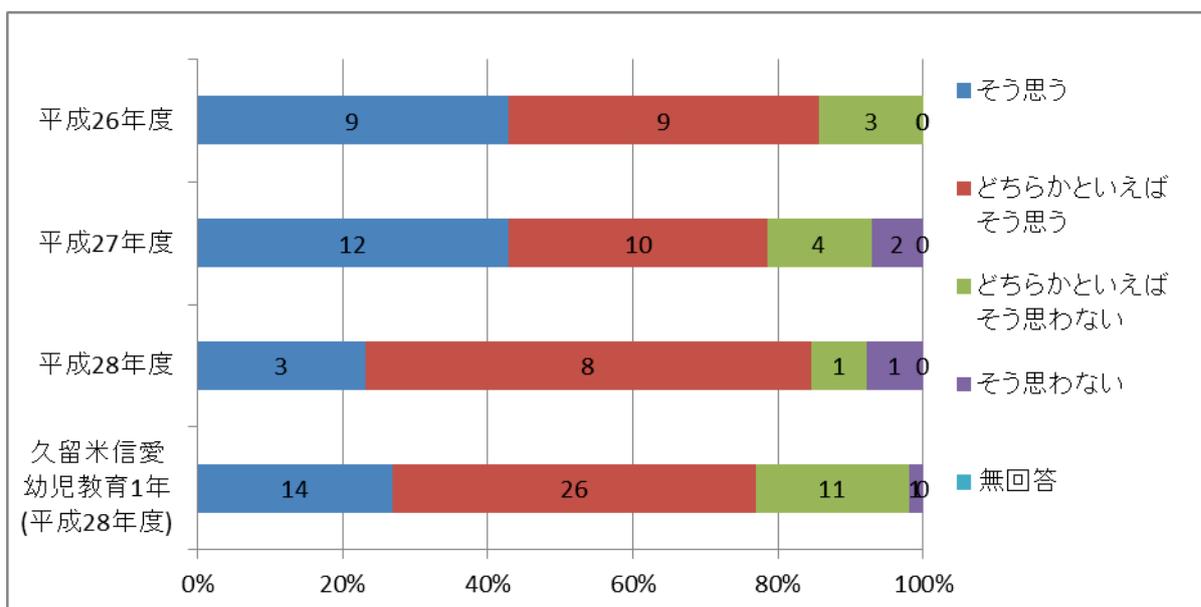
J. 卒業後の進路について、教職員に対して個別に相談する



K. 卒業後の進路について、本学の卒業生や先輩と話をする



L. 本学の教職員以外の人と話をする



以上